

令和7年度第1回豊中市介護保険事業運営委員会 会議次第

日時：令和7年(2025年)7月25日(金)

午後2時～

場所：くらしかん 3階イベントホール

< 議 題 >

1. 第9期豊中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進行管理について（報告）
 - (1) 豊中市介護保険特別会計の財政状況について 【資料1】
 - (2) 第9期介護保険事業計画の重点施策の評価について 【資料2-1～3】
 - (3) 豊中市介護保険事業等の現況について 【資料3-1、3-2】

2. 第10期豊中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（2027年度～2029年度）の策定について
 - (1) 計画策定にかかる諮問 【当日資料1】
 - (2) 計画策定に向けた論点整理について 【資料4】
 - (3) 市民アンケート調査の実施について 【資料5】【参考資料・調査票】

3. 各部会の報告について
 - (1) 部会報告 【資料6】

豊中市介護保険事業運営委員会委員名簿

令和7年7月18日時点

委員定数……15名

(敬称略)

区分	職業・役職等	氏名
学識経験者	桃山学院大学教授 ◎	小野 達也
	大阪人間科学大学教授	大野 まどか
	大阪大谷大学教授	秦 やすひろ 康 宏
保健医療又は 福祉の関係団体	豊中市医師会副会長 ○	三木 まさし 正 士
	豊中市歯科医師会会長	北谷 まこと 真
	豊中市薬剤師会副会長	ながたか ひろ 田 考 広
	豊中市社会福祉協議会常務理事	いまい まこと 今 井 誠
	豊中市民生・児童委員協議会連合会評議員	ひがしきよこ 東 紀 代 子
サービス事業者の代表	(株)BENECT (一般社団法人 豊中市介護保険事業者連絡会 代表理事)	むらかみ いさお 村 上 功
	(株)Youlmit (一般社団法人 豊中市介護保険事業者連絡会 副代表理事)	こばやし えみこ 小 林 恵 美 子
	(有)ハッピーライフ (一般社団法人 豊中市介護保険事業者連絡会 副代表理事)	かめい こお 亀 井 公 央
医療保険者の代表	健康保険組合連合会大阪連合会事務局長	にしもと だいすけ 西 本 大 輔
被保険者	第1号被保険者(市民公募)	なかね しんじ 中 根 慎 治
	第1号被保険者(市民公募)	かしま きよみ 加 島 喜 代 美
	第2号被保険者(市民公募)	とうない かずこ 当 内 和 子

◎=委員長 ○=副委員長

○豊中市介護保険事業運営委員会規則

平成12年6月30日

規則第62号

改正 平成15年4月1日規則第11号

平成15年11月5日規則第78号

平成18年3月31日規則第7号

平成19年3月23日規則第1号

平成19年3月26日規則第2号

平成23年3月25日規則第5号

平成24年2月15日規則第4号

平成24年6月19日規則第92号

平成26年4月28日規則第46号

平成27年3月25日規則第20号

平成30年10月25日規則第63号

平成31年3月22日規則第33号

(目的)

第1条 この規則は、豊中市介護保険条例（平成12年豊中市条例第30号）第14条第3項の規定に基づき、豊中市介護保険事業運営委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営その他委員会について必要な事項を定めることを目的とする。

(委員)

第2条 委員は、次の各号に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 保健医療又は福祉の関係団体の代表
- (3) 介護サービス事業者の代表
- (4) 被用者保険の保険者の代表
- (5) 被保険者

2 前項第5号に規定する者は、公募により選考するものとする。

(委員の任期)

第3条 委員の任期は3年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

3 特別の事情があると認める場合は、第1項の規定にかかわらず、市長は委員を解嘱する

ことができる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選によって定める。
- 3 委員長は、委員会の事務を総理し、委員会を代表する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(専門委員)

第6条 委員会に専門の事項を調査審議させるため必要があるときは、専門委員若干人を置くことができる。

- 2 専門委員は、学識経験を有する者その他市長が適当と認める者のうちから市長が委嘱する。
- 3 専門委員は、当該専門の事項についての調査審議が終了したときは、解嘱されるものとする。

(部会)

第7条 委員会が必要と認めるときは、委員会に部会を置くことができる。

- 2 部会は、委員長が指名する委員及び専門委員で組織する。
- 3 部会に部会長を置き、部会に属する委員のうちから委員長が指名する。
- 4 部会長は、部会における審議状況及び結果を委員会に報告しなければならない。

(関係者の出席等)

第8条 委員長又は部会長は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、福祉部長寿社会政策課において処理する。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が定める。

附 則

- 1 この規則は、平成12年7月1日から施行する。
- 2 この規則の施行後最初に招集される委員会並びに委員長及び副委員長に事故がある場合その他の委員長の職務を行う者が不在の場合における委員会の招集及び委員長が決定されるまでの委員会の議長は、市長が行う。
- 3 平成30年11月1日に委嘱される委員の任期は、第3条第1項本文の規定にかかわらず、平成33年6月30日までとする。

附 則（平成15年4月1日規則第11号抄）

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成15年11月5日規則第78号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成18年3月31日規則第7号抄）

- 1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月23日規則第1号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成19年3月26日規則第2号抄）

- 1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成23年3月25日規則第5号抄）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成24年2月15日規則第4号抄）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成24年6月19日規則第92号）

この規則は、平成24年7月1日から施行する。

附 則（平成26年4月28日規則第46号）

この規則は、平成26年5月1日から施行する。

附 則（平成27年3月25日規則第20号抄）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成30年10月25日規則第63号）

この規則は、平成30年11月1日から施行する。

附 則（平成31年3月22日規則第33号抄）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。

豊中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第10期）策定に向けたスケジュール

項目	令和7年度（2025年度）												令和8年度（2026年度）																																
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																				
介護保険事業運営委員会					第1回 ■第9期計画の進行管理について ■第10期計画策定についての諮問、国の論点整理、市民アンケート調査について							第2回 ■第10期計画策定に向けた検討（論点等）について ■アンケート、ヒアリング調査について						第1回 ■アンケート、ヒアリング調査結果について ■第9期計画の現状・課題について ■第10期計画のフレームについて							第2回 ■計画素案について ■第10期計画期間における給付費見込・施設整備・保険料等について							第3回 ■計画素案（パブリックコメント案）について ■第10期計画期間における給付費見込・施設整備・保険料等について ☆計画素案答申							第4回 ■第10期計画期間の保険料について ■計画案について ☆保険料答申						
要綱策定	第10期計画策定支援業務優先交渉権者選定にかかる企画提案審査委員会設置要綱の策定																																												
計画策定委託プロポーザル	3月議会上程 → プロポ準備、★決定																																												
第10期計画策定に向けた論点整理など	庁内協議(庁内課長会議)																																												
	論点整理 → ★案 → ★案 → 国動向踏まえて適宜調整 → 適宜実施																																												
アンケート・ヒアリング調査	在宅認定者調査 → 設計 → 準備 → 実施 → 集計・分析 → 速報 → 適宜分析																																												
	健康とくらしの調査 → ★契約 → 準備 → 実施 → 集計・分析 → 速報 → 適宜分析 → 活用研修会																																												
	介護人材実態調査 → 設計 → 準備 → 実施 → 集計・分析 → 速報 → 適宜分析																																												
	関係機関アンケート調査 → 設計 → 準備 → 実施 → 集計・分析																																												
	各種ヒアリング調査 → 設計 → 準備 → 調整・実施 → 整理 → 適宜分析																																												
統計データ等の整理・分析 → 適宜実施																																													
サービス見込み量・介護保険料の算定	人口（高齢者人口）推計 → 適宜実施																																												
	要支援・要介護認定者数推計 → 適宜実施																																												
	サービス利用者・必要量推計 → 適宜実施																																												
	サービス費用・保険料算定 → ★確定																																												
計画策定	計画素案の作成 → 素案作成 → パブコメ案作成																																												
	計画最終案の作成 → ★決裁																																												
パブリックコメント → 実施 → 整理																																													

介護保険事業特別会計の決算見込

- 歳出 41,851,974,019円 (前年度比 1,492,640,140円、3.6%増)
- 歳入 42,528,730,146円 (前年度比 1,387,524,706円、3.3%増) ⇒歳入歳出差引 **676,756,127円**

歳入歳出差引の内訳

- 国・府・支払基金償還金 263,133,959円
- 繰越金 192,670,435円
- 第1号保険料の剰余金 **220,951,733円**

介護給付費準備基金の決算見込み

- R5年度末基金残高 1,905,872,580円
- +
- R6年度給付費等にかかる積立額 220,951,733円
- 令和6年度決算見込み後の介護給付費準備基金 **2,126,824,313円**

款事業別

単位：円

款事業名	R6予算	R6決算見込	執行率	第9期計画値 (3か年)	計画 進捗率
総務費	910,959,000	781,498,114	85.8%	—	—
保険給付費	39,702,941,000	38,785,329,090	97.7%	123,743,299,390	31.3%
地域支援事業費 (重層的支援体制整備 事業含む)	2,161,134,754	2,054,421,818	95.0%	6,573,651,136	31.3%
基金積立金	168,432,000	168,431,332	99.9%	—	—
諸支出金	630,007,000	612,976,451	97.3%	—	—
合計	42,978,732,000	41,851,974,019	97.4%	—	—

保険給付費の状況

執行率97.7% (R5:95.1%、R4:95.7%)
 ・訪問看護・居宅療養管理指導・看護小規模多機能型居宅介護・短期入所療養介護などの医療系サービスの給付費が増加。
 ・訪問介護・夜間対応型訪問介護などの訪問系のサービスの給付費が増加。

地域支援事業費の状況

執行率95.0% (R5:84.7%、R4:84.5%)
 介護予防・生活支援サービス事業の執行率が99.3%。

介護給付費準備基金の積み立て及び取り崩し見込

介護保険料については第9期計画を基準額6,998円に設定しています。第9期計画初年度の令和6年度については、介護保険料の積立金である介護給付費準備基金の取り崩しはなく、新たに220,951,733円の余剰金を積み立てます。

● 計画値と令和6年度決算見込の比較

単位（千円）

	第9期計画値		令和6年度 (決算見込)	令和6年度 執行率
	3か年	単年		
保険料収納 必要額 (A)	28,986,427	9,662,143	8,861,108	30.6%
保険料収入額 (B)	27,323,427	9,107,809	9,082,060	33.2%
基金取崩額予定 (C)	1,663,000	554,334	0	0%
保険料不足額 (A) - (B)	0	0	▲220,952	—

令和6年度の保険料収納必要額が、計画値よりも低かったため介護給付費準備基金の取り崩しはなく、余剰金約2億2千万円が発生。

● 原因

- ・介護給付費等の執行率が計画値より低かった。
介護給付費 執行率97.7%
地域支援事業費 執行率95%
- ・保険料歳入として見込める調整交付金が計画値より高かった。
計画値： 2,287,870千円
決算見込値：2,353,915千円

● 第9期計画の介護給付費準備基金の見込み

単位（千円）

	令和6年度 (決算見込)	令和7年度 (計画値)	令和8年度 (計画値)	合計
保険料収納 必要額 (A)	8,861,108	9,760,921	9,953,112	28,686,722
保険料収入額 (B)	9,082,060	9,082,060	9,082,060	27,246,180
保険料不足額 (C) = (A) - (B)	▲220,952	678,861	871,052	1,328,961

令和7・8年度の保険料収納必要額に対して、保険料収納額を令和6年度と同額で想定した場合、第9期計画で介護給付費準備基金を約13億3千万円取り崩す見込みとなります。

第9期介護保険事業計画の重点施策の評価

評価指標 A：達成できた B：概ね達成できた C：達成はやや不十分 D：全く達成できなかった

施策	取組み	事業内容	R6 評価	担当部署
認知症施策の 充実	早期発見・早期支援のしくみづくりと連携の強化	①（新規）認知症医療体制の構築と実施 ▶認知症の早期発見・早期対応のため、かかりつけ医の相談先となる認知症相談医を10名配置	B	医療支援課 地域医療推進係
		②（継続）早期支援体制の構築と実施 ▶認知症の初期段階における支援体制を認知症地域支援推進員の機能強化とともに構築	B	長寿安心課 相談支援係
	本人と家族視点の重視による支援の充実	①認知症高齢者等の見守りサービスの充実 （※高齢者位置情報サービス・みまもりステッカー配付・認知症個人賠償責任保険・ICT見守りサービスを実施）	B	長寿安心課 事業推進係
	地域で見守り支え合う環境づくり	①（拡充）チームオレンジの構築と支援の実施 ▶チームオレンジコーディネーター（認知症地域支援推進員）が要となり、オレンジャーや関係機関とともに各圏域で本人、家族のニーズに応じた具体的な支援につなげる仕組みを構築	C	長寿安心課 相談支援係
関係機関・専門職の支援スキルの向上と多職種連携の強化	在宅医療と介護の連携強化	①（拡充）在宅医療・介護連携支援センター事業の実施 ▶地域の診療所をグループ化し在宅医療を支える体制及び在宅医療のグループをサポートする体制を構築	B	医療支援課 地域医療推進係
相談及び支援基盤の構築・強化	多様な相談機能の強化	①（拡充）虐待対応に係る地域包括支援センターの体制強化 ▶虐待対応に係る支援体制の構築や事業所・関係機関等との連携など虐待防止の取組みを推進	C	長寿安心課 相談支援係
		②（拡充）複合的な課題に対応するための包括的な支援体制の強化 ▶エリア担当者を配置し、多機関連携会議・支援方針決定会議を設置	A	地域共生課 地域共生推進係
介護保険制度の効果的・効率的な運営	介護人材の育成・確保と介護現場の生産性の向上	①（新規）公民連携による介護人材確保対策 ▶公民連携による介護人材確保事業を令和6～8年度の3か年で実施	B	長寿社会政策課 計画推進係

第9期計画の重点施策等に係る進捗管理調査票

基本目標1
一人ひとりの状況・状態に対応した支援の実現

健康づくり・介護予防の展開				
高齢期を迎えても誰もが心身ともに健やかに暮らしていけるよう、専門職等によるデータと根拠に基づく生活習慣病等の発症予防・重症化予防、介護予防に取り組みます。				
(1) 健康づくりの推進【重点施策】・【自立支援・重度化防止】				
健康寿命の延伸に向け、生活習慣病の発症や重症化予防、フレイル対策に取り組みます。				
No	取組み事項及びその内容	令和6年度の主な実施状況	取組みの評価	令和7年度以降の課題・方向性
1	<p>生活習慣病の発症・重症化予防と健康状態の改善</p> <p>生活習慣の改善をすることで、疾患のリスクを減らせるよう、エビデンスに基づいた生活習慣病の発症予防、重症化予防の対策を進めます。 また、生活機能低下を予防し、心身の機能の維持、向上のための取組みを行うとともに、ポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチの両面から、無関心層を含めた市民の健康づくりを支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●国保被保険者に対し、生活習慣病改善のための特定健診・特定保健指導の実施、重症化予防のための保健事業を実施しました。また、がんの死亡率減少のため、国の指針に基づきがん検診の実施やがん予防の啓発を行いました。 ●ポピュレーションアプローチとしてフレイルチェックや体組成測定を中心としたイベントを実施しました。また、フレイル栄養相談会やとよなかパワーアップ体操自主グループに対しオールフレイルをテーマとして出前講座を実施しました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、各健診や保健事業を実施するとともに、がん予防の啓発を行い、エビデンスに基づいた生活習慣病の発症予防、重症化予防に努めます。 ●フレイル予防を目的としたイベントを実施し健康無関心層へアプローチするとともに、健診結果などから教室の個別案内をするなど、ハイリスクアプローチも同時に進めていきます。
2	<p>保健事業と介護予防の一体的実施</p> <p>高齢者一人ひとりが年齢・性別、健康状態、興味・関心などに応じて参加できる通いの場において、医療専門職が積極的に介入・関与します。また、医療・介護データを分析・評価し、保健医療の視点からフレイル対策を介護事業と一体的に実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●医療・介護データから市内高齢者の健康状態について分析しました。 ●後期高齢者健診受診時において後期高齢者の質問票でフレイルに該当する場合、医師から「フレイル処方箋」を発行し、地域包括支援センターの介入支援へつなぎました。また、適切な地域資源や介護サービス等の導入、必要な対象者には管理栄養士や言語聴覚士による個別訪問指導を実施しました。 ●歯科健康診査結果および通いの場における質問票の結果から対象となった方へ「歯や口の健康づくり教室」を案内し、歯科衛生士による口腔機能検査や個別保健指導等を実施しました。 ●市内の通いの場において、栄養士による健康教育、健康運動指導士による運動指導、体力測定を実施しました。 ●とよなかパワーアップ体操を実施する自主グループの参加者に対して、医療専門職が後期高齢者の質問票を用いて心身の健康状態等を把握し、状態に応じて必要な支援につなげる取組みを実施しました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●医療・介護データの分析・評価を引き続き行いながら、市内の高齢者の健康課題の把握、事業展開を進めていきます。 ●フレイル処方箋事業については、実施医療機関数を増やし、より多くの圏域・対象者へ介入支援をしていきます。 ●引き続きオールフレイルおよび身体的フレイル対策に取り組みます。 ●新たに、豊中市の健康課題に応じて転倒骨折予防教室を実施します。 ●通いの場においては、質問票を活用し、必要な地域資源につなげることで、筋力アップのための運動指導や体力測定を継続し、認知症予防をテーマとした健康教育を実施します。
3	<p>とよなか健康出張セミナー</p> <p>10人以上のグループに対し、専門インストラクターを派遣し、講座（運動編、栄養・口腔編）を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●関係機関にパンフレット配布、HP、広報とよなかの掲載、SNS、自治会などで事業の周知を行い、運動編437人（23件）、栄養・口腔編143人（9件）、合計580人（32件）が参加しました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き周知啓発を実施すること、新規だけでなく、既に利用したグループが「また申し込みたい」と思ってもらえるような魅力のあるテーマ設定します。
4	<p>健康教育・出前講座の実施</p> <p>市民からの希望に応じ、専門職が健康づくりに関する講話などを実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●市民からの依頼を受け、フレイル・介護予防、認知症予防986人（41件）、歯周疾患517人（47件）、生活習慣病予防132人（14件）、栄養202人（7件）の講話を実施しました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、希望に応じ実施し、受講者の生活習慣改善のための行動変容に結びつけるための内容を見直し工夫に努めます。

(2) 介護予防の推進【重点施策】・【自立支援・重度化防止】				
介護予防事業を通じて、介護予防に関する周知啓発をはじめ、一人ひとりの状況・状態に応じた介護予防に関するサービスの提供に取り組みます。				
No	取組み事項及びその内容	令和6年度の主な実施状況	取組みの評価	令和7年度以降の課題・方向性
5	<p>介護予防教室の推進</p> <p>介護予防教室や講演会等において、運動機能向上・低栄養予防・介護予防等に関する周知啓発を実施します。</p>	<p>●認知症予防教室12回コースを市内3会場にて3教室、1回コース市内9会場にて18教室開催し269名の方が参加しました。介護予防に関する測定イベントを市内1会場で実施し104名の方が参加しました。</p>	B	<p>●教室参加していただけるように効果的な周知方法の検討を引き続き行います。</p> <p>●教室がより効果的なものになるように効果検証しプログラム内容を検討していきます。</p> <p>●介護予防に関する普及啓発として、より多くの高齢者に参加してもらえるよう、イベントの回数を増やすなどして実施していきます。</p>
6	<p>介護予防・生活支援サービスの基準緩和・従前相当サービスの実施</p> <p>介護予防・生活支援サービス事業として、指定事業所による基準緩和サービス（訪問型サービスA・通所型サービスA）と従前相当サービス（訪問介護相当サービス・通所介護相当サービス）を実施します。</p> <p>また、介護予防・生活支援サービスの趣旨や内容などについて、広く周知・啓発を進めます。</p>	<p>●介護予防・生活支援サービス事業として、指定事業所による基準緩和サービス（訪問型サービスA・通所型サービスA）と従前相当サービス（訪問介護相当サービス・通所介護相当サービス）を実施しました。</p> <p>●また、介護予防・生活支援サービス事業を含む介護予防・日常生活支援総合事業の趣旨や内容について、「やさしい介護と予防」、「事業者ガイドブック」を発行し、普及啓発を行いました。</p>	B	<p>●引き続き、介護予防・生活支援サービス事業として、指定事業所による基準緩和サービス（訪問型サービスA・通所型サービスA）と従前相当サービス（訪問介護相当サービス・通所介護相当サービス）を実施します。</p> <p>●また、介護予防・生活支援サービスの趣旨や内容などについて、広く周知・啓発を進めます。</p>
7	<p>通所訪問型短期集中サービス（豊中のはつらつ教室）の実施</p> <p>通所訪問型短期集中サービス（豊中のはつらつ教室）を全市域で実施し、低下した生活機能を改善するための専門職による支援を行い、可能な限り、介護給付サービスに依存せず自立した日常生活を営むことができるように支援します。</p> <p>また、サービス終了後は、とよなかパワーアップ体操自主グループなど地域資源につなぐことで、社会参加を促進します。</p>	<p>●モデル事業の実績を踏まえ、令和4-6年度は全市域で通所訪問型短期集中サービス『はつらつ教室』を展開しました。ハイリスク者（要支援1・2、事業対象者）を対象に、3カ月間短期集中的に専門職が介入・支援を行い、生活課題の改善、介護予防に取り組みました。令和6年は363名の方が参加し、約9割の方でフレイルの改善、約5割の方で介護サービスからの卒業を達成しました。教室卒業後も通いの場や体力測定会などの地域資源につなぎ、可能な限り自立した生活を継続できるよう支援しました。</p>	A	<p>●令和7年度からは、事業を一般介護予防事業に再編すること、要支援認定等をもたない一般高齢者も教室参加対象とし、より早期からの介護予防の取組みを推進します。また、KDBデータと実施した事業で回収したデータを統合し、データ分析・効果検証・課題抽出を通して、エビデンスに基づく事業内容の見直しを進めます。</p> <p>●はつらつ教室の運営及び卒業者を対象とした体力測定会の実施についても事業者への委託内容とし、切れ目のない支援を強化するとともに、はつらつ教室で獲得したセルフケアを継続できるよう働きかけます。</p>

認知症施策の充実
<p>国の認知症施策推進大綱、共生社会の実現を推進するための認知症基本法などの内容を踏まえ、認知症の人を含めた一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会をめざし、認知症施策の充実を図ります。</p>

(1) 早期発見・早期支援のしくみづくりと連携の強化【重点施策】

認知症は、早期発見し支援につなげることが重要となるため、働く世代からの認知症予防に向けて、保健医療の視点からもアプローチします。また認知症医療体制の充実により早い段階で適切な医療にかかり、さらに、地域包括支援センターや認知症初期集中支援チームをはじめとする支援機関の活動を通じて、切れめなく早期発見から早期支援につなぎます。

No	取組み事項及びその内容	令和6年度の主な実施状況	取組みの評価	令和7年度以降の課題・方向性
8	<p>認知症予防に関する情報発信の充実</p> <p>「生活習慣病の予防や治療、社会とのつながりや運動を積極的実践することで認知症の発症リスクを下げられる」ことを市民に広く周知・啓発します。また、認知症の危険因子である「難聴」に早期に気づき、耳鼻科受診などの機会を得ることで生活の質の向上並びにフレイルや認知症の進行に対する予防を図ります。ヒアリングフレイルチェックイベントの開催、啓発動画等の作成・配信などを実施します。</p>	<p>●認知症のリスク因子を啓発するため、イベント等においてパンフレットを配布するとともに、11月に市民向け講演会を開催し、65人の参加がありました。また、認知症の症状を自分事として理解を深めるためのVR認知症体験イベントを16回開催し、386人の参加がありました。</p> <p>●ヒアリングフレイルチェックイベントを6回開催し、128人の参加がありました。聴力チェックの結果、軽度難聴疑いの人に耳鼻科受診を促しました。また、聴こえにくさで日常生活に困りごとがある人などを対象に健康教育を3回実施し、32人の参加がありました。ヒアリングフレイル、難聴の人を支援する関係機関でワーキンググループを設置し、「とよなか聴こえのガイド」を作成し、各医療機関、市民に対し配布しました。難聴の人への対応を学ぶ機会として「認知症サポート養成講座」を開催し、27人の参加がありました。</p>	A	<p>●引き続き認知症のリスク因子について普及啓発を行うとともに、市民の行動変容に向けたアプローチについて検討していきます。</p> <p>●「とよなか聴こえのガイド」を活用し難聴のリスクやセルフケア、適切な聴こえのサポートについて啓発していきます。耳鼻科受診を勧奨した人を対象にその後の受診状況について調査し、さらなる聴こえに関する課題を把握、対応策を検討していきます。</p>
9	<p>認知症医療体制の充実・強化</p> <p>かかりつけ医などの医療機関が、認知症を疑う患者を把握した際に、患者の同意のもと市へ情報提供する仕組みを新設します。</p>	<p>●認知症の早期発見・早期対応を目的とする認知症医療体制推進事業の新設により、かかりつけ医の相談先となる認知症相談医を10名配置し、認知症医療体制の充実・強化に取り組みました。</p>	B	<p>●認知症相談医による相談支援事業の実施や認知症医療体制に関する会議の開催等により、認知症医療体制の充実・強化を取り組めます。</p>
10	<p>認知症の初期段階における支援体制の強化</p> <p>各圏域における認知症初期段階の支援体制構築に向けて、地域包括支援センターや医療機関等との連絡調整に取り組むとともに、認知症初期集中支援チーム（オレンジチーム）の活動との連携を推進します。</p>	<p>●診断後、必要な支援にスムーズにつながるよう、とよなかオレンジカフェをはじめとした居場所や、認知症支援に関する情報について、医療・介護の関係機関に周知を行いました。また、地域包括支援センター及び認知症初期集中支援チームと定期的に会議を開催し、事例の共有や支援についての検討を行いました。</p>	B	<p>●診断後、必要な支援にスムーズにつながるよう、とよなかオレンジカフェをはじめとした居場所や、認知症支援に関する情報について、医療・介護の関係機関に周知を引き続き行います。初期集中支援チームと地域包括支援センターは互いに連携して認知症の初期段階における支援を行います。個別事例を積み重ねながら、嘱託医を含め各機関の役割分担を整理していく必要があります。</p>
11	<p>認知症支援に関する情報発信の充実</p> <p>認知症に関する知識や情報、認知症を疑うサイン、相談窓口、イベント情報や介護体験などの情報発信を虹ねつと連絡会認知症支援部会の参画団体と連携して行います。</p>	<p>●認知症支援部会に参画する各団体を通じて、市民講演会、いきでゆくフェス等の機会を通じて広く周知を行いました。</p>	B	<p>●認知症支援に関する知識や情報、相談窓口、イベント情報や介護体験などの情報発信を虹ねつと連絡会認知症支援部会の参画団体と連携して行います。</p>

12	<p>認知症ケアパスの普及及び活用促進</p> <p>認知症の早期発見や必要な支援にスムーズにつながるよう、「認知症医療・福祉連携おたすけマップ（認知症ケアパス）」の内容を充実させ、普及・活用の促進を図ります。</p> <p>また、ポータルサイト「医療・介護・地域資源情報ナビ」や啓発冊子「やさしい介護と予防」などを通じて、認知症に関する相談ができる医療機関・相談窓口をはじめ、認知症支援に関する事業・活動の内容等の情報発信の充実を図ります。</p>	<p>●令和7年度の改訂に向け、認知症支援部会に参画する医療、福祉の関係団体等、支援機関の意見を踏まえ情報の更新準備を実施しました。</p> <p>●ポータルサイト「医療・介護・地域資源情報ナビ」や啓発冊子「やさしい介護と予防」に掲載される医療機関に対して、認知症地域支援推進員を通じておたすけマップや、認知症カフェマップ等、認知症支援に関する事業・活動の内容等の情報発信を行いました。</p>	B	<p>●「認知症医療・福祉連携おたすけマップ（認知症ケアパス）」等を引き続き関係機関、市民向けに周知啓発媒体として配布します。認知症の早期発見や必要な支援にスムーズにつながるよう、配布先での普及・活用の促進を図ります。</p>
13	<p>相談支援に関する機関等の連携の強化</p> <p>虹ねっと連絡会認知症支援部会の活動を通じて、認知症地域支援推進員による認知症の相談支援に関する機関・団体等の取組みの情報共有、地域全体の認知症ケアの向上に向けた連携・協力体制の構築・強化などに取り組みます。</p>	<p>●認知症支援部会を開催し、各機関・団体等が行う活動や事業について情報共有を行い、地域全体の認知症ケアの向上に向けた連携・協力体制の構築・強化に向けて取り組みました。</p> <p>●7圏域に配置している認知症地域支援推進員同士で会議等を通じて情報共有を行いました。専門職研修会の開催等で生活圏域の医療福祉連携が促進できるよう工夫しました。</p>	B	<p>●認知症支援部会の活動を継続し、各機関・団体等が行う活動や事業について情報共有を行い、地域全体の認知症ケアの向上に向けた連携・協力体制の構築・強化などに取り組みます。</p> <p>●7圏域に配置している認知症地域支援推進員同士で会議等を通じて情報共有を行いながら、嘱託医との連携強化も図ります。</p>
14	<p>在宅医療・介護連携による認知症支援の推進</p> <p>「虹ねっと連絡会」に設置されている「認知症支援部会」と連携して、市民向け啓発や医療・介護従事者向けの研修会等を行うことにより、在宅医療・介護連携においても認知症支援を推進します。</p>	<p>●認知症支援部会において、医療・介護従事者向けの研修会を12月に開催しました。</p>	B	<p>●今後、後期高齢者が増えていくため、医介連携の取組みのなかでも認知症支援を推進していく必要があります。</p>

(2) 本人と家族の視点を重視する支援の充実【重点施策】

認知症の人やその家族が日常生活を安心して過ごせるように、本人、家族の視点を重視し、認知症の容態の変化に応じて、適時・適切に切れめなく医療や介護、福祉等のサービス・支援を選ぶことができるよう充実が必要です。また、認知症の人の介護者の負担軽減に向けた取組みや支援の充実を図ります。				
No	取組み事項及びその内容	令和6年度の主な実施状況	取組みの評価	令和7年度以降の課題・方向性
	認知症の人の家族への支援			
15	認知症の人を介護する家族のニーズを踏まえ、介護者の精神的負担の軽減に向けた相互交流の促進や、介護技術の向上に向けた取組みなどを推進します。また、高齢者位置情報サービス事業や認知症個人賠償責任保険事業、ICT見守りサービスを実施し、認知症の人や家族の支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症家族交流会・教室事業については、社会福祉協議会や介護者家族の会との共催で年間12回を交流会・教室を開催し、交流会では介護者の不安軽減や孤立解消に努めました。また教室では医師など専門職の講師による介護に必要な知識等の講習を行いました。 ●高齢者位置情報サービス事業については、「どこ・どこサービス」に加え、より安価なGPS端末「ミマモルメ」を新たに導入し、利用者のニーズに沿ったサービスの提供を行いました。また、認知症高齢者等の見守りサービスをまとめたリーフレットを作成し、自治会長や住宅管理組合等へ配付するほか、市公式LINEを活用するなど認知症の人の家族に向けた事業周知に努め、各サービスの利用者増加につながりました。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ●より多くの介護者の方に参加してもらえるよう開催地域の拡大や広報方法の見直しを検討します。 ●必要な人がサービスを利用できるよう、引き続き事業の周知を行う必要があります。今後は紙媒体だけでなく、WEB広告を活用した事業周知に取り組みます。
	認知症カフェの充実			
16	「認知症カフェ」を認知症の人及びその家族介護者等が気軽に集える場、認知症に関する正しい知識や情報を得られる場、オレンジアの活動の場として立ち上げや運営を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症地域支援推進員を中心に、認知症カフェの立ち上げ支援を実施しました。認知症本人や家族のニーズに沿った取組みになるよう工夫しました。また、認知症カフェが認知症サポーターや上位研修を受講したオレンジアが活躍できる場として機能するよう体制を整えました。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、認知症地域支援推進員を中心に、認知症カフェの立ち上げ支援を実施します。また、認知症カフェが認知症本人、家族のニーズに沿った支援や、役割を持ち活躍できる居場所として機能するよう体制を整えていきます。また、認知症カフェが認知症サポーターやオレンジアが継続的に無理なく活躍できる場として機能するよう体制を整えていきます。
	認知症の本人本人からの発信の支援			
17	「認知症カフェ」の取組みを通じて、認知症の本人本人が自身の体験や希望、必要としていること等を本人同士、地域住民と語り合う本人ミーティングを実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症カフェの場で、認知症の人が自身の体験や希望、必要としていること等を、地域住民やボランティア、専門職と語り合いました。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症本人が安心して自身の体験や希望を発信できるよう、本人発信の場の拡充を検討します。認知症になっても過ごしやすい環境づくり、施策に反映できるよう認知症地域支援推進員、オレンジアとともに取組みを進めます。
	認知症の人の社会参加の促進			
18	公民館や図書館をはじめとする、高齢者の利用が多い施設等と連携した支援方策の充実を図り、認知症の人の社会参加を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症カフェを拡充し、認知症の本人本人や家族、地域住民、関係者が交流できる場として開催しました。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症カフェをきっかけに、その他の外出、社会参加のニーズを発掘し認知症本人のニーズに沿った社会参加のあり方を支援できるよう検討が必要です。また、認知症があっても必要なかわりによってできることを阻害しない環境づくりが必要です。
	若年性認知症の人への支援			
19	若年性認知症の人を、就労や社会参加・居場所づくりなど様々な分野から総合的に支援するため、資源を充実するとともに、既存の資源についての周知を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●若年性認知症に関する情報、相談窓口案内リーフレットを庁内横断的に関係部局に協力を求め周知しました。若年性認知症の人の居場所づくりについて、認知症地域支援推進員を中心に検討しました。 	C	<ul style="list-style-type: none"> ●若年性認知症の人の支援については、高齢部門だけでなく障害福祉等その他の部署との連携が不可欠です。庁内連携の促進に向けた取組みを実施します。
	専門職の認知症対応力の向上			
20	介護や看護など在宅生活を支援する専門職、かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局、病院の一般病棟における認知症対応力の向上に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症支援部会において、認知症対応力向上のため、認知症診療、早期診断の最新知見、地域医療介護連携に関する専門職向け研修を12月に開催しました。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ●医介連携の取組みの中で三師会（医歯薬）、事業者連絡会等の協力を得ながら専門職の認知症対応力向上に取り組みます。

(3) 地域で見守り支え合う環境づくり【重点施策】

認知症の人が個性や能力を發揮し住み慣れた地域で安心して生活できるように、地域で見守り支える環境づくりとして「チームオレンジ」の構築をすすめます。認知症についての正しい理解が地域全体に広まるよう、認知症に関する正しい知識の普及・理解の促進を図るとともに、認知症サポーターやオレンジャー、キャラバン・メイトの養成及び活動支援の充実を図ります。				
No	取組み事項及びその内容	令和6年度の主な実施状況	取組みの評価	令和7年度以降の課題・方向性
	チームオレンジの構築			
21	本人や家族のニーズに応じた具体的な支援につなげる仕組み「チームオレンジ」を本人、家族を中心に認知症地域支援推進員やオレンジャー、関係機関とともに編成、推進します。	●「チームオレンジ」の体制づくりに取り組むため、認知症地域支援推進員を中心に認知症カフェの立ち上げを支援しました。チームオレンジの中心となる「オレンジャー」の養成とフォローアップを実施しました。カフェを中心に認知症の本人、家族のニーズ把握を基に、チームオレンジの構築についてオレンジャーと認知症地域支援推進員で検討しました。	C	●認知症カフェ等で、認知症本人、家族のニーズを受け止め、ニーズに沿った支援や、当事者が役割を持ち活躍できる居場所としての支援に取り組みます。また、認知症サポーターの養成に積極的な生活関連企業等を「認知症パートナー事業所」として登録し、市民に広く周知する制度を新たに始めます。この制度を通じて、チームオレンジの活動を地域で支援する体制の整備に取り組みます。
	認知症サポーターの養成			
22	図書館や公民館における認知症サポーター養成講座を継続して実施するとともに、認知症の人と地域で関わる機会が多いと想定される郵便局や民間事業者向けの認知症サポーター養成講座の開催を促進します。	●図書館と連携した認知症サポーター養成講座の定期的な開催や9月のアルツハイマー月間、認知症月間にちなんだ取組みとして地域共生センターで実施しました。認知症の人と地域で関わる機会が多いと想定される郵便局や民間事業者向けの認知症サポーター養成講座の開催を促進するため周知案内を実施しました。	B	●認知症の正しい知識を持ち、認知症本人や家族にとって地域において身近な応援者となる認知症サポーターは、認知症施策推進計画の目標達成に向けた根幹となるため引き続き市民向けの講座の実施とともに、職域や学校関係に対象を拡大し展開します。
	オレンジャーの養成			
23	認知症サポーターがオレンジャー養成講座を受け、チームオレンジや認知症カフェ等で地域での認知症の人や家族のニーズに寄り添った支援ができるよう育成、支援します。	●オレンジャー養成のためのステップアップ講座としてフォローアップ研修、ステップアップ研修を2段階で開催し、認知症カフェを活動の場として「オレンジャー」の名称で活躍する人材を育成しました。	B	●チームオレンジの取組みを具現化するためのボランティアとして活動できるよう育成、支援します。
	認知症キャラバン・メイトの活動支援の充実			
24	認知症サポーター養成講座の講師を行うキャラバン・メイトを支援するため、豊中市キャラバン・メイト連絡会と連携のもと、メイト間の情報共有や交流促進、研修等を通じたスキルアップに向けた支援を行います。	●認知症キャラバン・メイト連絡会企画部会を定例で開催し、キャラバン・メイトが活躍できる環境づくりを検討しました。認知症サポーター養成講座のテキストが刷新したことから、対応する講座スライドの作成について企画部会で検討、作成しスキルの標準化を促進しました。	B	●市域においてキャラバン・メイト養成研修を実施し、より多くの人材が質の高い認知症サポーター養成講座の実施ができるよう支援します。
	地域での認知症の人の見守り体制の強化			
25	地域での認知症の人の見守り体制を強化するために、認知症の人が徘徊（ひとり歩き）した場合に早期の発見・安全確保を目的にしたみまもりステッカー利用支援事業及び認知症高齢者・障害者等行方不明捜索システム（認知症高齢者・障害徘徊SOSメールが廃止され、オレンジセーフティネットに変更）の周知啓発、利用促進を図ります。	みまもりステッカー配布事業については、今年度から「おかえりQR」を新たに導入しました。市内の郵便局と連携し、販売や周知の協力をいただいたほか、駅構内やマチカネポイント加盟店舗でのチラシ掲示を行いました。また、デジタルサービスフェアの参加者に体験してもらうことで地域での見守り体制の強化につながりました。	B	●さらなる地域での見守り体制の強化に向けて、より多くの市民に知ってもらうとともに、実際に「おかえりQR」を使用するなど体験を交えた講習等の開催が必要です。

関係機関・専門職の支援スキルの向上と多職種連携の強化				
医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で暮らしていけるよう、医療と介護の多職種連携や支援スキルの向上、ケアマネジメント力の向上に取り組みます。				
(1) 在宅医療と介護の連携強化【重点施策】				
医療と介護の両方のニーズを持つ高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅医療・介護連携支援センターにおいて、在宅医療と介護の一体的な提供体制の構築・強化などに取り組みます。 また、医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護保険事業者連絡会、訪問看護ステーション連絡会、地域包括支援センター、病院連絡協議会、豊中市（関係課、市立豊中病院）で構成する医療と介護、保健分野の連携ネットワークである「虹ねっと連絡会」の取組みとの連携を強化しながら、在宅医療・介護連携のさらなる充実を図ります。				
No	取り組み事項及びその内容	令和6年度の主な実施状況	取り組みの評価	令和7年度以降の課題・方向性
26	在宅医療・介護連携支援センター事業の実施 在宅医療・介護連携の強化を図るため、「豊中市在宅医療・介護連携支援センター事業」を実施します。 また、実施にあたっては、医療・介護の関係者の代表から構成される「虹ねっと連絡会」や既存のネットワークとの連携のもと、地域に根差した在宅医療・介護連携を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「豊中市在宅医療・介護連携支援センター運営事業」では、「日常の療養支援時」に関わる医療・介護関係者のスキル向上を目的とした研修会、地域住民の在宅療養に関する知識を深めるための出前講座を実施しました。 ●「病院・施設・在宅の切れ目のない連携体制」の構築については、高齢者施設からの病院への救急搬送時の情報連携の方法を検討しました。また、各施設で従事する看護職間の意見交換会「看-看護の会」を開催し、70人の参加がありました。 ●「虹ねっとcom」を活用した災害時の安否確認方法について運用を開始しました。 ●虹ねっと連絡会において抽出した医療・介護の連携推進にかかわる課題を「豊中市在宅医療・介護連携支援センター事業」に報告、施策化に向けた検討を踏まえその成果報告を、虹ねっとの関係者に周知することで、多くの市内の医療・介護従事者に対して連携促進を図ります。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ●「豊中市在宅医療・介護連携支援センター運営事業」において、「日常の療養支援時」の研修会や意見交換会、地域住民向け出前講座等を開催します。 ●「病院・施設・在宅の切れ目のない連携体制」の構築については、高齢者施設から病院への救急搬送時の情報連携に取り組みます。また、各施設で従事する看護職間の意見交換会を開催します。 ●ICTを活用した連携強化を進めていきます。 ●引き続き虹ねっと連絡会において抽出した医療・介護の連携推進にかかわる課題を「豊中市在宅医療・介護連携支援センター事業」に報告、施策化に向けた検討を踏まえその成果報告を、虹ねっとの関係者に周知することで、多くの市内の医療・介護従事者に対して連携促進を図ります。
27	アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の普及啓発 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の普及啓発のため開発したツールを用いて、人生の最終段階における過ごし方や看取りの意思決定ができるように、幅広い年齢層の市民に対する啓発に取り組みます。 また、医療・介護従事者向けの研修会、課題抽出のための意見交換会を実施し、人生の最終段階における過ごし方や看取りの意思決定支援に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ●「豊中市在宅医療・介護連携支援センター運営事業」では、「看取りの時」の医療・介護関係者のACPに関するスキル向上を目的とした研修会を3回開催し、延べ176人の参加がありました。 ●ACPの普及啓発のため開発したエンディングゲームを用いた市民向け出前講座を実施しました。令和6年度は5回実施し、延べ64人の参加がありました。 ●人生会議に関するイベントを開催し、22人の参加がありました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●「豊中市在宅医療・介護連携支援センター運営事業」において、「看取りの時」に携わる医療・介護関係者のACPに関するスキル向上を目的とした研修会を開催します。 ●市民に対する啓発活動として、引き続き出前講座を実施します。
28	医療・介護資源に関する情報発信の充実 医療機関の情報や介護サービス事業者等の基本情報などを検索できるポータルサイト「医療・介護・地域資源情報ナビ」や啓発冊子「やさしい介護と予防」により、医療・介護資源の把握と情報発信を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●「医療・介護・地域資源情報ナビ」については、豊中市のホームページ上に公開し、「やさしい介護と予防」については公共施設等に配布し、介護保険サービス等に関する広報活動を進めています。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き医療・介護・地域資源情報をホームページや冊子などでの広報活動に努めます。 ●「医療・介護・地域資源情報ナビ」の機能を拡充させ、効果的な情報発信に努めます。

相談及び支援基盤の構築・強化

高齢者やその家族などが抱える多様な課題・不安に対応できるよう、地域包括支援センターの総合相談窓口をはじめとする多様な相談窓口・相談機能等の充実・連携強化を図るとともに、権利擁護・虐待防止に向けた取組みを推進します。
またヤングケアラー支援については、専用相談窓口を中心として、関係機関が情報や支援方針を共有し連携して支援を行っていきます。

(2) 多様な相談機能の強化【重点施策】

「重層的支援体制整備事業」を推進し、多様な相談窓口等の有機的な連携を図り、総合相談機能の強化に取り組みます。

No	取組み事項及びその内容	令和6年度の主な実施状況	取組みの評価	令和7年度以降の課題・方向性
29	<p>複合的な課題に対応するための包括的な支援体制の強化</p> <p>課題が複雑化・複合化しているケース（8050問題やひきこもり、ヤングケアラーなど）の対応では、多機関協働推進事業における多機関連携会議を活用し、課題解決に向け迅速に支援方針を決定します。また、支援の方向性や進捗を管理するコーディネーター役を配置し、適切に支援を進めます。</p>	<p>●“誰一人取り残さない包括的な支援”の実現に向け、各分野間の連携を一層強化し包括的な支援体制を構築するための事業である「多機関協働推進事業」の下、地域共生課に配置したエリア担当者が中心となり、令和6年度では81件の多機関連携会議を実施しました。</p>	A	<p>●第5期地域福祉計画に基づき、引き続き分野・対象を超えた包括的な支援体制の強化を図ります。</p>

(3) 権利擁護・虐待防止の推進

住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、認知症の人や精神障害のある人等、判断能力が低下した人をはじめ、すべての人の権利・尊厳が守られ、本人の自己決定権を尊重した、権利擁護や虐待防止に関する取組みを推進します。

No	取組み事項及びその内容	令和6年度の主な実施状況	取組みの評価	令和7年度以降の課題・方向性
30	<p>成年後見制度の普及啓発と利用促進</p> <p>成年後見利用促進計画に基づき、権利擁護・後見サポートセンターを中心として制度の普及啓発や利用促進、相談窓口の周知啓発や相談支援機能の強化を図るとともに、本人の自己決定権を尊重した制度の運用を行うため、本人を中心とした権利擁護支援チームを形成する仕組みをつくり、チームで意思決定支援を行う体制を整えます。また、市民後見人等の養成を行うとともに、活躍の場が広がる仕組みづくりに取り組みます。</p>	<p>●成年後見制度利用促進計画に基づき、成年後見サポートセンターを中心として成年後見制度の普及啓発、相談窓口の周知啓発を実施しました。また、相談支援機関や専門職団体等による権利擁護支援の地域連携ネットワークの機能強化を図るため、令和6年度より作業部会を設置し関係機関と実務担当者がより具体的な取組みについて意見交換を行いました（R6年度3回実施）</p> <p>●成年後見制度の利用促進に向けて、成年後見利用促進部会等である取組みの推進に向けて検討を進めました。</p>	A	<p>●成年後見制度を適切に利用していただけるよう、今後も成年後見サポートセンターを中心に制度の普及啓発・利用促進に努めます。また、権利擁護全般に必要な支援を行えるよう、協議会にて検討を進めるとともに、成年後見サポートセンターの相談支援・後見人等支援のさらなる機能強化に努めます。</p> <p>本人を中心とした権利擁護支援チームを形成する仕組みと、チームで意思決定支援を行う体制を整えるため、市長申立て案件は全件を後見人就任時にチームミーティングを実施します。</p> <p>●成年後見報酬助成制度の見直しを含めてさらなる利用促進策の検討を行うとともに、引き続き、成年後見制度が必要な高齢者への支援を実施し、必要に応じて市長申立を行います。</p>

31	地域の高齢者虐待の防止・早期発見	<ul style="list-style-type: none"> ●地域包括ケアシステム推進総合会議（高齢部会）を通じ、虐待の実態について周知を行い、今ある課題に対して各関係機関と情報共有を図りました。 また地域包括支援センター連絡協議会が主催する全体会では、長寿安心課が作成したツールを用い高齢者虐待等の事例検討を実施。地域包括支援センター職員の知識の向上と包括間の連携強化および情報共有を行いました。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、高齢部会を通じて、虐待の実情に係る周知を行い、各関係機関と情報共有、地域包括支援センターとの連携を強化します。また地域包括支援センター職員の負担軽減のため、全圏域を対象に、担当職員の法的支援を行う「（仮称）虐待対応支援推進事業」を試行実施し、令和8年度本格実施に向けて、高齢者虐待防止の法的基盤の強化を図ります。
	<p>地域包括支援センターを中心に、高齢者虐待の防止、早期発見のための周知啓発などに取り組むとともにその体制の強化を図ります。</p> <p>また、地域の様々な関係機関と連携を図り、虐待の早期発見と迅速な相談支援などに取り組むとともに、虐待を受けた高齢者の避難先の確保と支援調整に取り組めます。</p>			
32	事業者等への虐待防止に向けた支援	<ul style="list-style-type: none"> ●介護保険サービス事業者等に対して、集団指導を行いました。 ●「豊中市介護保険事業者等指導実施方針」において「高齢者虐待の防止」「身体的拘束等の原則禁止」を最重点指導事項として位置づけ、運営指導を行いました。 ●虐待が疑われる事実があった場合には施設、事業所の運営状況等の指導を施設事業所指導担当課（福祉指導監査課）と虐待担当課（長寿安心課）と連携して行いました。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ●介護保険サービス事業者等に対する集団指導を実施します。 ●質の高いケアの提供ができるように事業所育成に力を入れ支援します。 ●施設事業所指導担当課（福祉指導監査課）と虐待担当課（長寿安心課）が必要に応じて連携を図り、虐待防止に向けて運営指導、立入検査を行います。
	<p>介護保険事業者連絡会等との連携により高齢者虐待防止に向けた基本的知識や考え方などの周知を図り、介護サービスの質の確保を図ります。</p> <p>また、必要に応じて、虐待防止に向けた運営指導・立入検査などを実施し、再発防止に向けた助言・指導等を行います。</p> <p>さらに、高齢者施設等における虐待防止に向けた取組みを推進するとともに、虐待に関する通報等があった場合は適切な調査を実施し、再発防止に向けて助言・指導を行います。</p>			
33	市長申立て案件における「権利擁護支援チーム」の形成	<ul style="list-style-type: none"> ●令和6年度より作業部会を設置し、権利擁護支援チームの具体的な取組みについて関係機関と実務担当者が意見交換を行いました（R7年3月時点、3回実施） ●モデルケースとして市長申立てにて後見人が就任した5件について、チームミーティングを実施。中核機関を中心にチームの土台形成を行い、本人、後見人を含んだ会議を開催しました。本人が望む暮らしを聞き取り、意思決定支援を踏まえてチームで意識合わせを実施しました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●令和7年度は、市長申立て案件のチーム形成を本格実施。申立担当課と中核機関が連携し、本人と後見人、支援者を含んだチーム形成を行います。また、本人の意思決定支援の意義と中核機関の役割をチームに周知、啓発できるような仕組みづくりを作業部会にて引き続き検討します。 ●成年後見制度の利用、権利擁護支援についての相談を専門職にできる仕組みをR7年度にモデル実施します。アウトリーチを含む相談支援の充実を図ります。
	<p>市長申立て案件で後見人が就任する際、権利擁護・後見サポートセンター（中核機関）が中心となり、後見人やこれまでの支援者を集め、権利擁護支援チーム形成の土台を作ります。</p>			

基本目標 2

人生100年時代における社会参加と健やかで安全・安心な暮らしの実現

<p>社会参加の促進</p> <p>高齢者が生涯を通じて、地域社会とつながり、活躍できるよう、高齢者一人ひとりの強みや興味・関心等に応じた多様で切れ目のない社会参加を支援し、健康増進や介護予防につなげます。</p>
--

<p>(1) 身近な地域での健康づくり・介護予防の展開【自立支援・重度化防止】</p> <p>健康寿命の延伸に向け、健康への関心の有無などに関わらずあらゆる世代が健康につながる環境づくりに取り組みます。 また、地域の状況・特徴などを踏まえ、多様な主体と連携を図りつつ「とよなかパワーアップ体操」などを中心に、通いの場づくりや元気な高齢者が地域を支えるための仕組みづくりなどを通じて、身近な地域における住民主体の介護予防の活動を展開します。</p>
--

No	取組み事項及びその内容	令和6年度の主な実施状況	取組みの評価	令和7年度以降の課題・方向性
34	<p>とよなかパワーアップ体操の自主グループの育成・支援</p> <p>介護予防体操「とよなかパワーアップ体操」の普及啓発に取り組むとともに、体操の自主グループの立ち上げと活動持続、効果的な取組みを支援するため、専門職による体力測定や体操指導等の支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地域課題分析に基づき、自主グループが少ない地域に重点的に普及啓発、立ち上げ支援に取り組みました。 ●グループ活動の継続支援として、会場費用の補助制度、傷害保険制度を開始しました。 ●専門職による体力測定、体操指導、栄養講話からなるフォローアップ事業を実施しました。市内122か所あるグループに対し、163回実施しました。 ●各圏域で自主グループ交流会を実施し、グループの垣根を超えた交流の促進を行いました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ●地域課題分析に基づき、通いの場が少ない地域に重点的に普及啓発、立ち上げ支援に取り組み、住民主体の介護予防を効果的・継続的に展開していきます。 ●とよなかパワーアップ体操の内容をリニューアルし、体操のバリエーションを増やすことで自主グループの継続意欲を高めます。 ●各圏域の自主グループ交流会に加え、市全域のグループを対象にした連絡会を実施し、グループ全体の活動の活性化や成長を促します。
35	<p>とよなか地域ささえ愛ポイント事業の推進</p> <p>「とよなか地域ささえ愛ポイント事業」の推進を通じて、社会参加・地域貢献への動機付けを行い、生きがいや介護予防につなげます。 また、活動対象を、子育て支援活動などにも拡充し、高齢者が地域を支える仕組みを強化します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●従前の取組みに加え、活動支援金の受取方法について、マチカネポイントでのポイント付与を行いました。また、活動登録者向け説明会の参加者へマチカネポイントを付与しました。登録者が活動に参加することで、地域貢献に対する動機づけになるとともに、社会参加や生きがいづくりにつながりました。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ●活動場所の拡大をはじめ、活動メニューの充実や周知・啓発手法の検討など、より多くの方に登録していただける魅力づくりが必要です。

(2) 就労支援の充実

高齢者の介護予防・自立支援や社会の活力の維持につなげていくため、高齢者の多様な就労の促進に向けた支援に取り組みます。

No	取組み事項及びその内容	令和6年度の主な実施状況	取組みの評価	令和7年度以降の課題・方向性
36	<p>高齢者の就労機会の創出</p> <p>地域就労支援事業や無料職業紹介事業、高齢者活用を検討している事業者への専門家派遣などにより、就労を希望する高齢者と高齢者を活用する事業所のマッチング等を推進します。</p> <p>また、就労促進講座や企業を対象とした高齢者雇用を促進する取組み等を通じて、高齢者の就労機会の創出を図り、高齢者が希望する就労や社会参加等への橋渡しを進めます。</p>	<p>●市内事業所を中心に企業を訪問し求人開拓を行うとともに、シニア世代の採用を検討する企業と求職者の出会う機会である企業交流会を開催しました（令和6年7月）。また、シニア世代を対象とした就業促進向上講座等を実施しました（令和6年11～12月）。地域就労支援センターで受け付けた相談については、相談者の希望に合わせた形で社会参加への橋渡しを行いました。</p>	B	<p>●引き続き就労を希望する高齢者と事業所のマッチングを無料職業紹介事業等の取組みを通じて、積極的に進めます。</p> <p>また、高齢者雇用を促進するための講座等の実施を通じて、高齢者の雇用を促進します。</p>

生活支援体制の充実

高齢者や家族介護者の日常生活での不安・困りごとに対応する多様なサービス・支援などが提供されるよう、地域での支え合い・助け合いの促進とともに、生活支援に関するサービス・制度の充実を図ります。また、災害時・緊急時に対応できる支援体制の充実を図ります。

(1) 地域での支え合い・助け合い機能の強化

地域での支え合い、助け合い機能の強化に向けて、介護予防・日常生活支援総合事業の住民主体ささえあい活動をはじめ、地域課題の解決に向けた取組み、既存の地域活動・福祉活動等などの充実を図ります。

また、本市におけるライフセーフティネットの拡充とともに、既存の活動・取組みなどを踏まえて、生活支援コーディネーターや地域ささえあい推進協議体の活動などを通じて、生活支援体制づくりに取り組みます。

なお、本項における生活支援体制整備事業を「豊中市生活支援体制整備事業実施計画」とします。

No	取組み事項及びその内容	令和6年度の主な実施状況	取組みの評価	令和7年度以降の課題・方向性
37	<p>生活支援体制整備事業の推進</p> <p>生活支援コーディネーターを中心に、地域住民をはじめ多様な事業主体と連携を図り、住民主体ささえあい活動の充実（下記参照）などを通じて、地域における支え合いの体制づくりを推進します。</p> <p>また、第1層（市全体）及び第2層（日常生活圏域）等に設置した地域ささえあい推進協議体において、地域における支え合いの体制づくりに関する課題抽出や情報共有、各主体との連携強化に取り組みます。</p>	<p>●生活支援コーディネーターを第1層（市全体）に2名、第2層の生活圏域ごとに1名配置し、高齢者の生活支援体制整備を推進していくための資源開発やネットワーク構築、協議体（第1層・第2層）の開催等を行いました。新たな地域資源の開発に取り組みました。</p>	B	<p>●生活支援コーディネーターによる生活支援体制づくりに向けては、引き続き、関係者間で取組みの目的、方向性、具体的な進め方などの共有を図り、より効果的・効率的な取組みの展開を進めます。</p>
	<p>住民主体ささえあい活動の充実</p> <p>介護予防・生活支援サービス事業の住民主体ささえあい活動として、福祉便利屋事業（訪問型）及びぐんぐん元気塾（通所型）の全小学校区での実施をめざします。</p> <p>また、既に実施している校区においては、多様なサービスを充実するとともに、地域拠点としての機能を強化し、地域のささえあいに取り組みます。</p>	<p>●住民主体ささえあい活動について、全校区福祉委員会39のうち福祉便利屋事業は21校区、ぐんぐん元気塾は36校区で実施しました。</p>	B	<p>●住民主体ささえあい活動を全校区福祉委員会での実施に向けては、コーディネーターの担い手の発掘・育成支援及び開催場所の確保が課題となっています。すでに取組みを実施している校区では、活動継続のための支援をしていきます。</p>

(2) 自立生活が続けられる住まいの支援【介護給付等費用の適正化】				
住宅施策と福祉施策の連携を図り、高齢者が住み慣れた地域で、安心、安全、自立した生活を送るための基盤となる住まいに関する情報提供を進めます。また、サービス付き高齢者向け住宅などの活用や市営住宅の住環境の改善、重層的な住宅セーフティネットの構築などを通じて、高齢者の安定した居住の確保に取り組みます。				
No	取組み事項及びその内容	令和6年度の主な実施状況	取組みの評価	令和7年度以降の課題・方向性
38	<p>サービス付き高齢者住宅の適正推進</p> <p>サービス付き高齢者住宅等の家賃やサービス内容などの様々な情報を市民に提供します。</p> <p>また、本市内において、サービス付き高齢者住宅等が整備され、介護保険サービスが提供される場合は、ケアプランやサービス内容について、必要に応じて事業者に対する指導・助言を行い、サービス提供の適正化を図ります。</p>	<p>●サービス付き高齢者向け住宅に住まれている利用者を対象としたケアプラン点検実施に向けた事務フローの整備を行い、令和7年3月から当該ケアプラン点検を実施しました。</p> <p>●サービス付き高齢者向け住宅について、資料を窓口配架し、市民からの問合せ等に対応しました。</p>	B	<p>●引き続きケアプラン点検を実施します。また、点検件数を重ねていく中で、指導及び助言内容のブラッシュアップを図り、サービス提供の適正化及び給付の抑制につなげていきます。</p> <p>●引き続き、サービス付き高齢者向け住宅について、資料を窓口配架し、市民からの問合せ等に対応します。</p>

基本目標 3 介護保険制度の持続可能性の確保と基盤づくり

<p>介護保険制度の効果的・効率的な運営</p>
<p>介護保険制度の持続可能性を確保するため、多様な介護人材の確保・定着支援や、介護サービスの質の向上などに取り組みます。また、地域の実情に応じた介護サービス基盤の整備に取り組みます。</p>

(1) 介護人材の育成・確保と介護現場の生産性の向上【重点施策】

多様な人材の参入・活躍の促進による介護人材のすそ野の拡大を図るとともに、新規介護人材の確保と定着支援の双方の視点に立った取組みを促進します。また、介護職の魅力発信や、介護現場における業務改善やデジタル技術の利活用支援等を図ることで、介護現場の生産性の向上に取り組みます。

No	取組み事項及びその内容	令和6年度の主な実施状況	取組みの評価	令和7年度以降の課題・方向性
39	<p>公民連携による介護人材確保対策</p> <p>公民連携の人材確保対策として介護保険事業者が主体となった取組みを支援し、持続可能な介護サービス提供体制の実現をめざします。</p>	<p>●「豊中市介護の未来創造支援事業」を事業新設しました。令和6年9月に一般社団法人豊中市介護保険事業者連絡会を事業者選定し、介護保険事業者が主体となった総合的な介護人材確保対策事業に助成しました。</p>	B	<p>●一般社団法人豊中市介護保険事業者連絡会の自立発展をどのようにしていくか、また介護人材対策事業の効果測定どのように行っていくかが課題となります。引き続き、豊中市介護の未来創造支援事業を一般社団法人豊中市介護保険事業者連絡会が実施し、持続可能な介護サービス提供体制の実現をめざします。</p>
40	<p>生活支援サービス従事者の養成</p> <p>生活支援サービス従事者研修を実施し、軽度の支援を必要とする高齢者を対象とする買い物や掃除・調理などの日常生活をサポートする「生活支援サービス従事者」の育成を通じて、人材のすそ野の拡大を図り、元気な高齢者をはじめ地域住民が活躍していただくことにより、多様な主体による多様な介護予防・生活支援サービスが利用できるような地域づくりを支援します。また、当該研修の修了者と事業者とのマッチングを行う「お仕事説明会」を開催し、介護人材確保を進めます。</p>	<p>●生活支援サービス従事者研修を実施し、地域での高齢者の支え手を養成しました。研修修了者らにむけて介護保険事業者による仕事説明会を開催しました。</p>	B	<p>●地域での高齢者の日常生活の支え手を増やすため、引き続き研修を実施します。研修修了者に業務内容の説明等、仕事説明会を行います。参加者増につながるような効果的な広報・周知に努めます。</p>
41	<p>いきてゆくフェスの実施</p> <p>高齢者の社会参加、多世代の参加や交流の促進、介護の仕事を広く市民に周知し、介護・福祉の魅力を伝えることを目的に「いきてゆくフェス」を実施します。</p>	<p>●「いきてゆくフェス2024」を一般社団法人豊中市介護保険事業者連絡会と共催で、地域共生センターや岡町・桜塚商店街で実施しました。(10/27開催)</p>	A	<p>●引き続き、高齢者の社会参加及び福祉・介護の魅力発信に資するイベントを展開します。また、最適な広報媒体を活用するとともに、行政のみならず、介護事業者や学校・学生、民間企業などと連携して取り組みます。</p>
42	<p>国・府との連携による生産性の向上に向けた取組みの推進</p> <p>文書作成や手続について、届の簡素化や手続の電子化などデジタル技術の活用を進めることで介護現場での負担軽減を図るなど、国の動向を踏まえ、大阪府と連携して取組みを進めます。</p>	<p>●提出書類の簡略化と、市独自の様式を削減し事業所の書類作成にかかる負担軽減を図りました。また、ローカルルールの見直しを行い、より基準をわかりやすく、かつ補正等の対応の時間が縮小できるよう調整を行いました。電子申請も開始予定であり、申請方法の選択肢を広げます。</p> <p>●国が示している介護保険施設等運営指導マニュアルに合わせて運営指導を行いました。</p>	A	<p>●電子申請開始にともない手続きフローの見直しを行い、さらなる負担軽減について検討していきます。また、事業所からの質問対応等により丁寧に説明できる体制への移行をめざし、よりよい事業運営環境を整備します。</p> <p>●事業所の負担軽減に資するよう、現状の取組みに加えてさらなる運営指導の効率化を図ります。</p>

(2) 介護サービスの質の向上と介護保険制度の適正な運営【介護給付等費用の適正化】

No	取組み事項及びその内容	令和6年度の主な実施状況	取組みの評価	令和7年度以降の課題・方向性
43	<p>要介護認定の適正化</p> <p>認定審査会前の各資料（基本調査、特記事項、主治医意見書）間の内容について不整合の有無を確認するとともに、認定調査票に特記事項（選択の根拠、介護の手段、頻度等）が適切に記載されているかを確認します。更新及び区分変更申請に係る要介護・要支援認定調査を実施するとともに、認定調査員及び介護認定審査会委員に対する研修を実施します。</p>	<p>●認定審査会前の各資料（基本調査、特記事項、主治医意見書）間の内容について不整合の確認をするとともに、認定調査票に特記事項（選択の根拠、介護の手段、頻度等）が適切に記載されているかを確認しました。</p> <p>●更新及び区分変更申請に係る要介護・要支援認定調査において、市職員による調査（検証）を行いました。</p> <p>●認定調査員に対する研修を実施しました。また、厚生労働省からの技術的助言（審査会運営）を受け入れました。</p>	B	<p>●引き続き、認定審査会前の各資料（基本調査、特記事項、主治医意見書）間の内容について不整合の確認をするとともに、認定調査票に特記事項（選択の根拠、介護の手段、頻度等）が適切に記載されているかを確認します。</p> <p>●引き続き、更新及び区分変更申請に係る要介護・要支援認定調査においては、市職員や指定事務受託法人による調査を実施、居宅介護支援事業所等による調査との比較・分析（検証）を行います。</p> <p>●適正な調査・審査実施のため、厚生労働省からの技術的助言の内容を踏まえた研修・情報提供を行います。</p>
44	<p>ケアプランの点検</p> <p>継続的にケアプランの質の向上を図る観点から、介護支援専門員の職能団体等にケアプランの点検を委託し、ケアプラン作成傾向の分析や振り返り研修等を実施します。また、厚生労働省が作成した「ケアプラン点検支援マニュアル」を踏まえて、高齢者向け住まいの入居者に係るケアプラン点検の実施に向けた体制の整備とデータの分析など行っていきます。</p>	<p>●大阪介護支援専門員協会への委託により、ケアプランの点検及び振り返り研修を実施し、ケアプラン及びケアマネジャーの質の向上に努めました。また、委託による点検のみならず、令和7年3月から庁内の専門職職員による高齢者向け住まいの入居者に係るケアプラン点検等も実施し、過剰なサービス提供の抑制につなげました。</p>	A	<p>●委託によるケアプラン点検及び振り返り研修と併せて、高齢者向け住まいの入居者に係るケアプラン点検等を継続して行い、データの分析及び将来給付費の抑制につなげていきます。</p>
45	<p>住宅改修の適正化</p> <p>申請される住宅改修が、写真等だけでは確認できないなど疑義のある場合に、改修工事の事前または事後に、現地調査等により確認します。加えて、疑義のあるもの以外にも一定数の調査を行います。</p>	<p>●事前申請の審査では、住宅改修ではなく福祉用具の貸与・購入で目的を達成できないかを確認し、「住宅改修を必要とする理由書」に記載されている利用者の身体状況と工事内容から考えて、日常生活の改善効果に疑義がある場合、または過剰な工事や単なるリフォームの可能性があらわれる場合に現地調査を実施しました。</p> <p>●完了後の検査では、写真では工事後の状況が確認が難しい場合に現地調査を実施しました。疑義がない場合でも一定数の現地調査を行い、不正工事の抑止を行いました。</p>	B	<p>●事前申請後に市の承認確認を怠る事業者が依然としてあることから、事前調査を強化し、承認までに改修を実施していないか確認を行います。また、引き続き無作為の調査も行います。</p> <p>●市職員を騙る詐欺を警戒し現地調査を拒否されるケースが増えていることから、必要に応じて電話での聞き取り調査に切り替えるなどの工夫を行っていきます。</p>
46	<p>福祉用具購入・貸与調査</p> <p>利用者の認定調査の直近の結果から利用が想定しにくい福祉用具購入・貸与について、協議書等により必要性を確認します。また、福祉用具購入については必要に応じて利用者自宅への訪問調査等を行います。</p>	<p>●これまで福祉用具貸与調査は実施できていませんが、令和6年度中に軽度者に対する福祉用具貸与に関する協議書の様式及び運用を改め、次年度以降に調査を実施できるような体制構築に努めました。</p> <p>●申請書の審査では、申請理由、身体状況および使用場所等を十分に聞き取り、適切な用具が購入されているか確認を行いました。申請書の内容に疑義がある場合だけでなく、無作為に実地検査等を行うことで、不要な福祉用具の購入を抑制することができました。</p>	B	<p>●協議書の様式及び運用を改めたことに伴い、軽度者にもかかわらず協議書が未提出の利用者を中心に調査を実施します。また、要介護度から利用が想定しにくい福祉用具を貸与されている利用者のケアプラン点検も実施し、給付の抑制につなげます。</p> <p>●現地調査により適正な給付であることを確認すると同時に、福祉用具の選定経緯や使用感について本人や家族から十分に聞き取り、効果的なものであったかの検証を行っていきます。</p>
47	<p>医療情報との突合</p> <p>介護給付情報と医療給付情報の重複請求等の突合点検について、事業者への請求内容の照会・確認、妥当・過誤の判断、請求誤りである場合の過誤処理までの一連の業務を国保連合会に委託するとともに、現在実施している突合項目以外についても活用を検討します。</p>	<p>●一連の業務を国保連合会へ委託しており、請求誤り等については過誤返還につなげることができました。</p>	A	<p>●引き続き一連の業務を国保連合会へ委託し、請求誤り等については過誤返還につなげ、給付の抑制につなげます。</p>
48	<p>縦覧点検</p> <p>複数月の明細書から算定回数や事業者間等の給付の整合性を受給者ごとに確認するために国保連合会から提供される縦覧チェック一覧表をもとに給付状況等を確認し、請求の誤りが判明した場合には返還を求めます。</p>	<p>●一連の業務を国保連合会へ委託しており、請求誤り等については過誤返還につなげることができました。</p>	A	<p>●引き続き一連の業務を国保連合会へ委託し、請求誤り等については過誤返還につなげ、給付の抑制につなげます。</p>

分野横断的なマネジメント体制の構築・強化				
市を中心に地域包括支援センターや地域の関係機関をはじめ多様な主体が連携し、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた分野横断的なマネジメント体制の構築・強化に取り組みます。				
No	取組み事項及びその内容	令和6年度の主な実施状況	取組みの評価	令和7年度以降の課題・方向性
49	<p>多様な主体との連携による施策推進</p> <p>市民、公益活動団体、民間事業者、大学、他自治体など、多様な主体による連携・協働・ネットワークの強化や、それぞれの強みやアイデアを生かした取組みを推進し、地域包括ケアシステム・豊中モデルの実現に向けた課題の解決を図ります。</p>	吹田市と施設整備の考え方や地域密着型サービスの広域利用などの市でについて意見交換会を行いました。	B	今後も引き続き意見交換会を実施し第9期計画の課題を共有し課題解決に向け取り組みます。

基本目標1 人生100年時代を見据えた生涯現役社会の実現

1)健康づくり・介護予防の展開

(1)健康づくりの推進【重点的な取り組み】

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
健康教育、出前講座の参加人数	人	計画値	700	725	800
		実績値	1837		
		達成状況	262.4%	0.0%	0.0%
フレイル予防に取り組み、改善した人数	人	計画値	950	1000	1050
		実績値	1,694		
		達成状況	178.3%	0.0%	0.0%
健康出張セミナーの参加人数	人	計画値	300	350	400
		実績値	580		
		達成状況	193.3%	0.0%	0.0%

(2)介護予防の推進【重点的な取り組み】

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
豊中はつらつ教室(通所訪問型短期集中サービス)実参加者数	人	計画値	450	470	490
		実績値	363		
		達成状況	80.7%	0.0%	0.0%

2)認知症施策の充実

(1)早期発見・早期支援のしくみづくりと連携の強化【重点的な取り組み】

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
地域包括支援センターにおける認知症相談件数	件	計画値	8,000	8,500	9,000
		実績値	7,186		
		達成状況	89.8%	0.0%	0.0%
認知症危険因子の啓発に関する教室・講演会の参加者数	人	計画値	200	250	300
		実績値	451		
		達成状況	225.5%	0.0%	0.0%
ヒアリングフレイルに関するイベント・教室の参加者数	人	計画値	150	170	190
		実績値	187		
		達成状況	124.7%	0.0%	0.0%

(2)本人と家族の視点を重視する支援の充実【重点的な取り組み】

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
認知症カフェ利用満足度	%	計画値	70	80	80
		実績値	90		
		達成状況	128.6%	0.0%	0
認知症個人賠償責任保険利用人数	人	計画値	600	600	600
		実績値	385		
		達成状況	64.2%	0.0%	0.0%
ICT 見守りサービスの利用人数	人	計画値	800	850	900
		実績値	916		
		達成状況	114.5%	0.0%	0.0%

(3)地域で見守り支え合う環境づくり【重点的な取り組み】

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
チームオレンジの立ち上げ数		計画値	7	9	11
		実績値	0		
		達成状況	0.0%	0.0%	0.0%

3)関係機関・専門職の支援スキルの向上と多職種連携の強化

(1)在宅医療と介護の連携強化【重点的な取り組み】

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
在宅医療・介護関係者間の課題抽出・課題把握・対応策の検討等企画・運営会議	開催数 (回)	計画値	15	15	15
		実績値	35		
		達成状況	233.3%	0.0%	0.0%
	延参加者数 (人)	計画値	100	100	100
		実績値	406		
		達成状況	406.0%	0.0%	0.0%
在宅医療・介護に関する専門職向け研修会・勉強会	開催数 (回)	計画値	7	7	7
		実績値	6		
		達成状況	85.7%	0.0%	0.0%
	延参加者数 (人)	計画値	200	250	300
		実績値	383		
		達成状況	191.5%	0.0%	0.0%
在宅医療・介護に関する市民向け講演会	開催数 (回)	計画値	3	5	7
		実績値	3		
		達成状況	100.0%	0.0%	0.0%
	延参加者数 (人)	計画値	30	50	70
		実績値	43		
		達成状況	143.3%	0.0%	0.0%
虹ねっとcom(登録数)	件	計画値	1,200	1,350	1,500
		実績値	1,291		
		達成状況	107.6%	0.0%	0.0%

(2)ケアマネジメントの質の向上

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
地域リハビリテーション活動支援事業専門職支援数	件	計画値	760	780	800
		実績値	601		
		達成状況	79.1%	0.0%	0.0%
ケアプランの点検件数(毎年度4月1日時点で指定を受けている事業所が対象)	件	計画値	170	170	170
		実績値	153		
		達成状況	90.0%	0.0%	0.0%

4)相談及び支援基盤の構築・強化

(1)地域における総合相談機能の強化

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
地域包括支援センター総合相談件数	件	計画値	35,000	35,000	35,000
		実績値	50,830		
		達成状況	145.2%	0.0%	0.0%
地域包括支援センター職員向け研修会開催数	回	計画値	2	2	2
		実績値	3		
		達成状況	150.0%	0.0%	0.0%
コミュニティソーシャルワーカー(CSW)相談件数	件	計画値	900	900	900
		実績値	501		
		達成状況	55.7%	0.0%	0.0%
福祉なんでも相談窓口相談件数	件	計画値	350	360	370
		実績値	1,451		
		達成状況	414.6%	0.0%	0.0%

(2)多様な相談機能の強化【重点的な取組み】

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
多機関連携相談件数	件	計画値	50	55	60
		実績値	76		
		達成状況	152.0%	0.0%	0.0%

(3) 権利擁護・虐待防止の推進

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
市長申立て件数(高齢者のみ)	件	計画値	20	20	20
		実績値	35		
		達成状況	175.0%	0.0%	0.0%
市民後見人受任件数	件	計画値	5	6	7
		実績値	5		
		達成状況	100.0%	0.0%	0.0%
高齢者虐待防止に関する研修参加者数	人	計画値	150	150	150
		実績値	145		
		達成状況	96.7%	0.0%	0.0%

基本目標2. 人生100年時代における社会参加と健やかで安全・安心な暮らしの実現

(1) 地域活動等への参加促進

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
市民公益活動支援センター利用人数	人	計画値	9,000	9,500	10,000
		実績値	18,003		
		達成状況	200.0%	0.0%	0.0%
市民公益活動推進助成金助成事業数	事業数	計画値	20	20	20
		実績値	16		
		達成状況	80.0%	0.0%	0.0%

(2) 身近な地域での健康づくり・介護予防の展開

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
とよなか地域ささえ愛ポイント事業でのボランティア登録者数(累計人数)	人	計画値	1,500	1,500	1,500
		実績値	1,319		
		達成状況	87.9%	0.0%	0.0%

(3) 就労支援の充実

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
市の事業を通じた雇用・就業人数	人	計画値	80	80	80
		実績値	67		
		達成状況	83.8%	0.0%	0.0%
シルバー人材センターの登録会員数	人	計画値	2,200	2,200	2,200
		実績値	1,640		
		達成状況	74.5%	0.0%	0.0%
シルバー人材センターの受注金額	千円	計画値	848,600	848,600	848,600
		実績値	839,410		
		達成状況	98.9%	0.0%	0.0%

2) 生活支援体制の充実

(1) 地域での支え合い・助け合い機能の強化

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	
住民主体ささえあい活動福祉便利屋事業(訪問型)	校区数	計画値	20	27	34	
		実績値	21			
		達成状況	105.0%	0.0%	0.0%	
	コーディネーター配置校区数	人	計画値	18	24	30
			実績値	18		
			達成状況	100.0%	0.0%	0.0%
	対応件数	件	計画値	250	300	350
			実績値	285		
			達成状況	114.0%	0.0%	0.0%
	担い手の登録者数	人	計画値	800	850	900
			実績値	251		
			達成状況	31.4%	0.0%	0.0%
住民主体ささえあい活動ぐんぐん元気塾(通所型)	校区数	計画値	39	39	39	
		実績値	36			
		達成状況	92.3%	0.0%	0.0%	
	延べ参加者数	人	計画値	40,000	43,000	45,000
			実績値	48,914		
			達成状況	122.3%	0.0%	0.0%
新しく開発した地域資源	種類	計画値	1	1	1	
		実績値	2			
		達成状況	200.0%	0.0%	0.0%	
	年間延べ活動回数	回	計画値	36	36	36
			実績値	16		
			達成状況	44.4%	0.0%	0.0%

(2)生活支援に関するサービス・制度の充実

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
ICT見守りサービス利用人数(人)【再掲】	人	計画値	800	850	900
		実績値	916		
		達成状況	114.5%	0.0%	0.0%
外出支援サービス延利用人数(人)	人	計画値	750	800	850
		実績値	729		
		達成状況	97.2%	0.0%	0.0%
住民主体ささえあい活動福祉便利屋事業 (訪問型)【再掲】	校区	計画値	20	27	34
		実績値	21		
		達成状況	105.0%	0.0%	0.0%
	コーディネーター 配置 校区数	計画値	18	24	30
		実績値	18		
		達成状況	100.0%	0.0%	0.0%
件	計画値	250	300	350	
	実績値	285			
	達成状況	114.0%	0.0%	0.0%	
住民主体ささえあい活動ぐんぐん元気塾 (通所型)【再掲】	校区数	計画値	39	39	39
		実績値	36		
		達成状況	92.3%	0.0%	0.0%
	延べ参加者数	計画値	40,000	43,000	45,000
		実績値	48,914		
		達成状況	122.3%	0.0%	0.0%

(3)家族介護者への支援の充実

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
要援護高齢者短期入所事業利用日数	日	計画値	1,600	1,600	1,600
		実績値	1,454		
		達成状況	90.9%	0.0%	0.0%

(4)災害時や感染症発生時に備えた支援体制の充実

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
地区防災圏自主防災組織の組織率	%	計画値	80.4	82.9	85.3
		実績値	78		
		達成状況	97.0%	0.0%	0.0%
防災出前講座の参加人数	人	計画値	2,500	4,000	5,500
		実績値	811		
		達成状況	32.4%	0.0%	0.0%

3)住生活環境の充実

(1) 自立生活が継続できる住まいの支援

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
住宅確保要配慮者向け賃貸住宅の登録	戸	計画値	前年から増加	前年から増加	前年から増加
		実績値	1,309		
		達成状況	—		

(2) 生活環境の充実

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
デマンド型乗合タクシー利用延人数	人	計画値	5,250	5,500	5,750
		実績値	11,232		
		達成状況	213.9%	0.0%	0.0%
交通空白地(k㎡)	k㎡	計画値	0	0	0
		実績値	0		
		達成状況	—	—	
外出支援サービス利用延人数【再掲】	人	計画値	750	800	850
		実績値	729		
		達成状況	97.2%	0.0%	0.0%

基本目標3. 介護保険制度の持続可能性の確保と基盤づくり

1)介護人材の育成・確保と介護現場の生産性の向上【重点的な取組み】

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
生活支援サービス従事者研修累計修了者数	人	計画値	30	40	50
		実績値	37		
		達成状況	123.3%	0.0%	0.0%
いきてゆくフェスの参加者数	人	計画値	1,500	1,550	1,600
		実績値	1,655		
		達成状況	110.3%	0.0%	0.0%

(2) 介護サービスの質の向上と介護保険制度の適正な運営

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
要介護認定の適正化(認定調査票点検件数)	件	計画値	全件	全件	全件
		実績値	全件		
		達成状況	—	—	—
要介護認定の適正化(更新及び区分変更申請に係る認定調査の保険者職員による検証の割合)	—	計画値	300件に1件	300件に1件	300件に1件
		実績値	125件に1件		
		達成状況	—	—	—
ケアプランの点検 点検件数(毎年度4月1日時点で指定を受けている事業所を対象とする予定)	件	計画値	170	170	170
		実績値	153		
		達成状況	90.0%	0.0%	
住宅改修の適正化(住宅改修の点検件数)	件	計画値	120	120	120
		実績値	98		
		達成状況	81.7%	0.0%	
福祉用具購入・貸与調査(福祉用具購入の訪問調査件数)	件	計画値	60	60	60
		実績値	39		
		達成状況	65.0%	0.0%	
福祉用具購入・貸与調査(福祉用具貸与の書類調査件数)	件	計画値	600	600	600
		実績値	0		
		達成状況	0.0%	0.0%	
医療情報との突合(突合の実施対象月)	—	計画値	全月	全月	全月
		実績値	全月		
		達成状況	—	—	
医療情報との突合(突合の項目数)	項目	計画値	2	2	2
		実績値	4		
		達成状況	200.0%	0.0%	
給付情報の縦覧点検(実施対象月)	—	計画値	全月	全月	全月
		実績値	全月		
		達成状況	—	—	
給付情報の縦覧点検(点検項目数)	項目	計画値	1	1	1
		実績値	4		
		達成状況	400.0%	0.0%	

(3)利用者支援の充実

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
「やさしい介護と予防」発行部数	部	計画値	20,000	20,000	20,000
		実績値	20,000		
		達成状況	100.0%	0.0%	0.0%
介護サービス相談員派遣事業(相談員数)	人	計画値	40	45	50
		実績値	28		
		達成状況	70.0%	0.0%	0.0%
介護サービス相談員派遣事業(受け入れ事業所数)	件	計画値	130	130	130
		実績値	130		
		達成状況	100.0%	0.0%	0.0%
健康福祉サービス苦情調整委員会への相談件数	件	計画値	40	40	40
		実績値	45		
		達成状況	112.5%	0.0%	0.0%

2)分野横断的なマネジメント体制の構築・強化

指標の内容	単位	計画・実績値	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
庁内連携にかかる会議開催数	回	計画値	1	1	2
		実績値	0	0	
		達成状況	0.0%	0.0%	0.0%
地域包括ケアシステム推進会議開催回数	件	計画値	3	3	3
		実績値	2		
		達成状況	66.7%	0.0%	0.0%

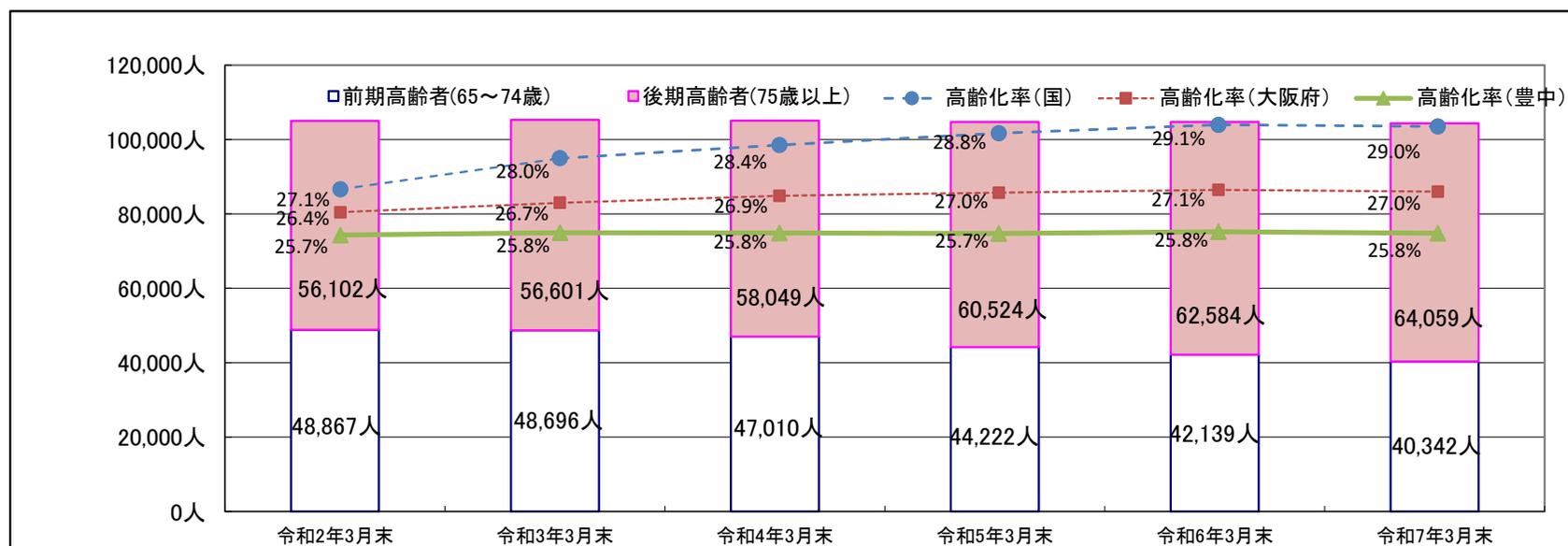
豊中市介護保険事業等の現況

- 高齢者人口、要介護者等の状況 P. 2
- 相談の状況 P. 5
- 介護保険サービスの利用状況 P. 7
- 令和6年度保険料の賦課状況 P. 10
- 市内のサービス事業所数 P. 11

□高齢者人口の推移

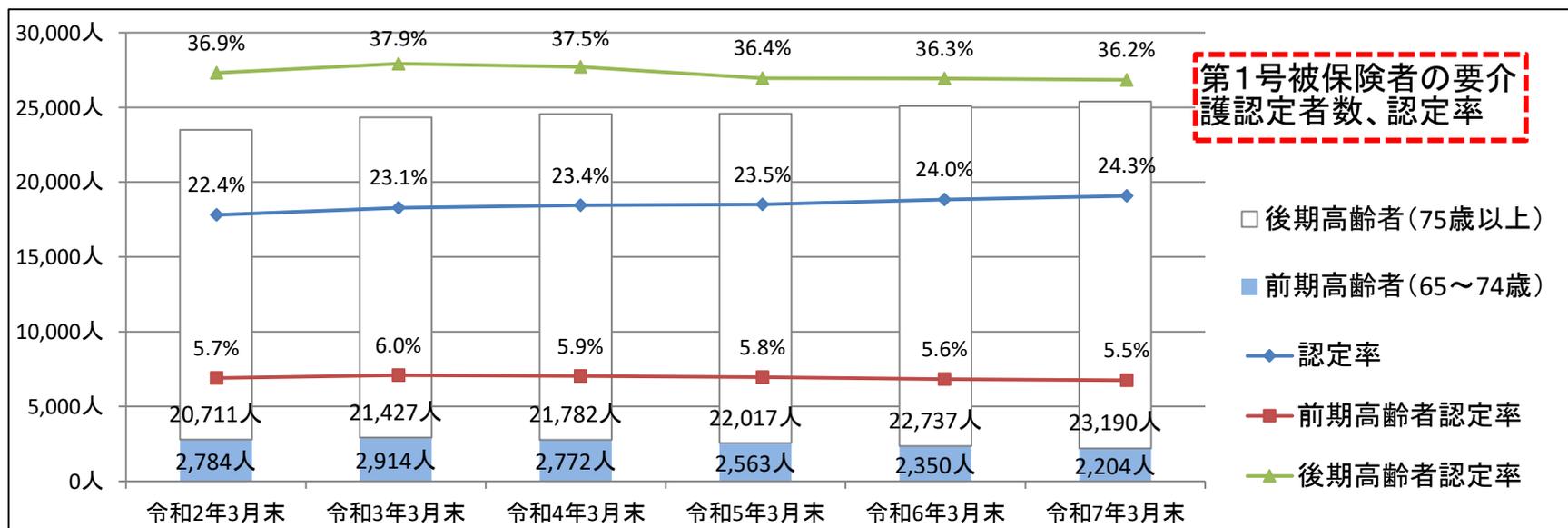
	令和2年3月末	令和3年3月末	令和4年3月末	令和5年3月末	令和6年3月末	令和7年3月末	ひとり暮らし高齢者数	
総人口	408,514人	408,731人	407,854人	406,922人	405,982人	405,411人	平成22年	18,993人
第1号被保険者数	104,969人	105,297人	105,059人	104,746人	104,723人	104,401人	平成27年	22,849人
前期高齢者(65～74歳)	48,867人	48,696人	47,010人	44,222人	42,139人	40,342人	令和2年	25,642人
後期高齢者(75歳以上)	56,102人	56,601人	58,049人	60,524人	62,584人	64,059人	* 国勢調査結果	
第1号被保険者数/総人口 (高齢化率)	25.7%	25.8%	25.8%	25.7%	25.8%	25.8%		
要介護認定者	23,879人	24,728人	24,935人	24,973人	25,476人	25,794人		
第1号被保険者	23,495人	24,341人	24,554人	24,580人	25,087人	25,394人		
前期高齢者(65～74歳)	2,784人	2,914人	2,772人	2,563人	2,350人	2,204人		
後期高齢者(75歳以上)	20,711人	21,427人	21,782人	22,017人	22,737人	23,190人		
第2号被保険者	384人	387人	381人	393人	389人	400人		
第1号被保険者/第1号被保険者総数 (認定率)	22.4%	23.1%	23.4%	23.5%	24.0%	24.3%		
前期高齢者認定率	5.7%	6.0%	5.9%	5.8%	5.6%	5.5%		
後期高齢者認定率	36.9%	37.9%	37.5%	36.4%	36.3%	36.2%		

* 総人口は住民基本台帳人口と外国人登録数の合計人数



□要介護認定者数の推移

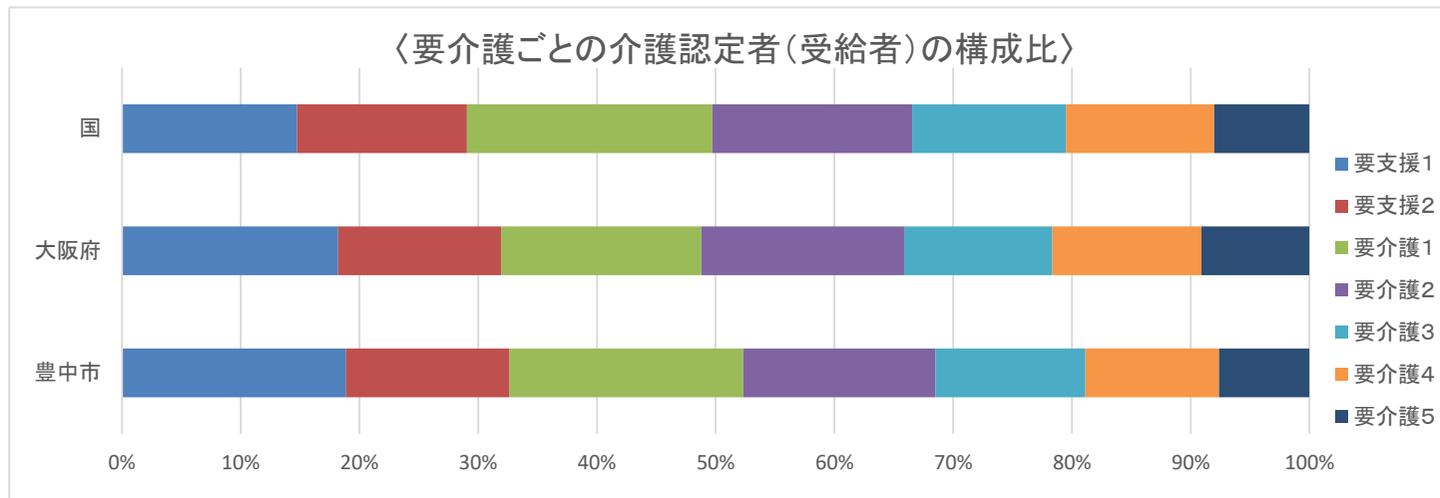
	令和2年3月末	令和3年3月末	令和4年3月末	令和5年3月末	令和6年3月末	令和7年3月末	構成比
要介護認定者数	23,879人	24,728人	24,935人	24,973人	25,476人	25,394人	100%
要支援1	4,355人	4,620人	4,531人	4,469人	4,632人	4,793人	18.9%
要支援2	3,578人	3,600人	3,586人	3,486人	3,584人	3,495人	13.8%
要介護1	4,538人	4,831人	4,919人	4,969人	4,999人	4,999人	19.7%
要介護2	4,128人	4,139人	4,172人	4,143人	4,194人	4,110人	16.2%
要介護3	2,970人	3,053人	3,080人	3,094人	3,202人	3,208人	12.6%
要介護4	2,385人	2,550人	2,612人	2,695人	2,799人	2,853人	11.2%
要介護5	1,925人	1,935人	2,035人	2,117人	2,066人	1,936人	7.6%
第1号被保険者	23,495人	24,341人	24,554人	24,580人	25,087人	25,394人	
前期高齢者(65～74歳)	2,784人	2,914人	2,772人	2,563人	2,350人	2,204人	
後期高齢者(75歳以上)	20,711人	21,427人	21,782人	22,017人	22,737人	23,190人	
第2号被保険者	384人	387人	381人	393人	389人	400人	
要介護認定の新規申請件数(累計)	令和元年度 6,340人	令和2年度 6,514人	令和3年度 6,750人	令和4年度 7,301人	令和5年度 7,275人	令和6年度 7,672人	



□要介護認定状況の国・府との比較

* 要支援・要介護認定者数は第2号被保険者を含む。

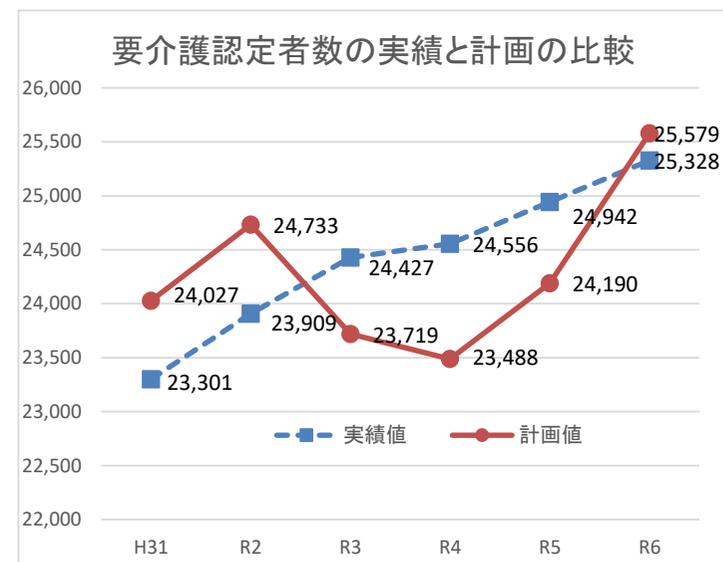
区分	豊中市(令和7年3月末現在)		大阪府(令和7年3月末現在)		国(令和7年3月末現在)	
	認定者数	構成比	認定者数	構成比	認定者数	構成比
要支援1	4,793人	18.9%	105,580人	18.2%	1,062,774人	14.7%
要支援2	3,495人	13.8%	79,772人	13.7%	1,031,016人	14.3%
要介護1	4,999人	19.7%	97,847人	16.9%	1,489,433人	20.7%
要介護2	4,110人	16.2%	99,290人	17.1%	1,213,703人	16.8%
要介護3	3,208人	12.6%	72,460人	12.5%	934,046人	13.0%
要介護4	2,853人	11.2%	72,972人	12.6%	898,950人	12.5%
要介護5	1,936人	7.6%	52,697人	9.1%	577,565人	8.0%
合計	25,394人	100.0%	580,618人	100.0%	7,207,487人	100.0%
第1号被保険者数	104,401人	認定率	2,348,334人	24.3%	35,840,600人	20.1%



要介護認定者数の実績と計画の比較

	H31	R2	R3	R4	R5	R6
要支援1	4,325	4,409	4,421	4,454	4,552	4,687
要支援2	3,556	3,522	3,560	3,526	3,573	3,541
要介護1	4,457	4,652	4,822	4,809	4,877	4,948
要介護2	3,986	4,050	4,155	4,126	4,097	4,169
要介護3	2,811	2,926	3,002	3,004	3,158	3,209
要介護4	2,291	2,445	2,541	2,611	2,658	2,805
要介護5	1,875	1,905	1,926	2,026	2,027	1,969
実績値	23,301	23,909	24,427	24,556	24,942	25,328
認定者伸び率	2.14%	2.61%	2.17%	0.53%	1.57%	1.55%
計画値	24,027	24,733	23,719	23,488	24,190	25,579
実績値と計画値の差	-726	-824	708	1,068	752	-251

※各年度10月1日時点



□相談の状況

1. 相談の受付件数(令和6年4月～令和7年3月末)

※長寿社会政策課受付分

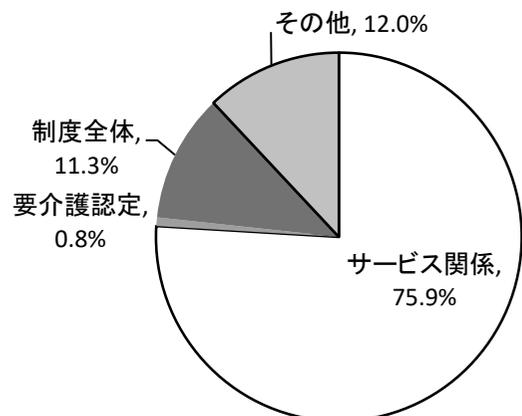
区分	サービス関係	要介護認定	制度全体	保険料負担	サービス利用料	その他	計
受付件数	101件	1件	15件	0件	0件	16件	133件
構成比	75.9%	0.8%	11.3%	0.0%	0.0%	12.0%	100.0%
令和5年度件数	142件	0件	5件	0件	0件	30件	177件
前年度との差	-41件	1件	10件	0件	0件	-14件	-44件

2. 相談の対応状況(令和6年4月～令和7年3月末)

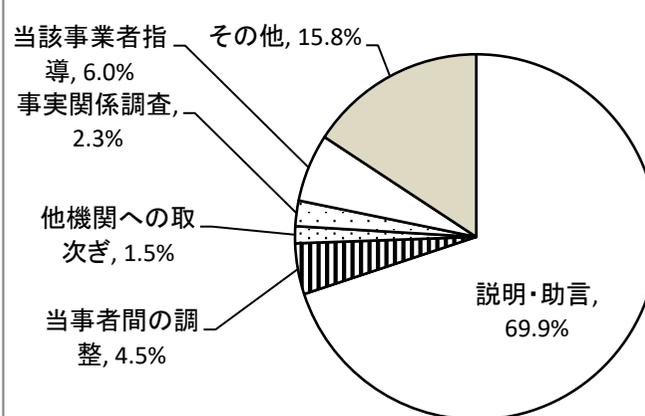
※長寿社会政策課受付分

区分	説明・助言	当事者間の調整	他機関への取次ぎ	事実関係調査	当該事業者指導	その他	計
受付件数	93件	6件	2件	3件	8件	21件	133件
構成比	69.9%	4.5%	1.5%	2.3%	6.0%	15.8%	100.0%
令和5年度件数	79件	15件	2件	1件	10件	70件	177件
前年度との差	14件	-9件	0件	2件	-2件	-49件	-44件

<令和6年度相談の内容>

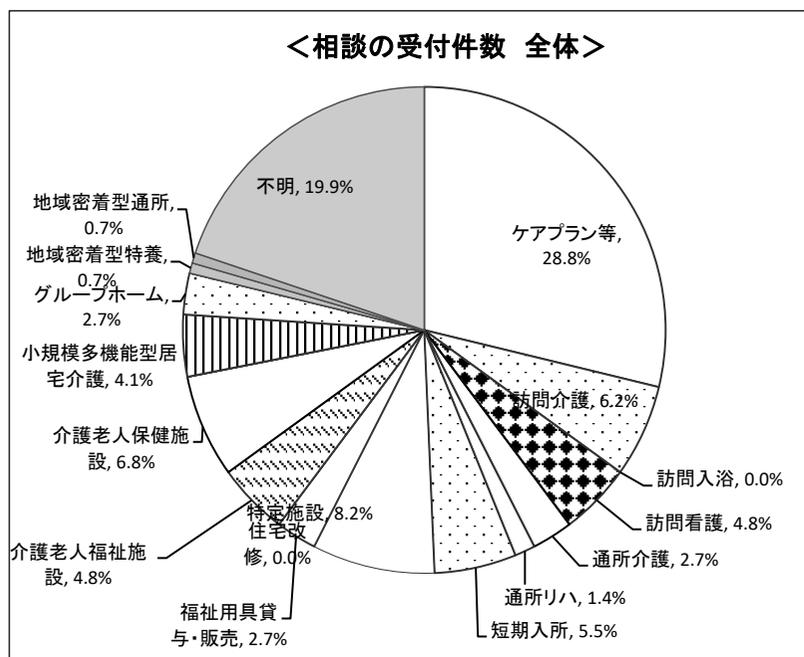


<令和6年度相談の対応状況>



3. サービス関係の相談の内訳(令和6年4月～令和7年3月末)

区分		居宅サービス											施設サービス			地域密着型サービス						不明	合計		
		ケアプラン等	訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハ	短期入所	特定施設	福祉用具貸与・販売	住宅改修	居宅療養管理指導	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	グループホーム	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	看護小規模多機能型居宅介護			地域密着型特養	地域密着型通所
長寿社会政策課	受付件数	35件	9件	0件	7件	0件	4件	2件	8件	11件	3件	0件	0件	6件	8件	0件	0件	6件	3件	0件	0件	1件	1件	29件	133件
	構成比	26.3%	6.8%	0.0%	5.3%	0.0%	3.0%	1.5%	6.0%	8.3%	2.3%	0.0%	0.0%	4.5%	6.0%	0.0%	0.0%	4.5%	2.3%	0.0%	0.0%	0.8%	0.8%	21.8%	100.0%
健康福祉サービス苦情調整委員会	相談件数(申立件数含)	7件								1件	1件			1件	2件			1件							13件
	構成比	53.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	15.4%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全体	受付件数	42件	9件	0件	7件	0件	4件	2件	8件	12件	4件	0件	0件	7件	10件	0件	0件	6件	4件	0件	0件	1件	1件	29件	146件
	構成比	28.8%	6.2%	0.0%	4.8%	0.0%	2.7%	1.4%	5.5%	8.2%	2.7%	0.0%	0.0%	4.8%	6.8%	0.0%	0.0%	4.1%	2.7%	0.0%	0.0%	0.7%	0.7%	19.9%	100.0%



口介護保険サービスの利用者数

<介護サービス> 要介護1～5の利用者数

		平成31年3月	令和2年3月	令和3年3月	令和4年3月	令和5年3月	令和6年3月	令和7年3月
在宅介護支援		9,483人	10,011人	10,350人	10,604人	11,092人	11,170人	11,166人
在宅サービス	訪問介護	5,210人	5,379人	5,517人	5,546人	5,829人	5,933人	5,953人
	訪問入浴	177人	197人	219人	240人	253人	238人	223人
	訪問看護	2,244人	2,527人	2,947人	3,212人	3,574人	3,703人	3,898人
	訪問リハビリ	581人	604人	639人	689人	782人	793人	817人
	通所介護	3,567人	3,806人	3,290人	3,342人	3,659人	3,779人	3,844人
	通所リハビリ	1,018人	1,091人	931人	970人	1,009人	1,052人	1,078人
	福祉用具貸与	6,662人	7,153人	7,555人	7,817人	8,222人	8,276人	8,396人
	短期入所生活介護	655人	711人	606人	550人	640人	645人	627人
	短期入所療養介護	96人	87人	76人	67人	92人	106人	107人
	居宅療養管理指導	3,849人	4,231人	4,607人	4,863人	5,255人	5,761人	6,090人
特定施設入居者生活介護	809人	848人	835人	778人	802人	925人	930人	
地域密着型サービス	認知症対応型共同生活介護	486人	491人	478人	478人	505人	486人	503人
	認知症対応型通所介護	84人	85人	80人	74人	74人	91人	80人
	小規模多機能型居宅介護	378人	377人	378人	397人	383人	369人	363人
	夜間対応型訪問介護	12人	6人	24人	26人	29人	31人	35人
	地域密着型特別養護老人ホーム	252人	256人	256人	252人	283人	285人	282人
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	59人	126人	137人	161人	169人	129人	124人
	看護小規模多機能型居宅介護	24人	29人	30人	22人	34人	32人	37人
地域密着型通所介護	1,330人	1,408人	1,242人	1,217人	1,299人	1,342人	1,277人	
施設	特別養護老人ホーム	1,138人	1,110人	1,222人	1,160人	1,150人	1,199人	1,181人
	介護老人保健施設	800人	810人	799人	803人	791人	788人	773人
	介護医療院		10人	10人	8人	13人	9人	10人
	介護療養型医療施設	10人	7人	1人	2人	2人	1人	0人

<介護予防サービス> 要支援1、2の利用者数

		平成31年3月	令和2年3月	令和3年3月	令和4年3月	令和5年3月	令和6年3月	令和7年3月
介護予防支援		2,299人	2,476人	2,590人	2,791人	2,911人	3,089人	3,242人
在宅サービス	介護予防訪問介護	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	介護予防訪問入浴	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
	介護予防訪問看護	364人	426人	478人	538人	554人	637人	693人
	介護予防訪問リハビリ	116人	113人	112人	143人	158人	177人	207人
	介護予防通所介護	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	介護予防通所リハビリ	325人	419人	381人	430人	443人	519人	524人
	介護予防福祉用具貸与	1,815人	1,851人	2,003人	2,118人	2,180人	2,327人	2,436人
	介護予防短期入所生活介護	9人	6人	5人	6人	3人	2人	3人
	介護予防短期入所療養介護	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	介護予防居宅療養管理指導	238人	242人	265人	276人	334人	389人	409人
介護予防特定施設入居者生活介護	112人	107人	107人	111人	103人	114人	132人	
地域密着型	介護予防認知症対応型共同生活介護	1人	0人	0人	0人	1人	0人	0人
	介護予防認知症対応型通所介護	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	介護予防小規模多機能型居宅介護	38人	29人	22人	14人	18人	15人	14人
総合事業	訪問型サービス	2,249人	2,185人	2,077人	2,081人	1,927人	1,947人	1,870人
	通所型サービス	1,861人	1,838人	1,617人	1,626人	1,716人	1,889人	2,020人
	介護予防ケアマネジメント	2,271人	2,180人	1,984人	1,922人	1,970人	1,989人	1,989人

□要介護度別のサービス利用状況 [令和7年1月]

<要支援・要介護認定者数>令和7年1月末

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4,826人	3,568人	5,060人	4,216人	3,249人	2,837人	1,972人	25,728人

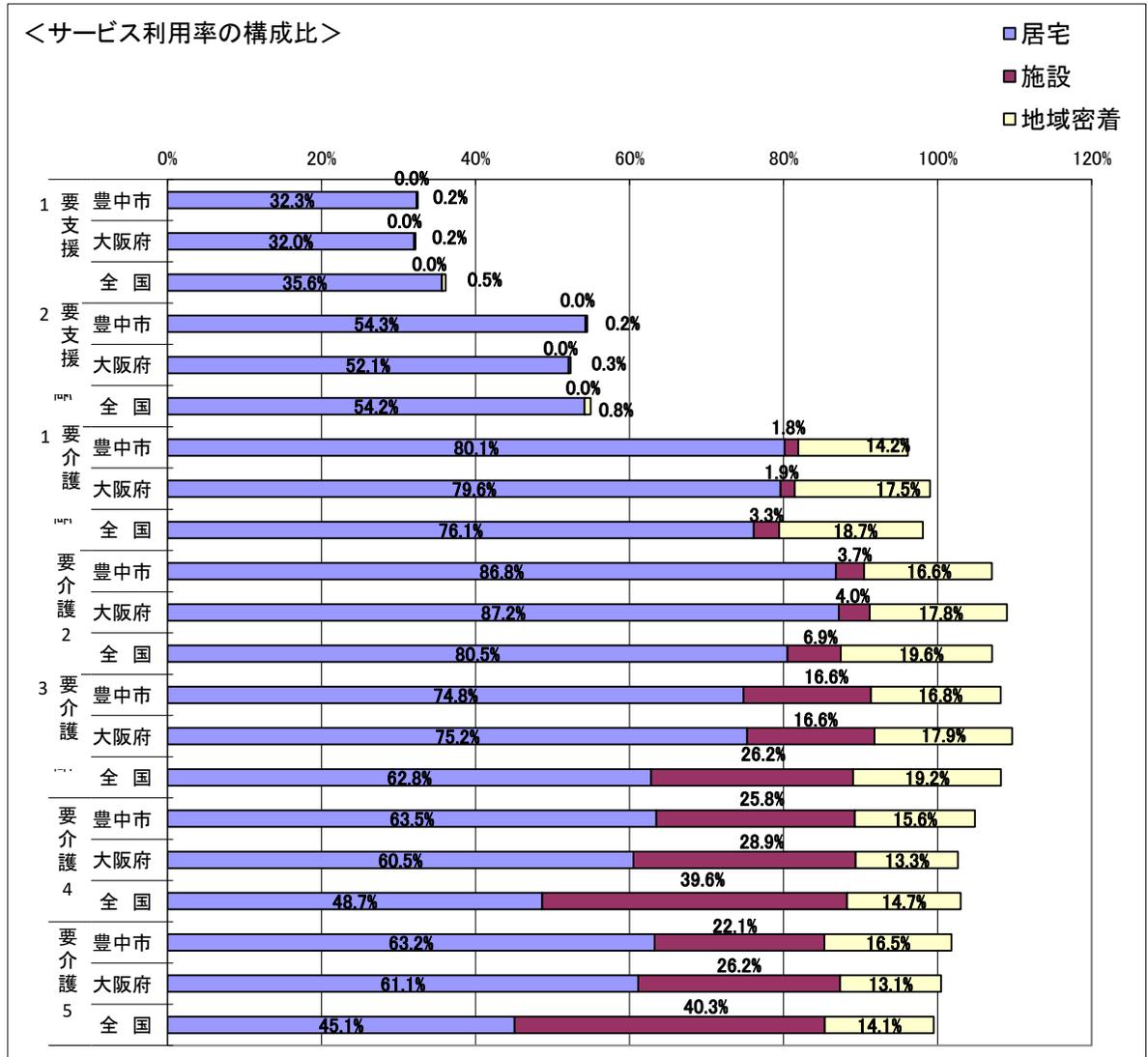
<要介護度別サービス利用者数(下段は利用率)>

※同月中に居宅・施設・地域密着型サービスを併用した場合は複数計上

	サービス			介護度別計
	居宅	施設	地域密着	
要支援1	1,561人	0人	8人	1,569人
	32.3%	0.0%	0.2%	32.5%
要支援2	1,936人	0人	8人	1,944人
	54.3%	0.0%	0.2%	54.5%
要介護1	4,055人	89人	720人	4,864人
	80.1%	1.8%	14.2%	96.1%
要介護2	3,658人	156人	698人	4,512人
	86.8%	3.7%	16.6%	107.0%
要介護3	2,430人	538人	547人	3,515人
	74.8%	16.6%	16.8%	108.2%
要介護4	1,801人	731人	442人	2,974人
	63.5%	25.8%	15.6%	104.8%
要介護5	1,247人	435人	325人	2,007人
	63.2%	22.1%	16.5%	101.8%
サービス別計	16,688人	1,949人	2,748人	21,385人
	64.9%	7.6%	10.7%	83.1%

※総合事業の利用者は除く

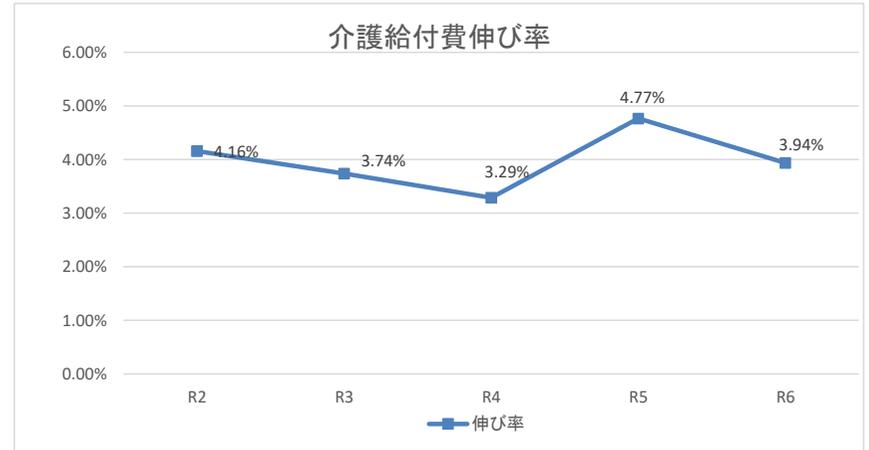
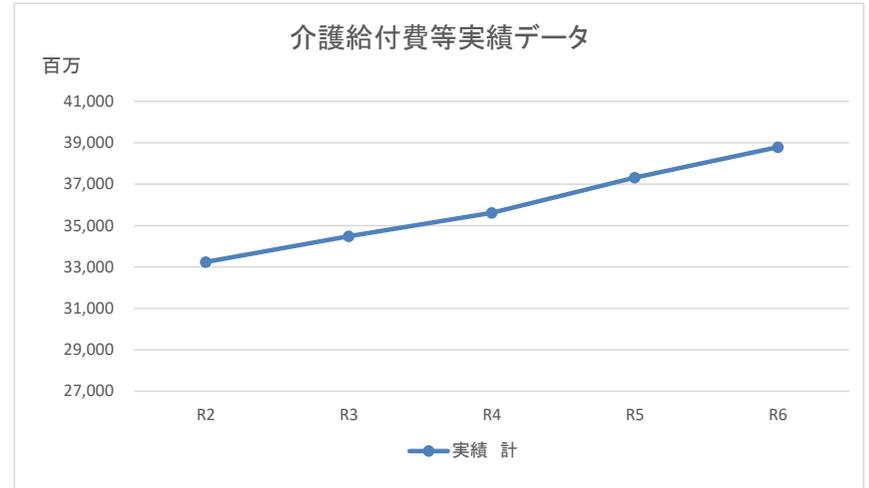
<サービス利用率の構成比>



介護給付費等実績データ

単位:円

	R2	R3	R4	R5	R6
居宅介護サービス給付費	16,936,827,897	17,857,138,634	18,669,382,130	20,071,640,785	21,059,707,340
特例居宅介護サービス給付費	0	0	0	0	0
地域密着型介護サービス給付費	4,903,997,364	5,011,612,201	5,235,341,030	5,243,911,596	5,209,990,363
特例地域密着型介護サービス給付費	0	0	0	0	0
居宅介護福祉用具購入費	47,553,221	48,556,406	50,450,446	49,967,529	52,358,377
居宅介護住宅改修費	63,556,351	66,520,922	67,088,441	58,573,392	62,414,107
居宅介護サービス計画給付費	1,850,136,879	1,976,239,191	2,065,437,616	2,133,657,671	2,179,805,257
特例居宅介護サービス計画給付費	0	0	0	0	0
施設介護サービス給付費	6,664,464,531	6,801,653,245	6,845,374,714	6,926,443,614	7,224,394,451
計(介護サービス等諸費)	30,466,536,243	31,761,720,599	32,933,074,377	34,484,194,587	35,788,669,895
介護予防サービス給付費	620,687,085	680,760,349	726,645,744	796,117,043	853,310,527
特例介護予防サービス給付費	0	0	0	0	0
地域密着型介護予防サービス給付費	21,644,956	14,687,030	13,406,589	13,823,378	16,117,610
特例地域密着型介護予防サービス給付費	0	0	0	0	0
介護予防福祉用具購入費	14,152,394	13,794,216	15,626,637	14,984,306	18,168,566
介護予防住宅改修費	52,178,086	49,568,740	49,479,270	45,734,500	46,425,396
介護予防サービス計画給付費	145,350,930	162,217,367	173,592,336	182,065,700	192,667,731
特例介護予防サービス計画給付費	0	0	0	0	0
計(介護予防サービス等諸費)	854,013,451	921,027,702	978,750,576	1,052,724,927	1,126,689,830
高額介護サービス費	1,027,985,221	1,046,467,660	1,037,243,773	1,096,173,513	1,175,511,062
高額介護予防サービス費	1,032,706	1,135,144	613,957	856,751	1,134,914
高額医療合算介護サービス費	132,510,777	130,212,795	134,749,425	145,026,975	161,722,152
高額医療合算介護予防サービス費	1,193,705	982,026	1,132,102	553,514	1,134,115
高額介護サービス等費	1,162,722,409	1,178,797,625	1,173,739,257	1,242,610,753	1,339,502,243
特定入所者介護サービス費	727,935,537	591,238,043	499,284,625	501,770,837	494,096,512
特例特定入所者介護サービス費	0	0	0	0	0
特定入所者介護予防サービス費	48,832	62,734	34,946	72,517	36,973
特例特定入所者介護予防サービス費	0	0	0	0	0
特定入所者介護サービス等費	727,984,369	591,300,777	499,319,571	501,843,354	494,133,485
審査支払手数料	30,430,173	31,961,366	33,500,388	35,149,019	36,333,637
実績計	33,241,686,645	34,484,808,069	35,618,384,169	37,316,522,640	38,785,329,090
伸び率	4.16%	3.74%	3.29%	4.77%	3.94%
介護予防・生活支援サービス事業費	1,126,216,189	1,166,444,660	1,234,446,081	1,260,095,580	1,300,928,051
伸び率	-8.24%	3.57%	5.83%	2.08%	3.24%



□令和6年度保険料の賦課状況

(令和7年3月末現在)

区分 (月額保険料)	対象者		人数	構成比	調定見込額	
第1段階 (1,994円)	市民税 非課税世帯	生活保護受給者又は老齢福祉年金受給者 本人の課税年金収入額とその他の合計所得金額の合計額が80万円以下の人	22,716人	21.7%		
第2段階 (3,394円)		本人の課税年金収入額とその他の合計所得金額の合計額が80万超120万円以下の人	9,955人	9.5%		
第3段階 (4,794円)		本人の課税年金収入額とその他の合計所得金額の合計額が120万円を超える人	8,831人	8.4%		
第4段階 (6,298円)	市本 民人 税が 非 課 税	本人の課税年金収入額とその他の合計所得金額の合計額が80万円以下の人	10,334人	9.9%		
第5段階[基準額] (6,998円)		本人の課税年金収入額とその他の合計所得金額の合計額が80万円を超える人	10,233人	9.8%		
第6段階 (8,398円)	市民税課税世帯	本人が市民税課税	本人の合計所得金額が120万円未満の人	10,194人		9.7%
第7段階 (8,748円)			本人の合計所得金額が120万円以上125万円未満の人	943人		0.9%
第8段階 (9,097円)			本人の合計所得金額が125万円以上210万円未満の人	14,221人		13.6%
第9段階 (10,497円)			本人の合計所得金額が210万円以上320万円未満の人	7,433人		7.1%
第10段階 (11,897円)			本人の合計所得金額が320万円以上400万円未満の人	2,840人		2.7%
第11段階 (12,596円)			本人の合計所得金額が400万円以上420万円未満の人	491人		0.5%
第12段階 (13,996円)			本人の合計所得金額が420万円以上520万円未満の人	1,702人		1.6%
第13段階 (15,396円)			本人の合計所得金額が520万円以上620万円未満の人	935人		0.9%
第14段階 (16,795円)			本人の合計所得金額が620万円以上720万円未満の人	600人		0.6%
第15段階 (17,495円)			本人の合計所得金額が720万円以上800万円未満の人	389人		0.4%
第16段階 (18,895円)			本人の合計所得金額が800万円以上1,000万円未満	657人		0.6%
第17段階 (21,694円)	本人の合計所得金額が1,000万円以上1,500万円未満	942人	0.9%			
第18段階 (25,193円)	本人の合計所得金額が1,500万円以上の人	1,489人	1.4%			
合計			104,905人	100.0%	8,847,567,468円	

口市内のサービス事業所数

		令和5年4月1日		令和6年4月1日		令和7年4月1日	
区分		事業所数	定員数	事業所数	定員数	事業所数	定員数
居宅サービス	介護予防支援	7		7		8	
	居宅介護支援	146		148		149	
	訪問介護	196		191		199	
	訪問看護(みなし指定を除く)	75		80		93	
	訪問入浴介護	5		5		5	
	訪問リハビリテーション(みなし指定を除く)	5		6		5	
	通所介護	66	2,117	66	2,117	70	2,279
	通所リハビリテーション(みなし指定を除く)	15	516	15	516	14	499
	福祉用具貸与	33		33		32	
	特定福祉用具販売	32		33		32	
	短期入所生活介護 * 1	23	642	23	634	23	634
	短期入所療養介護	10		10		10	
	特定施設入居者生活介護 * 2	18	1,288	20	1,468	20	1,565
	施設サービス	介護老人福祉施設	14	1,182	14	1,190	14
介護老人保健施設		10	809	10	809	10	809
介護療養型医療施設		0		0		0	
介護医療院		0		0		0	

		令和5年4月1日		令和6年4月1日		令和7年4月1日		
区分		事業所数	定員数	事業所数	定員数	事業所数	定員数	
地域密着型サービス	認知症対応型共同生活介護	30	529	30	529	30	529	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0		0		0		
	地域密着型介護老人福祉施設	10	290	10	290	10	290	
	小規模多機能型居宅介護	20		20		20		
	夜間対応型訪問介護	1		1		1		
	認知症対応型通所介護	8	63	7	28	4	22	
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	4		3		4		
	看護小規模多機能型居宅介護	2		2		2		
	地域密着型通所介護	50	647	49	647	49	637	
	総合事業	訪問介護相当サービス	173		165		164	
		訪問型サービスA	89		78		74	
通所介護相当サービス		109		104		107		
通所型サービスA		23		16		15		
住まい	軽費老人ホーム * 3	3(2)	220(150)	3(2)	220(150)	3(2)	220(150)	
	有料老人ホーム * 4	42	2,852	41	2,728		2,982	
	サービス付き高齢者向け住宅	38	1,575	38	1,529	38	1,530	

* 1 短期入所生活介護の定員数には、介護老人福祉施設の空床を含む

* 2 特定施設入居者生活介護には、養護老人ホームの特定枠30床を含む

* 3 軽費老人ホームのうち、特定施設入居者生活介護の指定を受けている場合は()で表示〔()内の数値は特定施設入居者生活介護の数値と重複〕

* 4 有料老人ホーム定員数には、介護付有料老人ホームの自立入所枠を含む

令和6年度におけるサービス別の保険給付費の状況(介護給付、予防給付)

単位:円

区 分	令和5年度		令和6年度						
	決算	決算見込み	対前年度増加額	前年度伸率	寄与度	寄与率	計画値	計画値-決算見込み	
居宅	訪問介護	7,540,025,176	8,100,697,909	560,672,733	7.4%	1.5%	38.2%	8,058,693,000	▲ 42,004,909
	介護予防訪問介護	0	11,901	11,901	#DIV/0!	0.0%	0.0%	0	▲ 11,901
	訪問入浴	192,154,237	185,635,627	▲ 6,518,610	-3.4%	0.0%	-0.4%	215,209,000	29,573,373
	介護予防訪問入浴	64,057	510,132	446,075	696.4%	0.0%	0.0%	0	▲ 510,132
	訪問看護	2,008,386,229	2,044,665,473	36,279,244	1.8%	0.1%	2.5%	2,195,656,000	150,990,527
	介護予防訪問看護	225,069,472	239,977,474	14,908,002	6.6%	0.0%	1.0%	229,288,000	▲ 10,689,474
	訪問リハビリ	402,893,395	409,241,411	6,348,016	1.6%	0.0%	0.4%	462,049,000	52,807,589
	介護予防訪問リハビリ	62,321,267	68,814,303	6,493,036	10.4%	0.0%	0.4%	68,374,000	▲ 440,303
	通所介護	3,318,004,287	3,380,266,474	62,262,187	1.9%	0.2%	4.2%	3,573,977,000	193,710,526
	介護予防通所介護	0	0	0	#DIV/0!	0.0%	0.0%	0	0
	通所リハビリ	812,108,159	813,404,091	1,295,932	0.2%	0.0%	0.1%	901,845,000	88,440,909
	介護予防通所リハビリ	196,468,076	203,104,221	6,636,145	3.4%	0.0%	0.5%	211,431,000	8,326,779
	福祉用具貸与	1,469,448,936	1,513,935,471	44,486,535	3.0%	0.1%	3.0%	1,554,281,000	40,345,529
	介護予防福祉用具貸与	159,845,840	168,653,563	8,807,723	5.5%	0.0%	0.6%	167,149,000	▲ 1,504,563
	短期入所生活介護	895,644,060	870,020,309	▲ 25,623,751	-2.9%	-0.1%	-1.7%	962,892,000	92,871,691
	介護予防短期入所生活介護	2,047,717	2,217,209	169,492	8.3%	0.0%	0.0%	1,776,000	▲ 441,209
	短期入所療養介護	105,431,624	125,893,784	20,462,160	19.4%	0.1%	1.4%	120,843,000	▲ 5,050,784
	介護予防短期入所療養介護	388,265	593,221	204,956	52.8%	0.0%	0.0%	485,000	▲ 108,221
	特定施設入居者生活介護	2,214,422,021	2,396,760,869	182,338,848	8.2%	0.5%	12.4%	2,262,188,000	▲ 134,572,869
	介護予防特定施設入居者生活介護	97,981,339	110,610,410	12,629,071	12.9%	0.0%	0.9%	93,795,000	▲ 16,815,410
	居宅療養管理指導	1,115,378,330	1,221,547,924	106,169,594	9.5%	0.3%	7.2%	1,224,064,000	2,516,076
	介護予防居宅療養管理指導	49,675,341	56,456,091	6,780,750	13.7%	0.0%	0.5%	57,080,000	623,909
	福祉用具購入費	49,967,529	52,358,377	2,390,848	4.8%	0.0%	0.2%	60,182,000	7,823,623
	介護予防福祉用具購入費	14,984,306	18,168,566	3,184,260	21.3%	0.0%	0.2%	15,021,000	▲ 3,147,566
	住宅改修費	58,573,392	62,414,107	3,840,715	6.6%	0.0%	0.3%	73,046,000	10,631,893
	介護予防住宅改修費	45,734,500	46,425,396	690,896	1.5%	0.0%	0.0%	53,479,000	7,053,604
居宅介護支援	2,133,951,985	2,180,116,134	46,164,149	2.2%	0.1%	3.1%	2,267,659,000	87,542,866	
介護予防支援	181,771,386	192,356,854	10,585,468	5.8%	0.0%	0.7%	194,210,000	1,853,146	
小 計	23,352,740,926	24,464,857,301	1,112,116,375	4.8%	3.0%	75.7%	25,024,672,000	559,814,699	
地域密着型	認知症対応型共同生活介護	1,626,877,441	1,663,442,940	36,565,499	2.2%	0.1%	2.5%	1,691,025,000	27,582,060
	介護予防認知症対応型共同生活介護	935,772	0	▲ 935,772	0.0%	0.0%	-0.1%	0	0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	330,894,710	234,740,930	▲ 96,153,780	-29.1%	-0.3%	-6.5%	427,523,000	192,782,070
	夜間対応型訪問介護	10,426,055	12,194,599	1,768,544	17.0%	0.0%	0.1%	11,702,000	▲ 492,599
	小規模多機能型居宅介護	1,054,752,013	1,039,400,799	▲ 15,351,214	-1.5%	0.0%	-1.0%	1,270,830,000	231,429,201
	介護予防小規模多機能型居宅介護	12,804,799	16,064,548	3,259,749	25.5%	0.0%	0.2%	18,507,000	2,442,452
	認知症対応型通所介護	119,906,111	121,169,113	1,263,002	1.1%	0.0%	0.1%	130,635,000	9,465,887
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1,113,824,706	1,135,288,565	21,463,859	1.9%	0.1%	1.5%	1,141,021,000	5,732,435
	看護小規模多機能型居宅介護	97,840,666	109,691,158	11,850,492	12.1%	0.0%	0.8%	119,186,000	9,494,842
	地域密着型通所介護	889,472,701	894,115,321	4,642,620	0.5%	0.0%	0.3%	978,600,000	84,484,679
小 計	5,257,734,974	5,226,107,973	-31,627,001	-0.6%	-0.1%	-2.2%	5,789,029,000	562,921,027	
施設	介護老人福祉施設	3,968,117,905	4,181,301,463	213,183,558	5.37%	0.57%	14.51%	4,000,550,000	▲ 180,751,463
	介護老人保健施設	2,913,340,223	3,005,173,832	91,833,609	3.2%	0.2%	6.3%	2,941,959,000	▲ 63,214,832
	介護療養型医療施設	2,695,217	352,326	▲ 2,342,891	-86.9%	0.0%	-0.2%	67,728,000	67,375,674
	介護医療院	42,290,269	37,566,830	▲ 4,723,439	-11.2%	0.0%	-0.3%	0	▲ 37,566,830
小 計	6,926,443,614	7,224,394,451	297,950,837	4.3%	0.8%	20.3%	7,010,237,000	▲ 214,157,451	
その他	高額介護(予防)サービス費	1,097,030,264	1,176,645,976	79,615,712	7.3%	0.2%	5.4%	1,162,000,000	▲ 14,645,976
	特定入所者介護(予防)サービス費	501,843,354	494,133,485	▲ 7,709,869	-1.5%	0.0%	-0.5%	504,789,000	10,655,515
	高額医療合算介護(予防)サービス費	145,580,489	162,856,267	17,275,778	11.9%	0.0%	1.2%	153,000,000	▲ 9,856,267
	審査支払手数料	35,149,019	36,333,637	1,184,618	3.4%	0.0%	0.1%	33,523,831	▲ 2,809,806
小 計	1,779,603,126	1,869,969,365	90,366,239	5.1%	0.2%	6.2%	1,853,312,831	▲ 16,656,534	
保 険 給 付 費 総 合 計		37,316,522,840	38,785,329,090	1,468,806,450	3.9%	3.9%	100.0%	39,677,250,831	891,921,741
サービス事業費	訪問介護相当サービス	362,917,032	398,936,702	36,019,670	9.9%	19.8%	92.5%	396,639,000	▲ 2,297,702
	訪問型サービスA	44,033,499	8,553,847	▲ 35,479,652	-80.6%	-19.5%	-91.2%	48,739,000	40,185,153
	通所介護相当サービス	628,522,579	667,921,178	39,398,599	6.3%	21.7%	101.2%	630,692,000	▲ 37,229,178
	通所型サービスA	13,531,795	12,513,801	▲ 1,017,994	-7.5%	-0.6%	-2.6%	17,825,000	5,311,199
介護予防サービス事業費合計	1,049,004,905	1,087,925,528	38,920,623	3.7%	21.4%	100.0%	1,093,895,000	5,969,472	

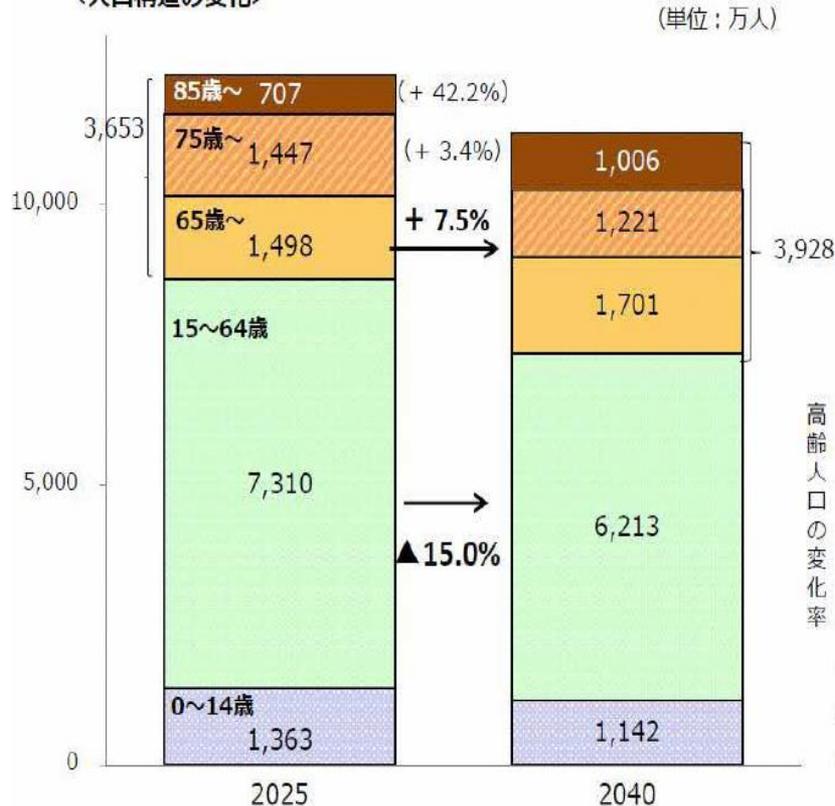
豊中市

第10期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けた論点整理

2040年の人口構成

- 2040年には、85歳以上人口を中心とした高齢化と生産年齢人口の減少が見られる。
- 地域ごとに見ると、ほぼ全ての地域で生産年齢人口は減少し、都市部では高齢人口が増加、過疎地域では高齢人口は減少する。

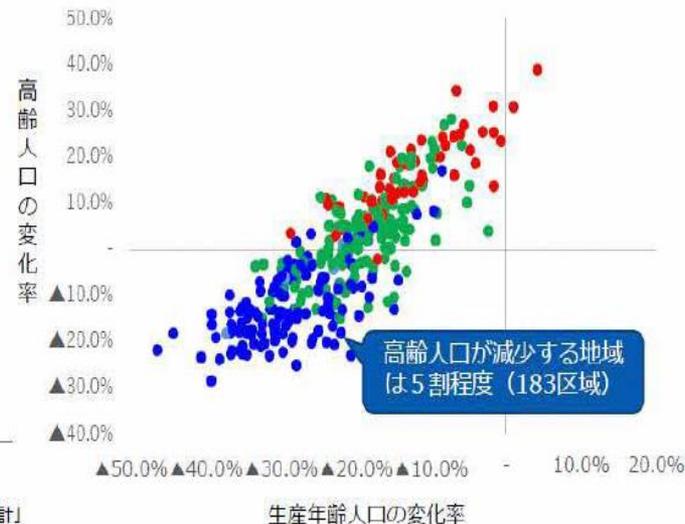
<人口構造の変化>



<2025→2040の年齢区分別人口の変化の状況>

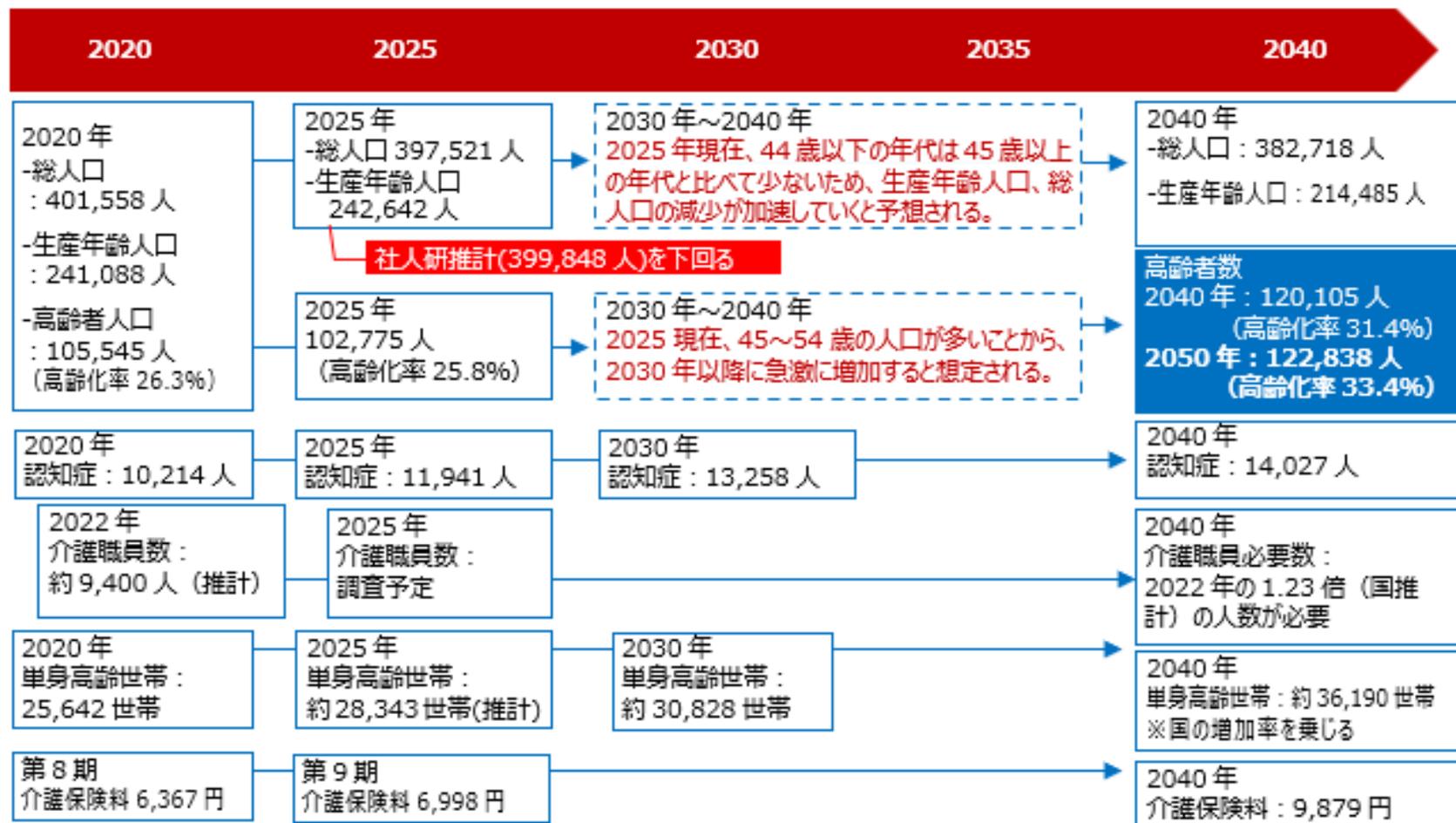
	年齢区分別人口の変化率の平均値	
	生産年齢人口	高齢人口
● 大都市型	-11.9%	17.2%
● 地方都市型	-19.1%	2.4%
● 過疎地域型	-28.4%	-12.2%

大都市型：人口が100万人以上（又は人口密度が2,000人/km²以上）
 地方都市型：人口が20万人以上（又は人口10~20万人（かつ）人口密度が200人/km²以上）
 過疎地域型：上記以外



(出典) 総務省「国勢調査」「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 令和5年推計」

豊中市における2040年までの人口等に関する短期・中期・長期の見通し



※2020年人口・世帯数は国勢調査、2025年人口は大阪府「推計人口」（4月1日現在）、推計値は豊中市の第9期計画の引用や国の上昇率などを用いて算出。認知症有病者は「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」における男女別年齢別有病率を用いて算出。

国における検討の動き

「2040年に向けたサービス提供体制等のあり方」検討会 中間とりまとめ (令和7年4月)

2040年に向けたサービス提供体制のあり方(概要)

- 人口減少、85歳以上の医療・介護ニーズを抱える者や認知症高齢者、独居高齢者等の増加
- 地域のサービス需要が変化。地域包括ケアシステムを深化し、利用者等が適切に介護や医療等のサービスを受けながら自立して日常生活を営めるよう、地域の実情に応じた効果的・効率的なサービス提供を確保
- 介護人材が安心して働き続け、利用者等とともに地域で活躍できる地域共生社会を構築

基本的な考え方

- ① 「地域包括ケアシステム」を2040年に向け深化
- ② 地域軸・時間軸を踏まえたサービス提供体制確保
- ③ 介護人材確保と職場環境改善・生産性向上、経営支援
- ④ 地域の共通課題と地方創生

「2040年に向けたサービス提供体制等のあり方」検討会 中間とりまとめ (令和7年4月)

方向性

(1)人口減少、サービス需要の変化に応じた提供体制や支援体制構築

- ◆需要急増を踏まえたサービス基盤整備のための適切な対応
- ◆サービスを過不足なく確保するため、既存の介護資源等を有効活用

(2)介護人材確保と職場環境改善・生産性向上、経営支援

- ◆テクノロジー導入・運営支援
- ◆生産性向上による業務効率化等で得た時間で質の向上や介護人材定着を促すことが重要

(3)地域包括ケアとその体制確保のための医療介護連携、介護予防・健康づくり、認知症ケア

- ◆地域包括ケアにおける医療介護連携の強化
- ◆「通いの場」の取組、サービス・活動C、一体的実施等の介護予防関連施策の連携と専門職等の適切な関与の促進
- ◆認知症ケア 医療、介護、生活支援、権利擁護・意思決定支援等に加え、地域におけるインフォーマルな支援の推進

參考資料

「2040年に向けたサービス提供体制等のあり方」検討会 中間とりまとめ (令和7年4月)

方向性

(1) 人口減少・サービス需要の変化に応じたサービス提供体制や支援体制の構築

2040年に向けて、地域における人口減少・サービス需要の変化に応じ、全国を主に3つの地域に分類して、テクノロジー等も活用し、その地域の状況に応じたサービス提供体制や支援体制を構築

○ 「中山間・人口減少地域」：サービスを維持・確保するための柔軟な対応

- ・ サービス需要が減少する中、様々なサービスを組み合わせることで維持・確保できるよう、地域のニーズに応じた柔軟な対応（配置基準等の弾力化、包括的な評価の仕組み、訪問・通所などサービス間の連携・柔軟化、市町村事業によるサービス提供などの検討）
- ・ 地域の介護機能の維持等のため、地域の介護を支える法人等への支援、社会福祉連携推進法人の活用促進

○ 「大都市部」：需要急増を踏まえたサービス基盤整備のための適切な対応

- ・ サービス需要が急増する中、公と民の多様なサービスに加え、ICTやAI技術など民間活力も活用したサービス基盤の整備
- ・ 重度の要介護者や独居高齢者等に対応可能な、ICT技術等を用いた24時間対応可能な効率的かつ包括的なサービスの検討

○ 「一般市等」：サービスを過不足なく確保するための適切な対応

- ・ サービス需要が増減する中、既存の介護資源等を有効活用しサービスを過不足なく確保。将来の需要減少に備えた準備と柔軟な対応

○ 支援体制の構築

- ・ サービス提供体制の変化の中、他分野とも連携した支援体制が必要。医療も含め、地域における介護サービス提供体制の状況をエリア別に見える化し、地域で状況把握・分析、関係者間の共有・議論。介護保険事業計画等のあり方の議論の中で位置づけを検討

「2040年に向けたサービス提供体制等のあり方」検討会 中間とりまとめ (令和7年4月)

(2) 介護人材確保と職場環境改善・生産性向上、経営支援

2040年に向けて、生産年齢人口が減少する中、介護人材確保は最大の課題。処遇改善をはじめとする人材確保の取組を進めるとともに、地域単位でも、専門機関等の連携を図り、雇用管理・生産性向上、事業者間の協働化など、経営改善に向けた支援を実施

○ 国や地方における介護人材確保に向けた取組

- ・ 賃上げや処遇改善の取組の継続
- ・ 地域における人材確保状況等の見える化・精緻な分析、対策の検討
- ・ 地域の公的な機関等の連携やプラットフォーム機能の充実等
- ・ 入門的研修の強化、業務の整理・切り出し、タスクシェア/人材シェア、多様な人材とのマッチング
- ・ 若い世代に向けた介護の魅力向上
- ・ 常勤化支援
- ・ 外国人材の定着支援や就労・生活環境整備
- ・ 養成施設の環境整備

○ 雇用管理等による介護人材の定着に向けた取組

- ・ 介護事業者の適切な雇用管理(ハラスメント対策含む)
- ・ 介護人材の多様なキャリアモデルの見える化・キャリアアップの仕組み
- ・ オンラインを含めた教育・研修への位置付け、試験制度における取組

○ 職場環境改善・生産性向上の取組

- ・ 生産性向上による業務効率化等で得た時間で職員への投資を図り、質の向上や介護人材定着を促すことが重要
- ・ テクノロジー導入・運営支援、介護助手等によるタスクシフト/シェア
- ・ 団体等と連携したテクノロジー等の普及
- ・ デジタル中核人材の育成、科学的介護の推進、生産性相談窓口による伴走支援。介護記録ソフトやAIなど在宅の技術開発、研究

○ 介護事業者の経営改善に向けた支援

- ・ 都道府県単位で雇用管理・生産性向上など経営支援の体制の構築(地域の専門機関や専門職等との連携)

○ 他事業者との協働化、事業者間の連携、大規模化

- ・ 小規模の良さを活かし、大規模化によるメリットを示しつつ、間接業務効率化や施設・設備の共同利用など、協働化や事業者間連携をまずは推進。大規模化を事業者間でも進めるとともに、社会福祉連携推進法人の活用が進む仕組みを検討

(3) 地域包括ケアとその体制確保のための医療介護連携、介護予防・健康づくり、認知症ケア

2040年に向けて、地域包括ケアシステムを深化させ、医療・介護、介護予防、生活支援等の包括的な確保を図る必要があり、そのためには、地域資源を把握・分析し、様々なサービスや事業の組み合わせや連携を図っていく必要

○ 地域包括ケアとその体制確保のための医療介護連携

- ・ 地域包括ケアにおける医療介護連携の強化。退院して在宅復帰するまでの老人保健施設、地域の中小病院等の医療機関の役割が重要(医療・介護資源の地域差を踏まえて対応していく必要)
- ・ 地域の医療・介護状況の見える化・状況分析と2040年に向けた介護・医療連携の議論(地域医療構想との接続)

○ 介護予防・健康づくり、介護予防・日常生活支援総合事業等

- ・ 地域リハビリテーション体制、「通いの場」の取組、サービス・活動C、一体的実施等の介護予防関連施策の連携と専門職等の適切な関与の促進
- ・ 総合事業の充実やインセンティブ交付金の改善
- ・ 介護予防支援拠点の整備

○ 認知症ケア

- ・ 医療、介護、生活支援、権利擁護・意思決定支援等に加え、地域におけるインフォーマルな支援の推進

第10期豊中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定にかかり、65歳以上の高齢者及び要支援・要介護認定者を対象に、生活状況や介護保険サービスの利用状況、今後の利用意向等を把握するため、以下のアンケート調査を実施します。

調査名	健康とくらしの調査 (高齢者一般調査)	在宅認定者調査 (在宅介護実態調査)
目的	要介護状態になる前的高齢者のリスクや社会参加状況を把握し、地域の抱える課題を特定すること	「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討すること
対象	要支援認定を受けているか、要支援・要介護認定を受けていない高齢者 約6,150名	要支援・要介護認定を受けている在宅の高齢者 約3,500名
方法	郵送による配布・回収	郵送による配布、ウェブ及び郵送での回収
期間（予定）	令和7年（2025年）10月	令和7年（2025年）11月～12月

第9期計画 健康とくらしの調査 市独自項目設問(案)新旧対照表

	新	旧	削除する理由
項目	1. 本人や家族の生活状況	1. 本人や家族の生活状況	
		問1-1 日中に独居となる時間帯があるか	在宅認定者調査で確認するため。
		問1-2 夜間の独居の状況	在宅認定者調査で確認するため。
		問1-3 緊急時の対応者(かけつける・連絡できる)	在宅認定者調査で確認するため。
項目	2. 日常生活について	2. 日常生活について	
	☆ ボランティアや就労についての考え方		
	☆ 働きたい業種は何か		
	問2-1 今後どのような仕事や活動に興味・関心があるか	問2-1 今後どのような仕事や活動に興味・関心があるか	
		問2-2 日常生活を送る上での情報をどこから得ているか	
	☆ 日常生活で援助を受けたい事柄があるか		
	問2-3 利用してみたいと思うサービスはあるか(選択制)	問2-3 利用してみたいと思うサービスはあるか(選択制)	
項目	3. 今後の暮らし方について	3. 今後の暮らし方について	
	問3 認知症や寝たきりの状態など、介護が必要になった場合、どこで暮らしたいか	問3 認知症や寝たきりの状態など、介護が必要になった場合、どこで暮らしたいか	
項目	4. 健康・医療とのかかわりについて	4. 健康・医療とのかかわりについて	
	問4 かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師がいるか	問4 かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師がいるか	
項目	5. 地域包括支援センターについて	5. 地域包括支援センターについて	
	問5-1 地域包括支援センターの認知度	問5-1 地域包括支援センターの認知度	
	問5-2 期待、求めるもの	問5-2 期待、求めるもの	
項目	6. 介護保険について	6. 介護保険について	
		問6-1 介護保険料の負担感	適切に介護サービス量を見込むため
	問6-2 今後の介護保険料とサービスの考え方	問6-2 今後の介護保険料とサービスの考え方	
項目	7. 認知症や高齢者虐待、権利擁護などについて	7. 認知症や高齢者虐待、権利擁護などについて	
	問7-1 本人や家族が認知症かもしれないと感じたら、誰に相談するか	問7-1 本人や家族が認知症かもしれないと感じたら、誰に相談するか	
	問7-2 成年後見制度・日常生活自立支援事業の制度を知っているか	問7-2 成年後見制度・日常生活自立支援事業の制度を知っているか	
項目		8. 新型コロナウイルス感染症について	
		問8-1 新型コロナウイルス感染症流行前後で生活の変化	第5類移行のため
		問8-2 新型コロナウイルス感染症の流行後、新たに行っていること、工夫していることはあるか	第5類移行のため

全13問

全16問

新規追加設問及び修正設問内容

事由	※修正する場合 前回調査の設問番号	※修正する場合 修正内容	設問内容	設問項目	設問を新規追加・修正する理由
新規追加			日常生活で援助を受けたい事柄は次のうちどれですか。 (あてはまるものすべてに○)	1.調理 2.外出のときの移動 3.買物 4.入浴 5.ゴミ出し 6.通院同行、予約 7.郵便物を読むことや書くこと 8.預貯金の出し入れ 9.支払いや書類提出などの手続き 10.携帯電話の操作方法 11.その他() 12.援助を受けたい事柄はない	住民参画事業の活動に繋げるため
新規追加			ボランティアや就労について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。	1.ボランティア(無償)がしたい 2.ボランティア(有償)がしたい 3.アルバイト(単発)がしたい 4.短期アルバイト(数日から数か月)がしたい 5.長期アルバイト(半年以上)がしたい 6.正規職員で働きたい 7.ボランティア意欲はない 8.就労意欲はない	アクティブシニアの就労意欲を把握し、就労的支援コーディネーターの配置を検討するため
新規追加			働きたい業種は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)	1.販売・接客 2.飲食・フード 3.軽作業・物流 4.清掃・警備 5.事務 6.会計・経営 7.教育・保育 8.介護・医療 9.イベント・企画 10.IT・Web、デザイン 11.その他()	アクティブシニアが関心のある業種を把握することで、就労的支援コーディネーターの活動内容について検討するため
修正	問2-1	活動の選択肢を追加	今後、どのような仕事や活動に興味・関心がありますか。 (あてはまるものすべてに○)	11.子どもの見守り 12.子どもの学習支援 13.高齢者の見守り 14.高齢者の生活支援 15.趣味の活動 16.スポーツ活動 17.地域活動(自治会・老人クラブ) 18.学習や教養を高める活動 19.学び・キャリア支援(パソコン教室等) 20.その他()	住民参画事業の活動に繋げるため
修正	問2	設問内容の修正	豊中市の市政情報をどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)	1.広報とよなか 2.市ホームページ 3.LINE 4.You Tube 5.X(旧Twitter) 6.Instagram 7.Facebook 8.その他()	事業内容の普及、啓発活動に活かすため
修正	問6-2	選択肢の修正	介護保険制度における今後のサービスと保険料のあり方について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。	1.介護サービスの量や回数は現状の程度とし、保険料は利用者の増加に応じた最小限度の増額にとどめるのがよい 2.介護保険以外の有料サービスの利用を勧めるなど、介護給付費の抑制を図り、保険料は現状程度にとどめるのがよい 3.その他()	介護サービス供給量については、需要量を満たしているため、以下の選択肢を削除 「介護サービスの内容が充実し、量や回数も十分に確保されるなら、保険料はもっと高くてもよい」

第9期計画 在宅認定者調査 設問(案)新旧対照表

※●は国の必須項目

	新	旧	削除する理由
在宅介護実態調査設問(必須項目)			
1. 本人や家族の生活状況	1. 本人や家族の生活状況	1. 本人や家族の生活状況	
問1 記入者の属性	問1 記入者の属性	問1 記入者の属性	
問2 世帯構成	問2 世帯構成	問2 世帯構成	
問3 日中の起居の状況	問3 日中の起居の状況	問3 日中の起居の状況	
付問 日中に起居となる時間帯	付問 日中に起居となる時間帯	付問 日中に起居となる時間帯	
問4 夜間の起居の状況	問4 夜間の起居の状況	問4 夜間の起居の状況	
問5 1日のうちで誰とも話をしないことがあるか	問5 1日のうちで誰とも話をしないことがあるか	問5 1日のうちで誰とも話をしないことがあるか	
付問 それが誰に何があるか	付問 それが誰に何があるか	付問 それが誰に何があるか	
問6 自分で移動・外出できる範囲	問6 自分で移動・外出できる範囲	問6 自分で移動・外出できる範囲	
問7 人(家族)との関わりについて	問7 人(家族)との関わりについて	問7 人(家族)との関わりについて	
問8 緊急時の対応者(かけつける)	問8 緊急時の対応者(かけつける)	問8 緊急時の対応者(かけつける)	
問9 緊急時の連絡先	問9 緊急時の連絡先	問9 緊急時の連絡先	
問10 住まいの形態	問10 住まいの形態	問10 住まいの形態	
問11 住環境での困りごと	問11 住環境での困りごと	問11 住環境での困りごと	
● 問12 施設等への入所・入居検討状況	問12 施設等への入所・入居検討状況	問12 施設等への入所・入居検討状況	前回、前々回で傾向が同じであるため
①特養の入所申込状況	①特養の入所申込状況	①特養の入所申込状況	
②(申込みしている方)入所の緊急度	②(申込みしている方)入所の緊急度	②(申込みしている方)入所の緊急度	
問13 経済的に暮らす状況	問13 経済的に暮らす状況	問13 経済的に暮らす状況	
問14 災害の備え、避難行動などについて	問14 災害の備え、避難行動などについて	問14 災害の備え、避難行動などについて	防災アンケートに同じ設問があるため
2. 生きがいや悩みについて	2. 生きがいや悩みについて	2. 生きがいや悩みについて	
問15 充実感をもって生活しているか	問15 充実感をもって生活しているか	問15 充実感をもって生活しているか	他の設問と統合するため(問16と統合)
問16 生きがいを感じていることは何か	問16 生きがいを感じていることは何か	問16 生きがいを感じていることは何か	
問17 今後どのような仕事や活動に興味・関心があるか	問17 今後どのような仕事や活動に興味・関心があるか	問17 今後どのような仕事や活動に興味・関心があるか	健康とくらしの調査で確認するため
問18 家族以外の人との関わりについて	問18 家族以外の人との関わりについて	問18 家族以外の人との関わりについて	健康とくらしの調査で確認するため
問19 日常生活で不安や悩みを抱えているか	問19 日常生活で不安や悩みを抱えているか	問19 日常生活で不安や悩みを抱えているか	
問20 身近に相談できる人がいるか・相談窓口があるか	問20 身近に相談できる人がいるか・相談窓口があるか	問20 身近に相談できる人がいるか・相談窓口があるか	
3. 健康・医療とのかかわりについて	3. 健康・医療とのかかわりについて	3. 健康・医療とのかかわりについて	
● 問21 現在抱えている傷病	問21 現在抱えている傷病	問21 現在抱えている傷病	
問22 かかりつけ医の有無(医師・歯科医師・薬剤師)	問22 かかりつけ医の有無(医師・歯科医師・薬剤師)	問22 かかりつけ医の有無(医師・歯科医師・薬剤師)	前回、前々回で傾向が同じであるため
付問 かかりつけ医への通院期間	付問 かかりつけ医への通院期間	付問 かかりつけ医への通院期間	
● 問23 病(病)院に通院・往診の有無・頻度	問23 病(病)院に通院・往診の有無・頻度	問23 病(病)院に通院・往診の有無・頻度	前回、前々回で傾向が同じであるため
問24 訪問診療の利用有無	問24 訪問診療の利用有無	問24 訪問診療の利用有無	
問25 歯科に通院・往診の有無・頻度	問25 歯科に通院・往診の有無・頻度	問25 歯科に通院・往診の有無・頻度	
問26 薬剤師の訪問の有無	問26 薬剤師の訪問の有無	問26 薬剤師の訪問の有無	
問27 医師の検診	問27 医師の検診	問27 医師の検診	前回、前々回で傾向が同じであるため
問28 影響性検査の認知	問28 影響性検査の認知	問28 影響性検査の認知	前回、前々回で傾向が同じであるため
問29 健康不安の相談相手	問29 健康不安の相談相手	問29 健康不安の相談相手	
● 問30 入院時に支援してくれる人はいるか	問30 入院時に支援してくれる人はいるか	問30 入院時に支援してくれる人はいるか	
問31 毎日飲んでいる薬の種類	問31 毎日飲んでいる薬の種類	問31 毎日飲んでいる薬の種類	
4. 介護保険サービスについて	4. 介護保険サービスについて	4. 介護保険サービスについて	
問32 介護認定を受けるきっかけ	問32 介護認定を受けるきっかけ	問32 介護認定を受けるきっかけ	
付問 介護認定を勧めた人	付問 介護認定を勧めた人	付問 介護認定を勧めた人	
問33 介護サービスの利用の有無	問33 介護サービスの利用の有無	問33 介護サービスの利用の有無	
付問 介護サービスを利用しない理由	付問 介護サービスを利用しない理由	付問 介護サービスを利用しない理由	
問34 (サービス利用中の方) 担当ケアマネの対応について	問34 (サービス利用中の方) 担当ケアマネの対応について	問34 (サービス利用中の方) 担当ケアマネの対応について	
付問 「やや不満」「不満」に○の方 不満内容	付問 「やや不満」「不満」に○の方 不満内容	付問 「やや不満」「不満」に○の方 不満内容	
問35 介護サービス利用による変化	問35 介護サービス利用による変化	問35 介護サービス利用による変化	整備済みのため
問36 地域密着型サービスの認知・利用状況・満足・利用意向	問36 地域密着型サービスの認知・利用状況・満足・利用意向	問36 地域密着型サービスの認知・利用状況・満足・利用意向	前回、前々回で傾向が同じであるため
問37 リハビリ専門職等による支援に対する興味	問37 リハビリ専門職等による支援に対する興味	問37 リハビリ専門職等による支援に対する興味	
5. 生活支援サービスについて	5. 生活支援サービスについて	5. 生活支援サービスについて	
● 問38 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況	問38 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況	問38 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況	
● 問39 在宅生活の継続が必要となる支援・サービス	問39 在宅生活の継続が必要となる支援・サービス	問39 在宅生活の継続が必要となる支援・サービス	
問40 高齢者福祉サービス利用と利用意向	問40 高齢者福祉サービス利用と利用意向	問40 高齢者福祉サービス利用と利用意向	
● 問41 ボランティアなどによるサービス利用の有無	問41 ボランティアなどによるサービス利用の有無	問41 ボランティアなどによるサービス利用の有無	健康とくらしの調査で確認するため
付問 ボランティアなどによるサービス利用の満足度	付問 ボランティアなどによるサービス利用の満足度	付問 ボランティアなどによるサービス利用の満足度	健康とくらしの調査で確認するため
6. 地域包括支援センターについて	6. 地域包括支援センターについて	6. 地域包括支援センターについて	
問42 地域包括支援センターの認知度	問42 地域包括支援センターの認知度	問42 地域包括支援センターの認知度	
付問 地域包括支援センターをどのように知ったか	付問 地域包括支援センターをどのように知ったか	付問 地域包括支援センターをどのように知ったか	
問43 利用(相談)の有無、今後の利用意向	問43 利用(相談)の有無、今後の利用意向	問43 利用(相談)の有無、今後の利用意向	
問44 相談したい内容	問44 相談したい内容	問44 相談したい内容	
問45 期待、求めるもの	問45 期待、求めるもの	問45 期待、求めるもの	
7. 保険料・利用料について	7. 保険料・利用料について	7. 保険料・利用料について	
問46 保険料の負担感	問46 保険料の負担感	問46 保険料の負担感	
問47 保険料とサービスの考え方	問47 保険料とサービスの考え方	問47 保険料とサービスの考え方	
問48 利用料の負担感	問48 利用料の負担感	問48 利用料の負担感	国の制度であるため
8. 今後の介護に対するご希望などについて	8. 今後の介護に対するご希望などについて	8. 今後の介護に対するご希望などについて	
問49 将来希望する生活の場(在宅・施設)	問49 将来希望する生活の場(在宅・施設)	問49 将来希望する生活の場(在宅・施設)	
付問 自宅以外のどこで介護を受けたいか	付問 自宅以外のどこで介護を受けたいか	付問 自宅以外のどこで介護を受けたいか	
付問 自宅以外を希望する場合の理由	付問 自宅以外を希望する場合の理由	付問 自宅以外を希望する場合の理由	
問50 終末期の療養生活の場	問50 終末期の療養生活の場	問50 終末期の療養生活の場	
● 問51 介護サービスを継続していくために必要な支援	問51 介護サービスを継続していくために必要な支援	問51 介護サービスを継続していくために必要な支援	前回、前々回で傾向が同じであるため
問52 アドバンス・ケア・プランニング(ACP、人生会議)の認知度	問52 アドバンス・ケア・プランニング(ACP、人生会議)の認知度	問52 アドバンス・ケア・プランニング(ACP、人生会議)の認知度	
9. 介護保険制度全般について	9. 介護保険制度全般について	9. 介護保険制度全般について	
問53 介護保険に関する情報の入手先	問53 介護保険に関する情報の入手先	問53 介護保険に関する情報の入手先	
問54 介護サービスに不満があった場合の相談先	問54 介護サービスに不満があった場合の相談先	問54 介護サービスに不満があった場合の相談先	前回、前々回で傾向が同じであるため
問55 苦情調整委員会の認知度	問55 苦情調整委員会の認知度	問55 苦情調整委員会の認知度	過去の傾向は変わらず、認知度を把握する必要がないため(調査対象と調査者)
問56 今後の介護保険・高齢者保健福祉に望むもの	問56 今後の介護保険・高齢者保健福祉に望むもの	問56 今後の介護保険・高齢者保健福祉に望むもの	
10. 主な介護者の状況について	10. 主な介護者の状況について	10. 主な介護者の状況について	
問57 介護を理由に仕事を辞めた家族・親族	問57 介護を理由に仕事を辞めた家族・親族	問57 介護を理由に仕事を辞めた家族・親族	
● 問58 家族・親族からの介護の頻度	問58 家族・親族からの介護の頻度	問58 家族・親族からの介護の頻度	
※問59～問73は主に介護をしている家族・親族への設問	※問59～問73は主に介護をしている家族・親族への設問	※問59～問73は主に介護をしている家族・親族への設問	
● 問59 主な介護者の続柄	問59 主な介護者の続柄	問59 主な介護者の続柄	
● 問60 主な介護者の性別・年齢	問60 主な介護者の性別・年齢	問60 主な介護者の性別・年齢	
問61 主な介護者との同居・別居の状況	問61 主な介護者との同居・別居の状況	問61 主な介護者との同居・別居の状況	
問62 主な介護者の健康状態	問62 主な介護者の健康状態	問62 主な介護者の健康状態	
● 問63 主な介護者が行っている介護の内容	問63 主な介護者が行っている介護の内容	問63 主な介護者が行っている介護の内容	
● 問64 現在の生活の継続に向けて主な介護者が不安を感じる介護の内容	問64 現在の生活の継続に向けて主な介護者が不安を感じる介護の内容	問64 現在の生活の継続に向けて主な介護者が不安を感じる介護の内容	
問65 介護保険料の負担感	問65 介護保険料の負担感	問65 介護保険料の負担感	適切に介護サービス量を見込むため
問66 介護保険料とサービスの考え方	問66 介護保険料とサービスの考え方	問66 介護保険料とサービスの考え方	
問67 利用料の負担感	問67 利用料の負担感	問67 利用料の負担感	
問68 介護保険利用による変化	問68 介護保険利用による変化	問68 介護保険利用による変化	国の制度であるため
問69 介護で困ったこと	問69 介護で困ったこと	問69 介護で困ったこと	
問70 介護で困ったときの相談相手	問70 介護で困ったときの相談相手	問70 介護で困ったときの相談相手	
問71 今後の介護の意向	問71 今後の介護の意向	問71 今後の介護の意向	前回、前々回で傾向が同じであるため
問72 充実を望む施策	問72 充実を望む施策	問72 充実を望む施策	
● 問73 主な介護者の現在の勤務形態	問73 主な介護者の現在の勤務形態	問73 主な介護者の現在の勤務形態	
※問74～76は主な介護者のうち現在働いている人への設問	※問74～76は主な介護者のうち現在働いている人への設問	※問74～76は主な介護者のうち現在働いている人への設問	
● 問74 主な介護者が介護をするにあたって必要な働き方の調整	問74 主な介護者が介護をするにあたって必要な働き方の調整	問74 主な介護者が介護をするにあたって必要な働き方の調整	
● 問75 主な介護者が仕事と介護を両立するために必要な働き方の支援	問75 主な介護者が仕事と介護を両立するために必要な働き方の支援	問75 主な介護者が仕事と介護を両立するために必要な働き方の支援	
● 問76 主な介護者の今後の勤務意向	問76 主な介護者の今後の勤務意向	問76 主な介護者の今後の勤務意向	
11. 高齢者虐待や認知症、成年後見制度等について	11. 高齢者虐待や認知症、成年後見制度等について	11. 高齢者虐待や認知症、成年後見制度等について	
問77 認知症についての理解	問77 認知症についての理解	問77 認知症についての理解	
問78 自分や家族が認知症になったら考えたことがあるか	問78 自分や家族が認知症になったら考えたことがあるか	問78 自分や家族が認知症になったら考えたことがあるか	
問79 認知症の疑いがある時の相談先	問79 認知症の疑いがある時の相談先	問79 認知症の疑いがある時の相談先	
問80 認知症の人が地域で暮らすしていくために必要だと思うもの	問80 認知症の人が地域で暮らすしていくために必要だと思うもの	問80 認知症の人が地域で暮らすしていくために必要だと思うもの	
問81 高齢者虐待問題の解決のために重要だと思うこと	問81 高齢者虐待問題の解決のために重要だと思うこと	問81 高齢者虐待問題の解決のために重要だと思うこと	地域福祉計画で同じ設問があるため
問82 権利を守るための仕組みの認知状況(成年後見制度等)	問82 権利を守るための仕組みの認知状況(成年後見制度等)	問82 権利を守るための仕組みの認知状況(成年後見制度等)	地域福祉計画で同じ設問があるため
問83 成年後見制度等の相談窓口の認知状況	問83 成年後見制度等の相談窓口の認知状況	問83 成年後見制度等の相談窓口の認知状況	
12. 新型コロナウイルス感染症について	12. 新型コロナウイルス感染症について	12. 新型コロナウイルス感染症について	
問84 新型コロナウイルス感染症流行前後で生活の変化	問84 新型コロナウイルス感染症流行前後で生活の変化	問84 新型コロナウイルス感染症流行前後で生活の変化	第5回移行のため
問85 新型コロナウイルス感染症流行以降、今後このようなサービスがあればよいと思うもの	問85 新型コロナウイルス感染症流行以降、今後このようなサービスがあればよいと思うもの	問85 新型コロナウイルス感染症流行以降、今後このようなサービスがあればよいと思うもの	第5回移行のため
問86 市に対する意見・要望	問86 市に対する意見・要望	問86 市に対する意見・要望	他の設問項目があるため

新規追加設問及び修正設問内容

事由	※修正する場合 第9期調査の設問番	※修正する場合 修正内容	設問内容	設問項目	設問を新規追加・修正する理由
新規追加		設問項目	入退院時に支援してくれる人はいますか。	1.家族 2.知人 3.後見人 4.その他 () 5.いない	身寄りのない、支援してくれる人のいない高齢者の把握のため
新規追加		設問項目	葬儀など死後の事務を行う人はいますか。	1.家族 2.知人 3.死後事務委任契約済 4.その他 () 5.いない	身寄りのない、支援してくれる人のいない高齢者の把握のため
修正	問40	設問内容	豊中市の高齢者福祉サービスについて、現在の利用状況と今後の利用意向をおたずねします。 (①～⑤のそれぞれのサービスについて、あてはまるものに○)	高齢者福祉サービス ①一定時間、人の動きがない場合、自動的に通報されるサービス ②緊急通報システム事業 ③電磁調理器の給付 ④紙おむつの支給 ⑤通院等の外出支援サービス	事業見直しのため、火災警報器等の給付と一人暮らし高齢者等の生活支援サービスの項目を削除
修正	問47	設問項目	介護保険制度における今後のサービスと保険料のあり方について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。	1.介護サービスの量や回数は現状の程度とし、保険料は利用者の増加に応じた最小限度の増額にとどめるのがよい 2.介護保険以外の有料サービスの利用を勧めるなど、介護給付費の抑制を図り、保険料は現状程度にとどめるのがよい 3.その他 ()	介護サービス供給量については、需要量を満たしているため、以下の選択肢を削除 「介護サービスの内容が充実し、量や回数も十分に確保されるなら、保険料はもっと高くてもよい」
修正	問50	設問項目	将来、病気が治る見込みがなく死期が迫っている（6か月あるいはそれより短い期間）と告げられた場合、あなたはどこで療養生活を望みますか。（○は1つ）	1. 在宅 2. 病院 3. 特別養護老人ホーム 4. 介護医療院 5. グループホーム 6. 有料老人ホーム 7. ケアハウス 8. サービス付き高齢者向け住宅 9. 公的な高齢者向け住宅（シルバーハウジング） 10. その他 ()	対象者が、終末期にどこで過ごしたいかを具体的に把握することで、施設整備の参考データとして活用するため。
修正	問79	設問項目	もし、あなたご自身やご家族に認知症がもしれないと感じたら、誰に相談しようと思っていますか。	1. かかりつけ医 2. 専門医 3. 家族 4. 友人 5. ケアマネジャー 6. 地域包括支援センター 7. 認知症初期集中支援チーム 8. 市役所 9. その他 ()	相談先として周知しているものを追加
修正	問80	設問項目	認知症の人が地域で安心して暮らしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。	1. 認知症の症状に関する正しい知識や理解を広めること 2. 当事者や家族の思いや希望が発信できる場があること 3. 認知症について学校教育の中で学ぶ機会があること 4. その他 ()	「新しい認知症観」の考え方に沿った設問を追加
修正	問81	設問項目	高齢者に対する虐待問題の解決のためには、次のどれが重要な役割を果たすと思いますか。（○は2つまで）	1. 介護を受ける高齢者自身の不安や不満を取り除く 2. 介護を受けている人が介護者に感想や気持ちを伝える 3. 家族の介護負担を軽減するような支援体制づくり 4. 家族の精神的な孤立を防ぐ支援（介護者家族の会など） 5. 身近な地域での相談窓口の紹介と充実 6. ショートステイ（短期入所）などの緊急避難のための福祉施設を確保する 7. 虐待防止のための人権意識の高揚を図る（啓発活動） 8. 地域における見守りなど、近隣とのネットワークづくり 9. 認知症の症状に関する正しい知識や理解 10. 介護者の介護に関する正しい知識や理解 11. その他 ()	近年の虐待案件において主たる介護者の介護に関する知識や理解が原因で虐待が発生している事例が多く設問項目に選択肢を追加

令和6年度(2024年度)介護保険施設等事業者候補選定委員会について

1. 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく地域密着型サービス等の公募

第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（計画年度：令和6年度～8年度）に基づき、2種類のサービスについて公募を行いました。

●公募の結果

公募区分	応募事業者数	指定予定事業者
地域密着型介護老人福祉施設を中心とした複合施設（1施設）		
・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 ・短期入所生活介護（介護予防含む） ・認知症対応型共同生活介護（介護予防含む）	—	—
有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅を対象とした特定施設（284床）		
・特定施設入居者生活介護（介護予防も可能）	株式会社 3法人	株式会社ベネッセスタイルケア（75床） 三井不動産レジデンシャルウェルネス株式会社（78床） 株式会社スーパー・コート（90床）

●選定委員会の開催

(1) 第1回選定委員会

- ①日時：令和6年(2024年)8月20日(火) 午後2時～午後4時
- ②場所：Zoomによるオンライン会議（豊中市役所 第二庁舎4階 第2会議室）
- ③主題：公募要項及び選定の進め方・審査要領及び選定基準について

(2) 第2回選定委員会

- ①日時：令和6年(2024年)11月21日(木) 午後3時～午後5時
- ②場所：地域共生センター西館 3階 会議室2
- ③主題：特定施設入居者生活介護事業者に係る書類審査

(3) 第3回選定委員会

- ①日時：令和7年(2025年)1月23日(木) 午後2時30分～午後4時30分
- ②場所：豊中市役所 第一庁舎2階 大会議室
- ③主題：応募者へのヒアリング審査及び候補事業者の選定

豊中市生活支援サービス部会について（概要）

令和7年7月25日（水）に令和7年度第1回豊中市生活支援サービス部会が開催されました。概要は以下のとおりです。

1. 令和6年度生活支援コーディネーター活動報告（実績と評価）について

（主な活動）

福祉便利屋事業 相談件数/実施件数（本部） 289件/204件 安心サポーター数 724名
ぐんぐん元気塾 延べ38校区で実施 延べ48,914名参加

（新規事業）

健康マージャン 8回開催、健康コーラス 8回開催

⇒地域活動が活性化するとともに新規参加者や活動希望者も増加傾向にあり、これまでの活動を維持していくとともに、引き続き実施内容の啓発を進めていく。また、社会情勢の変化に伴い、これまで提供されていたサービスが減少することも見込まれることから、地域のニーズ把握を進め、新たな社会資源の開発に努めていく。

2. 令和7年度生活支援コーディネーター活動計画（進捗状況）について

○第一層（市全域）での主な取組み

介護予防お助けバンクの登録者・校区福祉委員会の小地域福祉ネットワーク活動への調整、マンションサミット交流会の実施（予定）、豊中めぐりへの取組み、うたごえ広場・健康コーラス・健康マージャンの実施

○第二層での主な取組み

地域福祉ネットワーク会議の開催 実施予定（年2回）

○第三層での主な取組み

ぐんぐん元気塾、福祉便利屋事業

3. 生活支援体制整備事業の今後について

前年度の生活支援コーディネーターの取組み状況及び今年度の計画について事務局から報告し、審議の結果、了承されました。

豊中市の生活支援体制整備事業について、現状と今後の方針を中心に説明。

① 国の介護予防・日常生活支援総合事業の充実に向けた方針について

介護保険事業者中心の体制から、高齢者自身や地域住民、企業など多様な主体が参画する方向へと転換が進んでいる。また、地域共生社会の実現に向けて、地域の力を活かした支援体制の構築が重要である。

② 豊中市の生活支援体制整備事業の現状と課題

令和6年度生活支援体制整備事業実施計画における指標の達成度について、訪問型「福祉便利屋」では、校区数・対応件数などは目標を達成したが、担い手の登録者数は未達であった。これはコロナ禍に

よる活動停滞が主な要因である。一方、通所型「ぐんぐん元気塾」では、参加者数は順調に増加しているが、拠点確保が課題である。新しく開発した地域資源についても目標を上回る結果となっていた。

令和6年度 活動指標の達成度

上段:目標
下段:実績

指標の内容		令和6年度 (2024年度)	達成/未達
住民主体ささえあい活動 福祉便利屋事業(訪問型)	校区数(校区)	20 27	達成
	コーディネーター配置校区数 (校区)	18 19	達成
	対応件数(件)	250 285	達成
	担い手の登録者(人)	800 251	未達
住民主体ささえあい活動 ぐんぐん元気塾(通所型)	校区数(校区)	39 36	未達
	延べ参加者数(人)	40,000 48,914	達成
新しく開発した地域資源	種類(種類)	1 4	達成
	年間延べ活動回数(回)	36 74	達成

福祉便利屋、ぐんぐん元気塾それぞれについて現場で上がる問題点と市が認識する課題を列举し、共通する課題として、「地域の人材確保」、「課題整理」、「現状把握とネットワークの構築」を挙げた。課題整理において、事業に参加するきっかけや、他の地域活動へつながったかなどを把握していなかったため、事業の担い手や参加者に、試行的に聞取りを実施したものを参考に示した。

③ 豊中市の生活支援体制整備事業の今後の方針

共通する課題について、第10期計画にむけた今後の方針について説明を行った。現状把握とネットワークの構築については試行的に実施したアンケート調査を全校区へ行き、高齢者の社会参加・つながりを把握すること、地域ささえあい推進協議体の第2層で抽出された課題を第1層の協議体で議論、報告する等各層の連携をより強化していくことなどを挙げた。また、第10期計画に向けて「住民参画・官民連携推進事業(地域課題の洗い出しと解決策の検討を多様な主体で行う)」及び、「就労的活動支援コーディネーターの配置事業(高齢者の希望に合った活動をコーディネートし、社会参加を促進する)」の新事業を検討していることを報告。本議題は、問題提起的な意味合いが強く、生活支援体制整備事業について現時点で考えている大まかな方針を提示し、部会で審議し、広く意見をもらい、今後の方針に組み込むことを目指した。住民主体ささえあい活動においても、これまで行ってこなかったアンケート調査を全校区へ広げ、結果を今後の計画へと反映させていく予定である。アンケート調査の結果見えてきた課題や、現状で把握・認識している課題を整理した上で令和7年、令和8年の部会の中で議論し、生活支援体制整備事業に取り組む。

令和6年度第3回・令和7年度第1回 地域包括支援センター運営協議会 概要報告

○令和6年度第3回（2月18日開催）標記会議の主な内容は以下のとおりです。

- 1) 令和6年度の地域包括支援センターの外部評価について
 - ・各地域包括支援センターの外部評価（特徴的な取組内容およびさらなる質の向上の余地がある点など）の報告を行い、審議の結果、承認されました。

○令和7年度第1回（6月10日開催）標記会議の主な内容は以下のとおりです。

- 1) 令和6年度地域包括支援センター事業報告及び令和7年度地域包括支援センター事業計画について
 - ・令和6年度地域包括支援センターの収支報告、令和6年度地域包括支援センターの運営状況などの報告を行い、承認されました。
 - ・令和7年度地域包括支援センター事業計画（課題および活動方針など）についての報告を行い、審議の結果、承認されました。
- 2) 令和6年度認知症初期集中支援チーム事業報告及び令和7年度認知症初期集中支援チーム事業計画について
 - ・令和6年度認知症初期集中支援チーム事業（認知症初期集中支援チームの運営状況など）の報告を行い、承認されました。
 - ・令和7年度認知症初期集中支援チーム事業計画（課題および目標など）についての報告を行い、審議の結果、承認されました。
- 3) 令和7年度地域包括支援センター評価のてびきについて
 - ・令和7年度の評価項目の内容の追加ほか軽微な字句の変更等の報告を行い、審議の結果、承認されました。
- 4) 豊中市地域包括支援センター運営基本方針について
 - ・軽微な字句の変更の報告を行い、審議の結果、承認されました。

【問2】 食事・飲酒・喫煙状況に関することについておうかがいします。

- 1) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。 —————
- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|
- 2) お茶や汁物などでむせることがありますか。 —————
- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|
- 3) 口の渇きが気になりますか。 —————
- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|
- 4) ここ1か月の間に、あなたは、**肉や魚**をどのくらいの頻度で食べていますか。
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|
| 1. 毎日2回以上 | 2. 毎日1回 | 3. 週4～6回 | 4. 週2～3回 |
| 5. 週1回 | 6. 週1回未満 | 7. 食べなかった | |
- 5) ここ1か月の間に、あなたは、**野菜や果物**をどのくらいの頻度で食べていますか。
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|
| 1. 毎日2回以上 | 2. 毎日1回 | 3. 週4～6回 | 4. 週2～3回 |
| 5. 週1回 | 6. 週1回未満 | 7. 食べなかった | |
- 6) お酒を飲みますか。
- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 現在飲んでいる | 2. 5年以内にやめて今は飲んでいない |
| 3. 5年以上前にやめて今は飲んでいない | 4. もともと飲まない |
- 7) タバコは吸いますか（加熱式タバコ、電子タバコ等を含みます）。
- | | | | |
|----------------------|-------------|---------------------|--|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている | 3. 5年以内にやめて今は吸っていない | |
| 4. 5年以上前にやめて今は吸っていない | 5. もともと吸わない | | |
- 8) どなたかと一緒に食事をする機会がありますか。
- | | | | | |
|---------|------------|------------|------------|-----------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある | 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない |
|---------|------------|------------|------------|-----------|

【問3】 あなたの普段の外出や日常の行動についておうかがいします。

- 1) あなたが外出する頻度はどのくらいですか（畑や隣近所へ行く、買い物、通院などを含みます）。
- | | | | | | | |
|-----------|--------|----------|--------|----------|---------|----------|
| 1. 週に5回以上 | 2. 週4回 | 3. 週2～3回 | 4. 週1回 | 5. 月1～3回 | 6. 年に数回 | 7. していない |
|-----------|--------|----------|--------|----------|---------|----------|
- 2) 昨年と比べて外出の回数は減っていますか。
- | | | | |
|-------------|----------|--------------|-----------|
| 1. とても減っている | 2. 減っている | 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |
|-------------|----------|--------------|-----------|
- 3) あなたが外出する時に利用している交通手段すべてに○をつけてください。
- | | | | | |
|----------------|----------|--------------|-----------------------|------------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク | 4. 自動車（自分で運転） | 5. 自動車（人に乗せてもらう） |
| 6. 電車 | 7. 路線バス | 8. 病院や施設のバス | 9. 車いす | 10. 電動車いす（カート） |
| 11. 歩行器・シルバーカー | 12. タクシー | 13. コミュニティバス | 14. その他（ ） | |
- 4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。
- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|
- 5) 転倒に対する不安は大きいですか。
- | | | | |
|-------------|------------|-------------|----------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である | 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |
|-------------|------------|-------------|----------|
- 6) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。
- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

7) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

8) 平均すると1日の合計で何分くらい歩きますか。

1. 30分未満 2. 30～59分 3. 60～89分 4. 90分以上

【問4】日常生活についておうかがいします。

1) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
2) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
3) 自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
4) 自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
5) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
6) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。	1. はい 2. いいえ
7) 新聞を読んでいますか。	1. はい 2. いいえ
8) 本や雑誌を読んでいますか。	1. はい 2. いいえ
9) 健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい 2. いいえ
10) 友達の家を訪ねることがありますか。	1. はい 2. いいえ
11) 家族や友だちの相談にのることがありますか。	1. はい 2. いいえ
12) 病人を見舞うことができますか。	1. はい 2. いいえ
13) 若い人に自分から話しかけることがありますか。	1. はい 2. いいえ
14) 15分位続けて歩いていますか。	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
15) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」など物忘れがあるといわれますか。	1. はい 2. いいえ
16) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。	1. はい 2. いいえ
17) 今日が何月何日かわからない時がありますか。	1. はい 2. いいえ
18) 物忘れが多いと感じますか。	1. はい 2. いいえ
19) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。	1. はい 2. いいえ
20) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。	1. はい 2. いいえ

【問5】参加している会やグループ、仕事についておうかがいします。

1) あなたは下記のような会・グループにどのくらいの頻度で参加していますか。

(1) ボランティアのグループ

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

(2) スポーツ関係のグループやクラブ

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

(3) 趣味関係のグループ

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

(4) 老人クラブ

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

(5) 町内会・自治会

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

(6) 学習・教養サークル

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

(7) 健康体操やサロンなどの介護予防のための通いの場

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

(8) 特技や経験を他者に伝える活動

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

(9) 収入のある仕事

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない

2) 上記の「収入のある仕事」を除く(1)～(8)のすべてのグループや活動に参加していない人におうかがいします。参加していない理由は何ですか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

1. 興味のあるグループや活動がない 2. グループや活動の情報が手に入らない 3. 会場が遠い
4. 知り合いが参加していない 5. 健康上の理由で参加に制限がある 6. 参加費が高い 7. その他

3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に**企画・運営(お世話役)**として参加したいと思いませんか。

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. すでに参加している

4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に**参加者**として参加したいと思いませんか。

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. すでに参加している

【問6】あなたの友人関係についておうかがいします。

1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 会っていない

2) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えてください。

1. 0人 (いない) 2. 1～2人 3. 3～5人 4. 6～9人 5. 10人以上

3) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚
5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティアなどの活動での友人 7. その他 8. いない

【問7】あなたとまわりの人の「たすけあい」と「笑い」についておうかがいします。

1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいますか(あてはまるすべてに○)。

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない

2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はいますか(あてはまるすべてに○)。

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない

3) あなたが病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいますか(あてはまるすべてに○)。

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない

4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか(あてはまるすべてに○)。

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない

5) 普段の生活で、声を出して笑う機会はどのくらいありますか。

1. ほぼ毎日 2. 週に1～5回程度 3. 月に1～3回程度 4. ほとんどない

6) どんなときによく笑いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. よく笑うことはない 2. 友人と話をしているとき 3. 夫婦やパートナーと話をしているとき
4. 子供や孫と接しているとき 5. 職場の上司や部下、同僚と話をしているとき
6. テレビやビデオをみているとき 7. インターネット(ユーチューブなど)で動画をみているとき
8. ラジオを聞いているとき 9. 落語や芝居等を観に行ったとき 10. その他

【問8】あなたの住んでいる地域についておうかがいします。

1) あなたの地域の人々は、一般的に信用できると思いますか。

1. とても信用できる 2. まあ信用できる 3. どちらともいえない
4. あまり信用できない 5. 全く信用できない

2) あなたの地域の人々は、多くの場合、他の人の役に立とうと思いませんか。

1. とてもそう思う 2. まあそう思う 3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない 5. 全くそう思わない

3) あなたは現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか。

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| 1. とても愛着がある | 2. まあ愛着がある | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり愛着がない | 5. 全く愛着がない | |

4) あなたは、地域内のご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。

- | |
|--|
| 1. たがいに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている人もいる |
| 2. 日常的に立ち話をする程度のつきあいは、している |
| 3. あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない |
| 4. つきあいは全くしていない |

【問9】 次の問いを読んで、あてはまるものに○をつけてください。

1) 今の生活に満足していますか。	1. はい 2. いいえ
2) 生きていても仕方がないという気持ちになることがありますか。	1. はい 2. いいえ
3) 毎日の活動力や世間に対する関心がなくなってきたように思いますか。	1. はい 2. いいえ
4) 生きているのがむなしいように感じますか。	1. はい 2. いいえ
5) 退屈に思うことがよくありますか。	1. はい 2. いいえ
6) 普段は気分がよいですか。	1. はい 2. いいえ
7) なにか悪いことがおこりそうな気がしますか。	1. はい 2. いいえ
8) 自分は幸せなほうだと思いますか。	1. はい 2. いいえ
9) どうしようもないと思うことがよくありますか。	1. はい 2. いいえ
10) 外に出かけるよりも家にいることのほうが好きですか。	1. はい 2. いいえ
11) ほかに人より物忘れが多いと思いますか。	1. はい 2. いいえ
12) こうして生きていることは素晴らしいと思いますか。	1. はい 2. いいえ
13) 自分は活力が満ちていると感じますか。	1. はい 2. いいえ
14) こんな暮らしでは希望がないと思いますか。	1. はい 2. いいえ
15) ほかに人は、自分より裕福だと思いますか。	1. はい 2. いいえ
16) (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない。	1. はい 2. いいえ
17) (ここ2週間) これまで楽しんでやれたことが楽しめなくなった。	1. はい 2. いいえ
18) (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる。	1. はい 2. いいえ
19) (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だとは思えない。	1. はい 2. いいえ
20) (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする。	1. はい 2. いいえ
21) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい 2. いいえ
22) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい 2. いいえ

4) 3) で答えた世帯全体の合計収入額（年金を含みます）は、昨年の1年間で、次のうちどれにあてはまりますか（税引き前で）。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|---------------------|-----------------|
| 1. 50万円未満 | 2. 50～100万円未満 | 3. 100～150万円未満 |
| 4. 150～200万円未満 | 5. 200～250万円未満 | 6. 250～300万円未満 |
| 7. 300～400万円未満 | 8. 400～500万円未満 | 9. 500～600万円未満 |
| 10. 600～700万円未満 | 11. 700～800万円未満 | 12. 800～900万円未満 |
| 13. 900～1,000万円未満 | 14. 1,000～1,200万円未満 | 15. 1,200万円以上 |

5) 3) で答えた世帯全体の資産についてお聞きします。貯金、不動産（家、土地、マンション等）、株、ゴルフ会員権等、全ての資産の合計額であてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------------|--------------------|----------------|
| 1. 50万円未満 | 2. 50～100万円未満 | 3. 100～500万円未満 |
| 4. 500～1,000万円未満 | 5. 1,000～5,000万円未満 | 6. 5,000万円以上 |

6) あなたが住んでいる住宅の種類はどれですか。

- | | | | | |
|-------------|-----------------|-----------------|----------------|--------|
| 1. 持家(一戸建て) | 2. 持家(集合住宅) | 3. 旧公団(UＲ)分譲住宅 | 4. 旧公団(UＲ)賃貸住宅 | |
| 5. 公営賃貸住宅 | 6. 民間賃貸住宅(一戸建て) | 7. 民間賃貸住宅(集合住宅) | 8. 借家 | 9. その他 |

7) あなたの年金についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|------------------------|-------------------|---------|---------|
| 1. 国民年金 | 2. 厚生年金 | 3. 共済年金 | 4. 企業年金 |
| 5. 個人年金(民間生命保険会社などの年金) | 6. 1～5はどれも受給していない | | |

8) あなたは現在、生活保護を受給していますか。

- | | | |
|------------------|-------------|-------------|
| 1. これまで受給したことがない | 2. 現在受給している | 3. 現在申請している |
| 4. 受給していたが、やめた | | |

9) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

- | | | | | |
|----------|----------|--------|-------------|-------------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう | 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある |
|----------|----------|--------|-------------|-------------|

【問13】 現在・過去の就労についておうかがいします。

1) 現在のあなたの就労状態はどれですか（あてはまるすべてに○）。 *非常勤：パート・アルバイト等

- | | | | | |
|---------------|---------|-------|--------|--------|
| 1. 職に就いたことがない | 2. 引退した | 3. 常勤 | 4. 非常勤 | 5. 自営業 |
| 6. 求職中 | 7. その他 | | | |

あなたは、いつ引退しましたか。

1. 昭和	2. 平成	3. 令和	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月
-------	-------	-------	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	---

2) あなたのこれまでの仕事の中で、最も長くつとめた職種はなんですか。

- | | | | | |
|-----------|----------------|--------------|----------------|-----------|
| 1. 専門・技術職 | 2. 管理職 | 3. 事務職 | 4. 販売・サービス業 | 5. 技能・労務職 |
| 6. 酪農・畜産業 | 7. 稲作や他の農作物生産 | 8. 畜産と農作物を兼業 | 9. 林業 | |
| 10. 漁業 | 11. 農林漁業以外の自営職 | 12. その他 | 13. 職に就いたことがない | |

2) あなたは補聴器を使っていますか。使っている場合は補聴器を付けている時間はどのくらいですか。

1. ほとんど終日 2. 半日程度 3. 2～3時間 4. 必要なときのみ 5. 使っていない

3) あなたの耳の聞こえる状態（補聴器を使用しない状態）について、以下の中からもっともあてはまるものをお選びください。

1. 日常生活に支障なく聞こえる
 2. 日常生活で小さな声が聞き取れなかったり、聞き間違いをすることがある
 3. 日常生活で普通の大きさの音が聞こえなかったり、間違えたりする
 4. 耳もとで大きな声を出して貰わないと聞きとれない
 5. 耳もとで大きな声を出して貰ってもほとんど聞こえない 6. わからない

4) あなたは目がよく見えますか。メガネやコンタクトレンズを使用している人は、使っている状態を教えてください。

1. とてもよく見える 2. よく見える 3. 見える 4. あまり見えない 5. 見えない

5) あなたはメガネやコンタクトレンズを使っていますか。

1. はい 2. いいえ

6) これまでに白内障の手術を受けた経験がありますか。

1. はい 2. いいえ

【問 17】 あなたの生活の満足度や心身の状態についておうかがいします。

1)～11)の質問を読んで、それぞれ0～10の段階で最もあてはまるもの1つに○をつけてください。一番右の10が最も理想的な良い状態で、一番左の0が最も悪い状態とお考えください。

1) 最近の生活全般について、あなたはどの程度満足していますか。												
全く満足していない	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	大変満足
2) あなたの身体的な健康状態を、0 (非常に悪い) から 10 (非常に良い) の点数で評価すると何点ですか。												
非常に悪い	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	非常に良い
3) あなたの精神的な健康状態を、0 (非常に悪い) から 10 (非常に良い) の点数で評価すると何点ですか。												
非常に悪い	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	非常に良い
4) 全体的に見て、あなたは人生で行うことがどの程度価値のあることだと感じていますか。												
全く価値がない	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	価値がある
5) 毎月の生活費が足りるかどうか、どれくらいの頻度で心配しますか。												
いつも心配である	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	全く心配ない
6) 自分の食事や住む場所、生活の安全などをどれくらいの頻度で不安に思いますか。												
いつも不安である	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	全く不安ない
7) 私は自分の人生の目的を理解している。												
全くあてはまらない	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	よくあてはまる
8) 私は満足できる、望ましい人間関係を築けていると思う。												
全くあてはまらない	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	よくあてはまる
9) 私は友情や人間関係に満足している。												
全くあてはまらない	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	よくあてはまる
10) どんなに困難な状況でも、私は常に社会や他者のために良いことをしようと努めている。												
全くあてはまらない	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	よくあてはまる
11) 私は、将来の大きな幸せのために、今の小さな幸せを諦めることができる。												
全くあてはまらない	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	よくあてはまる

【問 14】 インターネットやメール（パソコン、携帯電話など）についておうかがいします。

1) あなたは過去 1 年間に、インターネットやメールをどのくらいの頻度で使いましたか。

1. 使わなかった 2. 月に数回 3. 週に 2～3 回 4. ほぼ毎日

↓
【問 15】 へ

↓
過去 1 年間にインターネットを利用した方へ

2) あなたがインターネットを利用した目的は何ですか。あてはまるすべてに○をつけてください。

1. 健康や医療に関する情報収集・検索 2. 健康や医療以外の情報収集・検索
3. 地図や交通情報案内 4. ソーシャルメディア（フェイスブック、ツイッターなど）
5. 家族・友人や知人等とのコミュニケーション（メール、ライン、ズーム、テレビ電話など）
6. 商品やサービスの購入・取引 7. 自治体の電子サービス（電子申請、届出など）
8. 銀行取引や株、証券などの取引 9. 娯楽（動画、電子書籍、音楽、ゲームなど） 10. その他

【問 15】 趣味・おけいこ事についておうかがいします。

1) 趣味はありますか。

1. はい 2. いいえ → **【問 16】 へ**

2) あなたが行っている趣味は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. グラウンドゴルフ 2. ゴルフ 3. 散歩・ジョギング 4. ジム・フィットネス
5. 体操・太極拳 6. 舞踊・ダンス 7. 登山 8. 卓球 9. テニス 10. その他の運動
11. 園芸・庭いじり 12. 農作物の栽培 13. 釣り 14. 旅行 15. 読書 16. カラオケ
17. 映画・舞台鑑賞 18. 音楽鑑賞 19. 書道 20. 茶道・華道 21. 写真撮影
22. 絵画・絵手紙 23. 手工芸 24. パチンコ 25. 囲碁・将棋・麻雀
26. インターネット 27. ゲーム（テレビ・スマホ・パソコン） 28. その他の趣味

【問 16】 あなたの家から徒歩圏内（約 1 キロ以内）に、次のような場所はどのくらいありますか。

1) 坂や段差など、歩くのが大変なところ

1. たくさんある 2. ある程度ある 3. あまりない 4. まったくない 5. わからない

2) 運動や散歩に適した公園や歩道

1. たくさんある 2. ある程度ある 3. あまりない 4. まったくない 5. わからない

3) 生鮮食料品（肉、魚、野菜、果物など）が手に入る商店・施設・移動販売

1. たくさんある 2. ある程度ある 3. あまりない 4. まったくない 5. わからない

【問 17】 以下のそれぞれについてお聞かせください。

1) ふだんあなたはどのような方法で、生鮮食料品を入手していますか（あてはまるすべてに○）。

1. 自分で出かけて買い物 2. 家族等の送迎で買い物 3. 送迎サービスを利用し買い物
4. 家族等に頼む 5. 買い物代行サービス（家政婦等含む）を利用 6. 宅配サービスを利用

2) あなたに何か困りごとがあったときに相談できる人や窓口はありますか（あてはまるすべてに○）。

1. 同居家族 2. 別居の子ども 3. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
4. 近隣・友人 5. 自治会・町内会・老人クラブ 6. 社会福祉協議会・民生委員
7. ケアマネジャー 8. 医師・歯科医師・看護師 9. 地域包括支援センター・役所・役場
10. その他 11. そのような人はいない

3) この1年間に起こったことについておうかがいします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|----------------|---------------------|
| 1. 仕事をはじめた | 2. 仕事をやめた | 3. 子どもと同居を始めた |
| 4. 一人暮らしを始めた | 5. 経済的な余裕ができた | 6. 経済的な困難が増した |
| 7. 孫・ひ孫が生まれた | 8. 配偶者が亡くなった | 9. 家族や親しい親類・友人が他界した |
| 10. 新しい友人ができた | 11. 大きな病気にかかった | 12. 家族の介護を始めた |
| 13. 引っ越しをした | 14. その他 | 15. とくに変化はなかった |

4) あなたが15歳当時の生活程度は、世間一般からみて、次のどれに入りますか。

- | | | | | |
|----------|----------|--------|-------------|-------------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう | 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある |
|----------|----------|--------|-------------|-------------|

5) 自分には仲間付き合いが欠けていると感じることがどのくらいありますか。

- | | | |
|-----------|---------|---------|
| 1. ほとんどない | 2. 時々ある | 3. 常にある |
|-----------|---------|---------|

6) 自分は取り残されていると感じることがどのくらいありますか。

- | | | |
|-----------|---------|---------|
| 1. ほとんどない | 2. 時々ある | 3. 常にある |
|-----------|---------|---------|

7) 自分は他の人達から孤立していると感じることがどのくらいありますか。

- | | | |
|-----------|---------|---------|
| 1. ほとんどない | 2. 時々ある | 3. 常にある |
|-----------|---------|---------|

8) 別居の家族や親戚との交流について、あなたは下記の機会がどのくらいの頻度でありますか。

(1) 直接会って話をする機会

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------------|----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週2、3回 | 3. 週1回程度 | 4. 月1、2回 |
| 5. 年に数回 | 6. ほとんどない | 7. 別居の家族や親戚はいない | |

(2) ビデオ通話（相手の顔が見えるもの）で連絡をとりあう機会

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------------|----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週2、3回 | 3. 週1回程度 | 4. 月1、2回 |
| 5. 年に数回 | 6. ほとんどない | 7. 別居の家族や親戚はいない | |

(3) 手紙や電話、メール等（相手の顔が見えないもの）で連絡をとりあう機会

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------------|----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週2、3回 | 3. 週1回程度 | 4. 月1、2回 |
| 5. 年に数回 | 6. ほとんどない | 7. 別居の家族や親戚はいない | |

9) 友人や知人との交流について、あなたは下記の機会がどのくらいの頻度でありますか。

(1) 直接会って話をする機会

- | | | | |
|-----------|-----------|----------|----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週2、3回 | 3. 週1回程度 | 4. 月1、2回 |
| 5. 年に数回 | 6. ほとんどない | | |

(2) ビデオ通話（相手の顔が見えるもの）で連絡をとりあう機会

- | | | | |
|-----------|-----------|----------|----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週2、3回 | 3. 週1回程度 | 4. 月1、2回 |
| 5. 年に数回 | 6. ほとんどない | | |

(3) 手紙や電話、メール等（相手の顔が見えないもの）で連絡をとりあう機会

- | | | | |
|-----------|-----------|----------|----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週2、3回 | 3. 週1回程度 | 4. 月1、2回 |
| 5. 年に数回 | 6. ほとんどない | | |

【問 18】あなたが住んでいる地域や地域の交流などについておうかがいします。

1) あなたは地域の人々から大切にされ、地域の一員となっていると感じますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

2) あなたは自治会・町内会やその他の場で、地域のものごとの決定に参加していると思いますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

3) 日常生活や健康のために必要なことは、行政や民間のサービスで概ね提供されていると思いますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

4) 孫や家族以外に小学生を目にしたたり、声を聞いたりする機会がありますか。

1. ほとんど毎日 2. 週2～3回 3. 週1回程度 4. 月1、2回
5. 年に数回 6. ほとんどない

4) で1～5. と答えた方へ

その際、挨拶したり話しかけたりなど交流しますか。

1. はい 2. いいえ

5) お住まいの地域には、次のような場所はどのくらいありますか。

(1) 歩行が困難な方や目・耳の不自由な方でも、利用に支障がない公共施設

1. たくさんある 2. ある程度ある 3. あまりない 4. まったくない 5. わからない

(2) 歩行が困難な方や目・耳の不自由な方でも、利用に支障がない電車やバスの車両

1. たくさんある 2. ある程度ある 3. あまりない 4. まったくない 5. わからない

6) 家から徒歩圏内（10～15分以内で歩ける範囲）に、次のような場所はどのくらいありますか。

(1) 車いす・杖・歩行器などを利用される方でも、歩行に支障のない通り（道路）

1. たくさんある 2. ある程度ある 3. あまりない 4. まったくない 5. わからない

(2) 電車・地下鉄などの駅やバス停

1. たくさんある 2. ある程度ある 3. あまりない 4. まったくない 5. わからない

(3) 手頃な価格の住まい

1. たくさんある 2. ある程度ある 3. あまりない 4. まったくない 5. わからない

【問 19】あなたご自身のお気持ちや行動について、最も近いものをお選びください。

1) 悩みがあるときやストレスを感じたときに、誰かに相談したり助けを求めたりすることは恥ずかしいことだと思いますか。

1. そう思う 2. どちらかというそう思う 3. どちらかというそうは思わない
4. そうは思わない 5. わからない

2) 困っている時に誰かが手伝いを申し出てくれたら、願います。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない
4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない

3) 他人の支援はありがたく受け入れる方だ。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない
4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない

【問 20】認知症についておうかがいします。

1) 自分が認知症になったら、周りの人に助けてもらいながら自宅での生活を続けたいと思いますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

2) 認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思いますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

3) 認知症の人の大声や暴力、歩き回るなどの行動は、必要なことが満たされない時に起きると思いますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

4) 認知症の人が、記憶力が低下し判断することができなくなっても、日々の生活についてできるだけ本人が決める方が良いと思いますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

5) 家族が認知症になったら、協力を得るために近所の人や知人などにも知っておいてほしいと思いますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

6) あなたは、今までにオレンジリングがもらえる認知症サポーター養成講座（一般の講座）やキャラバン・メイト（先生役の養成）を受けたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。参加回数もお答えください。

1. 受けていない 2. サポーター()回 3. キャラバン・メイト()回

7) 「認知症カフェ」についておうかがいします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 知らない 2. 知っているが行ったことはない 3. 行ったことがある 4. 運営に参加している

【問 21】 以下のそれぞれについてお聞かせください。

1) あなたは過去1年間に自分のために救急車を呼んだり、誰かに呼んでもらったことがありますか。

1. 1回 2. 2回 3. 3回 4. 4回以上 5. ない

2) AI（人工知能）技術の発展により私たちは、よりいっそう幸せになれると思いますか。

1. とても幸せになれる 2. やや幸せになれる 3. 変わらない
4. あまり幸せになれない 5. 全く幸せになれない

3) 新型コロナウイルス感染症に感染してしまうのは、本人の行動や心がけが主な理由だと思いますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

【問 22】 本（電子書籍を含む）・新聞（ネットを含む）・図書館・書店についてお聞かせください。

下記について、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年数回	しない
1) 本（電子書籍を含む）を読む	1	2	3	4	5	6
2) 新聞（ネットを含む）を読む	1	2	3	4	5	6
3) 図書館に行く	1	2	3	4	5	6
4) 書店に行く	1	2	3	4	5	6

【問 18】 人生最期の時期に望む療養場所や医療について、おうかがいします。

1) ご自分が病気などで最期を迎えるとしたら、どこで迎えたいと思いますか(1つに○)。

- | | | |
|-------------------|-------------------|-----------------|
| 1. 病院 | 2. ホスピス・緩和ケア病棟 | 3. 老人ホームなどの福祉施設 |
| 4. 高齢者向けのケア付き集合住宅 | 5. 自宅(子供など家族宅も含む) | 6. わからない |

2) 上記1) について、誰かと話し合いをしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|---------------|-----------------------|
| 1. 全くない | 2. 話し合ったことがある | 3. 話し合い、その結果を紙などに記載した |
|---------|---------------|-----------------------|

3) 自分が意思決定できなくなったときに備えて、一番自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めてほしいと思う人はだれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------------|-----------|
| 1. いない | 2. 配偶者 | 3. 同居の子ども |
| 4. 別居の子ども | 5. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 6. 近隣の方 |
| 7. 友人 | 8. 医療従事者(医師、看護師) | 9. その他() |

4) 日本人の3大死亡原因は、がん、心臓病、老衰です。老衰で死ぬことについてどのように思いますか。

- | | | | |
|---------|-----------------|----------------|---------|
| 1. 好ましい | 2. どちらかという和好ましい | 3. どちらかという避けたい | 4. 避けたい |
|---------|-----------------|----------------|---------|

【問 19】 以下の各質問について、最もよくあてはまるもの1つに○をしてください。

1) 体調が悪い時や健康について相談したいときに、いつも受診する医師や医療機関はありますか。

- | | | |
|-------|--------|-----------|
| 1. はい | 2. いいえ | → 【問 20】へ |
|-------|--------|-----------|

↓ 以下2) ~4) は、その医師や医療機関についてお答えください。

2) その医師または医療機関は、病気のことだけでなく、あなたという人をよく理解していますか。

- | | | |
|------------|------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. やや知っている | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり知らない | 5. 全く知らない | |

3) 地域の活動参加や地域の相談窓口(例：地域包括支援センター、社会福祉協議会など)に行くことをその医師や医療機関のスタッフにすすめられたことはありますか。

- | | | |
|-----------------|--------------|--------------|
| 1. すすめられた | 2. たぶんすすめられた | 3. どちらともいえない |
| 4. たぶんすすめられなかった | 5. すすめられなかった | |

4) その医師または医療機関を受診した時に、テレビや新聞などメディアが伝える健康情報に関して助言を受けたことがありますか。

- | | | |
|----------------|----------------|--------------|
| 1. 受けたことがある | 2. たぶん受けたことがある | 3. どちらともいえない |
| 4. たぶん受けたことがない | 5. 受けたことがない | |

【問 20】 あなたの医療受診等についておうかがいします。

1) 過去3年間に、病気や障害があるにもかかわらず、必要な治療を受けなかった、または治療を中断したことがありますか。

- | | | |
|-------|-------------------|-----------------------|
| 1. ある | 2. 必要な治療を控えたことはない | 3. 過去3年間治療を受ける必要がなかった |
|-------|-------------------|-----------------------|

↓ → 【問 21】へ

2) 治療を受けなかったり中断した理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|------------------|----------------|---------------------|---------|
| 1. 待ち時間が長い | 2. 治療費の負担が大きい | 3. 交通費の負担が大きい | |
| 4. 適切な医療機関が近くにない | 5. 交通手段がない | 6. どこに相談したらよいかわからない | |
| 7. 時間がない | 8. 健康保険に入っていない | 9. 新型コロナウイルス感染を避けたい | 10. その他 |

【問 21】あなたのお薬の使い方についておうかがいします。

1) あなたが毎日飲んでいるお薬のうち、医師から処方されているものは何種類ありますか？

1. なし 2. 1種類 3. 2種類 4. 3～5種類 5. 6～9種類 6. 10種類以上

2) 直近の受診時に医師から処方された「毎日飲んでいる薬」を、自分の判断だけで飲み残している量はどのくらいありますか。

1. 2ヶ月分以上 2. 1ヶ月分 3. 2週間分 4. ほとんどない

3) お薬は1日何回飲むように処方されていますか。1回に2種類以上飲んでいる人も1回と数えて、全部合わせた回数について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

【例：朝昼夕食後（1日3回）と、寝る前（1回）は1日4回】

1. 1日1回 2. 1日2回 3. 1日3回 4. 1日4回 5. 1日5回以上

4) 「お薬手帳」をどのように利用していますか。

1. 1冊にまとめて使っている 2. 病院で使い分けている 3. 使っていない

5) いつもお薬を受け取る薬局はどこですか。

1. かかりつけ薬局 2. 決めていない 3. 医療機関内

6) 5) で「1. かかりつけ薬局」と答えた方にお聞きします。

かかりつけ薬局を決めている理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 薬を管理してくれる 2. 薬について相談しやすい 3. 薬以外でも相談できる
4. 信頼できる薬剤師がいる 5. 家または病院に近い 6. 自分で選んでいない 7. その他

7) 以下の質問について、それぞれ最もよくあてはまるもの 1つに○ をつけてください。

	あてはまる	大体あてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1) 薬は指示されたとおりに服用している	1	2	3	4	5
2) 自分だけの判断で薬を飲むのをやめている	1	2	3	4	5
3) つい受診間隔が空いてしまい、何日間か薬を飲まない日ができる	1	2	3	4	5
4) 薬を飲み忘れる	1	2	3	4	5
5) 自分の服用している薬が何の薬かを知っている	1	2	3	4	5
6) 自分が服用している薬について納得している	1	2	3	4	5
7) 医師の治療方針を理解している	1	2	3	4	5
8) 薬や治療について、医師などの医療従事者に自分の質問が気兼ねなくできている	1	2	3	4	5
9) 薬を服用していることで、病状が落ち着いている	1	2	3	4	5
10) 薬がなければ元気でいられない	1	2	3	4	5
11) 薬を飲み忘れると不安になる	1	2	3	4	5
12) 薬や治療について気になることをインターネットで調べている	1	2	3	4	5
13) 薬局で薬以外の相談をすることがある	1	2	3	4	5

【問 18】 災害についておうかがいします。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1) 平時の地域づくりは災害後の復興にも役立つ。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

2) 私の地域の周辺で、危険な河川や急傾斜地がどこにあるか知っている。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

3) 災害が起こったときにどうするか、家族や身近な人と話し合っている。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

4) 普段から、飲料水や非常食などを備蓄している。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

5) 今加入している保険（共済）があれば、生活を立て直すには十分だと思う。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

6) 地震が起こったとき、命を守る行動をとっさにとれる。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

7) 災害後に地域の町並みが変わることは受け入れられる。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

8) 避難所では、いろいろな役割を担ってみたい。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

9) 自力で避難が難しいとき、周りの人に助けを求めることができる。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

10) 避難生活中、自分や家族に配慮（授乳室や通路の拡張など）が必要なとき、周りの人に説明することができる。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

【問 19】 被災経験についておうかがいします。（5. 以外は、あてはまるすべてに○）

1. 自然災害により身近な人を失ったことがある
2. 自然災害により自宅に全壊判定または大規模半壊の被害を受けたことがある
3. 自然災害により1週間以上避難所で生活したことがある
4. 1-3以外の被災経験をした 5. 自然災害による被害を受けたことがない

【問 20】 災害について下記のようなイベントや話し合いに、過去3年ぐらいの間で参加しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 避難訓練 2. 避難行動の助け合いの話し合い 3. 避難所の開設や運営の話し合い
4. 1.～3.には参加しない 5. 地域に1.～3.はない

【問 21】 あなたの家で災害への備えでしているものを教えてください（あてはまるすべてに○）。

1. 3日以上分のトイレ（おむつ含む） 2. 携帯電話などの予備電源 3. 家具の固定
4. 避難方法・経路の候補を決めている 5. 家族（別居含む）との災害時の避難場所を共有している

【問 22】 新型コロナウイルス感染症（新型コロナ）流行後の生活についておうかがいします。

1) マスク着用が日常になったことについて、新型コロナ流行前と比較して対人コミュニケーションにどのような変化を感じていますか。

1. とても良い変化 2. やや良い変化 3. 変化を感じない 4. やや悪い変化 5. とても悪い変化

2) あなたは 2020 年の春から今までにかけて医療機関に行かずに電話などを使って診察を受けたことがありますか。薬をもらうことも含みます。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 歯科 2. 内科 3. 整形外科 4. 眼科 5. 精神科 6. その他 7. ない

【問 23】 自治体や社会福祉協議会などの通いの場（サロン）への参加についておうかがいします。

注：通いの場（サロン）の名称は各市町で異なりますが、以下の問 23 の 3）に示した会のことを指します。

1) あなたはこの 1 年間に、いくつの通いの場（サロンなど）に参加しましたか。

1. 1つ 2. 2つ 3. 3つ 4. 4つ以上 5. 参加していない

2) 通いの場（サロン）への参加期間はどれくらいですか。複数参加している場合は最も長く参加している箇所についてお答えください。

1. 参加 1 年未満 2. 参加 1～2 年未満 3. 参加 2～3 年未満
4. 参加 3～4 年未満 5. 参加 4 年以上 6. 参加しているが期間は不明
7. 参加していたが止めた 8. 参加したことがない

3) 2)で回答したあなたの通いの場（サロン）での活動別の 1 ヶ月あたりの時間を教えてください。複数の通いの場（サロンなど）に参加している方は合計してお答えください。

(1) 体操

1. ほとんどなし 2. 1 時間未満 3. 1 時間 4. 2～3 時間 5. 4～5 時間 6. 6 時間以上

(2) 音楽（歌唱や演奏）

1. ほとんどなし 2. 1 時間未満 3. 1 時間 4. 2～3 時間 5. 4～5 時間 6. 6 時間以上

(3) 創作活動（手工芸など）

1. ほとんどなし 2. 1 時間未満 3. 1 時間 4. 2～3 時間 5. 4～5 時間 6. 6 時間以上

(4) 室内ゲーム（囲碁と将棋、麻雀やレクリエーションゲームなど）

1. ほとんどなし 2. 1 時間未満 3. 1 時間 4. 2～3 時間 5. 4～5 時間 6. 6 時間以上

(5) 脳トレーニング

1. ほとんどなし 2. 1 時間未満 3. 1 時間 4. 2～3 時間 5. 4～5 時間 6. 6 時間以上

(6) おしゃべり（お茶含む）

1. ほとんどなし 2. 1 時間未満 3. 1 時間 4. 2～3 時間 5. 4～5 時間 6. 6 時間以上

(7) 地域の子どもの交流

1. ほとんどなし 2. 1 時間未満 3. 1 時間 4. 2～3 時間 5. 4～5 時間 6. 6 時間以上

【問 18】 あなたの歯や口腔内のケアについておうかがいします。

1) 最後に、「治療（入れ歯の調整も含む）」のために歯科医院に通院したのはいつですか。

1. 半年以内 2. 半年～1年前 3. 1～3年前 4. 3年以上前 5. いったことがない

2) 最後に、「治療以外（健診など）」で歯科医院に通院したのはいつですか。

1. 半年以内 2. 半年～1年前 3. 1～3年前 4. 3年以上前 5. いったことがない

3) どれくらいの頻度で歯みがきをしますか（人にやってもらう場合も含む）。

1. 1日3回以上 2. 1日2回 3. 1日1回 4. ときどきみがく 5. みがかない

4) あなたは、失った歯を1本元通りにするために、いくら支払いますか。

前歯部：（ ）万円 臼歯部（奥歯）：（ ）万円

5) あなたは過去6カ月以内に、歯が痛むことがありましたか。

1. はい 2. いいえ

6) 噛み合わせは良いですか。

1. はい 2. いいえ

7) 過去6カ月以内に、歯や歯ぐき、入れ歯の問題はありましたか（すべてに〇）。

1. 食事をするのが困難だった 2. うまく話すことが難しかった
3. 歯を見せて笑ったり話したりするのをためらった
4. ふだんと違い気分がむしゃくしゃした（安定しなかった）
5. 家族、友人、近所の人など他人といることを楽しめなかった 6. 特に問題はなかった

8) 現在、ご自分の歯が何本ありますか。本数についてお答えください。

本

※親知らず、インプラントは含みません。
※一般に、親知らずの歯を除いた、成人の歯の数は28本です。
※総入れ歯の方は「0（ゼロ）」とご記入ください。

9) 毎日入れ歯の手入れをしていますか

1. はい 2. いいえ

10) 歯ぐきの病気にかかっているかもしれないと思いますか。

1. はい 2. いいえ 3. 答えたくない 4. わからない

11) 自然と歯がぐらつくようになったことはありますか（怪我によるものは除きます）。

1. はい 2. いいえ 3. 答えたくない 4. わからない

12) 歯医者あるいは歯科衛生士から「歯のまわりの骨が失われている」と言われたことがありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 答えたくない 4. わからない

13) ここ3カ月間で、歯ぐきから血が出たことはありますか。

1. まったくない 2. ほとんどない 3. 時々 4. しばしば 5. いつも

14) あなたは「オーラルフレイル」という言葉を知っていますか。

1. よく知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない

【問 19】 「食欲」について、あなたが最もあてはまるもの1つに〇をつけてください。

1) 私は食欲が

1. まったくない 2. ない 3. ふつうだ 4. ある 5. とてもある

2) 普段、私は食事を

- | | | |
|--------------|-------------|-----------|
| 1. 1日1回もとらない | 2. 1日1回とる | 3. 1日2回とる |
| 4. 1日3回とる | 5. 1日4回以上とる | |

3) 食事をとるとき

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 数口食べただけで満腹になる | 2. 3分の1ほど食べると満腹になる |
| 3. 半分ほど食べると満腹になる | 4. ほとんど食べれば満腹になる |
| 5. 満腹になることはほとんどない | |

4) 食べ物の味が

- | | | |
|---------------|----------------|-------------|
| 1. とてもまずいと感じる | 2. まずいと感じる | 3. ふつうだと感じる |
| 4. おいしいと感じる | 5. とてもおいしいと感じる | |

【問 20】体調やタバコについておうかがいします。

1) かぜをひいていないのに、たんがからんでせきをすることがありますか。

- | | | | | |
|--------|------------|-------|--------|-----------|
| 1. いつも | 2. ほとんどいつも | 3. 時々 | 4. まれに | 5. ほとんどない |
|--------|------------|-------|--------|-----------|

2) 走ったり、重い荷物を運んだりしたとき、同年代の人と比べて、息切れしやすいほうですか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

3) この一年間で、走ったり、重い荷物を運んだりしたとき、ゼイゼイやヒューヒューを感じることはありませんでしたか。

- | | | | | |
|--------|------------|-------|--------|-----------|
| 1. いつも | 2. ほとんどいつも | 3. 時々 | 4. まれに | 5. ほとんどない |
|--------|------------|-------|--------|-----------|

4) これまでにタバコを吸ったことがありますか。現在、あなたが吸っている、もしくは、吸っていたタバコ製品について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|--------------------------------|-------------------|-------------------------|
| 1. 紙巻タバコ | 2. 電子タバコ (ニコチン入り) | 3. 電子タバコ (ニコチン無し、または不明) |
| 4. 加熱式タバコ (プルームテック、アイコス、グローなど) | 5. その他 | 6. 吸ったことはない |

↓
4) にて1~4と回答した方におたずねします。

5) あなたは1日に何本または何回タバコを吸っていますか、もしくは、吸っていましたか。タバコ製品それぞれについてお答えください。「時々吸っている」方は吸うときの1日での数をお答えください。

注) 加熱式タバコ、電子タバコを吸っている場合は吸って吐いてを繰り返す10分程度のひとまとまりの行為を1回とみなしてお答えください。現在も吸っている方は現在の本(回)数を、過去吸っていた方は最も多く吸っていた本(回)数をお答えください。

紙巻タバコ	<input type="text"/>	本/1日	加熱式タバコ	<input type="text"/>	回/1日	電子タバコ	<input type="text"/>	回/1日
-------	----------------------	------	--------	----------------------	------	-------	----------------------	------

6) あなたは、何歳からタバコを吸っていますか。またやめた場合には何歳まで吸っていましたか。タバコ製品それぞれについてお答えください(現在も吸っている場合は右側の年齢は空白にしてください)。

紙巻タバコ	はじめた年齢	<input type="text"/>	歳	(やめた場合のみお答えください)	やめた年齢	<input type="text"/>	歳
加熱式タバコ	はじめた年齢	<input type="text"/>	歳	(やめた場合のみお答えください)	やめた年齢	<input type="text"/>	歳
電子タバコ	はじめた年齢	<input type="text"/>	歳	(やめた場合のみお答えください)	やめた年齢	<input type="text"/>	歳

【問 18】あなたが住んでいる地域と住宅についておうかがいします。

1) あなたが日常生活や健康のために必要なことは、行政や民間のサービスによって、概ね提供されていますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

2) 現在お住まいの住宅にどの程度満足していますか。

- 全く満足していない 完全に満足している
0点-----1点-----2点-----3点-----4点-----5点

3) 現在お住まいの住宅で困っていることとして、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 不便な場所にある 2. 地震、台風、大雨被害が不安 3. 住宅周囲での交通事故が不安
4. 住宅の防犯性能が不安 5. 老朽化で状態が悪い 6. 足腰が弱った時に住みづらい
7. 広すぎて管理が大変 8. 狭くて物の置き場がない 9. 暑さや寒さを防げない
10. 家賃や維持費が高い 11. その他 12. 特に不満や問題はない

【問 19】あなたの生活や活動についてお聞かせください。

1-1) 自分にとって生活に必要な物やサービス(例:衣服、食事、住宅、医療・介護サービス、自分が快適に暮らすために必要な物品など)を、必要な時に購入することができますか。

1. はい 2. いいえ

1-2) 1-1) にて「いいえ」と回答した方におたずねします。その理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 経済的な問題 2. 移動手段の問題 3. 家族やパートナーの介護などで時間がない
4. 身体的な問題 5. 購入できる場所を知らない 6. その他

2-1) 自分にとって重要だと思う活動(例:趣味、仕事、ボランティア、家族のサポート、勉強、宗教活動など)を実施することができますか。

1. はい 2. いいえ

2-2) 2-1) にて「いいえ」と回答した方におたずねします。その理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 経済的な問題 2. 移動手段の問題 3. 家族やパートナーの介護などで時間がない
4. 身体的な問題 5. 実施できる場所を知らない 6. その他

【問 20】あなたの身体の状態についてお聞きします。

1) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

1. 介護・介助が必要 2. 介護・介助は必要ない

↓ 1) で「1. 介護・介助が必要」とお答えした方にお聞きします。

2) 介護・介助が必要となった主な原因は何ですか(あてはまるものすべてに○)。

1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞) 2. 心臓病 3. がん(悪性新生物)
4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等) 5. 関節の病気(リウマチ等)
6. 認知症(アルツハイマー病等) 7. パーキンソン病 8. 糖尿病 9. 腎疾患(透析)
10. 視覚・聴覚障害 11. 骨折・転倒 12. 脊椎損傷 13. 高齢による衰弱 14. その他

3) 主にどなたの介助を受けていますか(あてはまるものすべてに○)。

1. 配偶者(夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫
6. 兄弟・姉妹 7. 介護サービスのヘルパー 8. その他

【問 21】 あなたはこの1年間に、誰かから次のようなことをされた経験はありますか。

- 1) 殴られる、けられる、物を投げつけられる、とじこめられるなどの身体的暴行
- 2) 暴言を吐かれる、嫌味を言われる、長い間無視されるなどの自尊心を傷つけられる行為
- 3) あなたの預金や年金を、あなたの了解なしに使ったり取り上げたりされた(家族からも含む)

1. はい 2. いいえ
1. はい 2. いいえ
1. はい 2. いいえ

【問 22】 配偶者（またはパートナー）のいる方におうかがいします。

お宅の収入はどのように管理していますか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 自分がすべて管理し、配偶者（パートナー）には必要なだけ渡している
- 2. 配偶者（パートナー）がすべて管理し、自分は必要なだけもらっている
- 3. 収入はすべて共同で管理し、それぞれが必要なだけ持っていく
- 4. 収入の一部を共同で管理し、残りは2人が別々に持っている
- 5. 2人とも自分の収入は、自分で管理している
- 6. 子どもまたは後見人が管理している

【問 23】 ふだんの食事についておうかがいします。

- 1) あなたは次にあげる10食品群を週に何日ぐらい食べますか。ここ一週間ぐらいの様子についておうかがいします。

	ほとんど毎日	2日に1回	1週間に1~2回	ほとんど食べない
1. 魚介類（生鮮、加工品問わず）	1	2	3	4
2. 肉類（生鮮、加工品問わず）	1	2	3	4
3. 卵（魚卵は除く）	1	2	3	4
4. 牛乳・乳製品	1	2	3	4
5. 大豆・大豆製品（豆腐、納豆など）	1	2	3	4
6. 緑黄色野菜類	1	2	3	4
7. 果物類	1	2	3	4
8. 海藻類（生、乾問わず）	1	2	3	4
9. いも類	1	2	3	4
10. 油脂類（天ぷらやフライ、バター等）	1	2	3	4

- 2) あなたは緑茶（お茶を含む）をどのくらいの頻度で飲みますか。

1. (ほとんど) 飲まない 2. 週1杯未満 3. 週1杯 4. 週2~3杯
 5. 週4~6杯 6. 毎日1杯 7. 毎日2~3杯 8. 毎日4杯以上

- 3) あなたはコーヒーをどのくらいの頻度で飲みますか。

1. (ほとんど) 飲まない 2. 週1杯未満 3. 週1杯 4. 週2~3杯
 5. 週4~6杯 6. 毎日1杯 7. 毎日2~3杯 8. 毎日4杯以上

- 4) あなたのチーズのとりかたについておうかがいします。

(1) チーズ（6ピースチーズの1ピース以上、スライスチーズ1枚以上）をどのくらい食べますか。

1. 週5回以上 2. 週3~4回 3. 週1~2回 4. ほとんど食べない

(2) 主に食べているチーズの種類を1つ教えてください。

1. プロセスチーズ(スライスタイプ・ブロックタイプ・6ピースやさけるタイプなど)
 2. フレッシュタイプ(カッテージ・クリームなど) 3. 白カビタイプ(カマンベールなど)
 4. 青カビタイプ(ゴルゴンゾーラなど) 5. その他

【問18】あなたの家から徒歩圏内（約1km以内）の環境についておうかがいします。

1) 興味をひかれるもの（きれいな景観、楽しい景観）が多い

1. そう思わない 2. どちらかというと思わない 3. どちらかというと思う 4. そう思う

2) この1年間に平均してどのくらいの頻度で、水辺を訪れましたか。

水辺には、海、川、湖、池、屋外プール等の水ぎわや歩道を含みます。

1. ない 2. 年数回 3. 月1～2回 4. 週1回 5. 週2～3回 6. 週4～6回 7. 毎日

3) 水辺を訪れた方にお伺いします。水辺を訪れた際の主な活動は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 気分転換の散歩 2. 健康維持を目的としたウォーキング 3. 健康維持・気分転換以外の散歩
4. ジョギング 5. サイクリング 6. 景色の鑑賞 7. 他者との交流 8. 通勤や用事などの移動 9. その他

【問19】あなたの生活の範囲についておうかがいします。

1) この1か月間、あなたは「自宅で寝ている場所以外の部屋」に行きましたか。

1. はい 2. いいえ 3. 行けるけど行かなかった

→ 1-1) この1か月間で、上記生活空間に何回行きましたか。

1. 週1回未満 2. 週1～3回 3. 週4～6回 4. 毎日

→ 1-2) 上記生活空間に行くのに、杖などの補助具
または特別な器具を使用しましたか。

1. はい 2. いいえ

→ 1-3) 上記生活空間に行くのに、
他者の助けが必要でしたか。

1. はい 2. いいえ

2) この1か月間、「玄関外、ベランダ、中庭、(マンションの)廊下、車庫または敷地内の通路などの屋外」に出ましたか。

1. はい 2. いいえ 3. 行けるけど行かなかった

→ 2-1) この1か月間で、上記生活空間に何回行きましたか。

1. 週1回未満 2. 週1～3回 3. 週4～6回 4. 毎日

→ 2-2) 上記生活空間に行くのに、杖などの補助具
または特別な器具を使用しましたか。

1. はい 2. いいえ

→ 2-3) 上記生活空間に行くのに、
他者の助けが必要でしたか。

1. はい 2. いいえ

3) この1か月間、「自宅の庭またはマンションの建物以外の近隣の場所」に外出しましたか。

1. はい 2. いいえ 3. 行けるけど行かなかった

→ 3-1) この1か月間で、上記生活空間に何回行きましたか。

1. 週1回未満 2. 週1～3回 3. 週4～6回 4. 毎日

→ 3-2) 上記生活空間に行くのに、杖などの補助具
または特別な器具を使用しましたか。

1. はい 2. いいえ

→ 3-3) 上記生活空間に行くのに、
他者の助けが必要でしたか。

1. はい 2. いいえ

4) この1か月間、「近隣よりも離れた場所(ただし町内)」に外出しましたか。

1. はい 2. いいえ 3. 行けるけど行かなかった

→ 4-1) この1か月間で、上記生活空間に何回行きましたか。

1. 週1回未満 2. 週1～3回 3. 週4～6回 4. 毎日

→ 4-2) 上記生活空間に行くのに、杖などの補助具または特別な器具を使用しましたか。

1. はい 2. いいえ

→ 4-3) 上記生活空間に行くのに、他者の助けが必要でしたか。

1. はい 2. いいえ

5) この1か月間、「町外」に外出しましたか。

1. はい 2. いいえ 3. 行けるけど行かなかった

→ 5-1) この1か月間で、上記生活空間に何回行きましたか。

1. 週1回未満 2. 週1～3回 3. 週4～6回 4. 毎日

→ 5-2) 上記生活空間に行くのに、杖などの補助具または特別な器具を使用しましたか。

1. はい 2. いいえ

→ 5-3) 上記生活空間に行くのに、他者の助けが必要でしたか。

1. はい 2. いいえ

6) 外出を控えていますか。 ———— 1. はい 2. いいえ ———— → 問20へおすすみください

7) 6)で「はい」と答えた方にお聞きします。外出を控えている理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 病気 2. 障害(脳卒中の後遺症など) 3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配
- 5. 耳の障害(聞こえの問題など) 6. 目の障害 7. 外での楽しみがない
- 8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない 10. 新型コロナウイルス 11. その他

【問20】転居の経験とその理由についておうかがいします。

1) 過去3年間のうち、転居された経験はありますか。 ———— 1. 転居なし 2. 転居あり ————

2) 転居された方にお伺いします。転居の理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1. 以前の家に住めなくなったため 2. 住みたい家が見つかったため 3. 街中の便利な所に住むため
- 4. 高齢者向け住宅に住むため 5. 家族や友人等との同居や近居のため 6. 他の理由

【問21】「公共交通運賃割引券(敬老パス・シルバーパスなど)」についておうかがいします。

注:自治体によっては、路線バスや電車などの運賃が割引になる「公共交通運賃割引券」制度があります。

1) あなたが住んでいる自治体に、「公共交通運賃割引券」制度はありますか。

1. ある 2. ない 3. 制度があるかどうか知らない

→ 2-1) 「公共交通運賃割引券」制度を利用したいと思いますか。

1. 制度があれば利用したい 2. 利用したいと思っただけではない

2-2) あなたは現在「公共交通運賃割引券」制度を利用していますか。

- 1. 現在利用している 2. 過去には利用していたが、現在は利用していない
- 3. これまで利用したことがない

【問 18】 運動・スポーツ（散歩やウォーキングを含む）の実施状況についておうかがいします。

1) この1年間に運動やスポーツ（散歩やウォーキングを含む）を実施した日数を全部合わせると、何日くらいになりますか。あてはまるもの**1つに○**をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 年261日以上（週に5日以上） | 2. 年151～260日（週に3日以上） |
| 3. 年101～150日（週に2日以上） | 4. 年51～100日（週に1日以上） |
| 5. 年12～50日（月に1～3日） | 6. 年4～11日（3か月に1～2日） |
| 7. 年に1～3日 | 8. 実施しなかった |

2-1) 以下の項目のうち、今の自分に最もあてはまるものはどれですか。

なお、「**定期的**」とは**1回20分以上の運動・スポーツを週1回以上**行うことです。

- | |
|--|
| 1. 私は現在、運動・スポーツをしていない。また、これから先も運動・スポーツをするつもりはない |
| 2. 私は現在、運動・スポーツをしていない。しかし近い将来（6カ月以内）に始めようとは思っている |
| 3. 私は現在、運動・スポーツをしている。しかし、定期的ではない |
| 4. 私は現在、定期的に運動・スポーツをしている。しかし、始めてから6カ月以内である |
| 5. 私は現在、定期的に運動・スポーツをしている。また、6カ月以上継続している |

2-2) 2-1) にて3. 4. 5. のいずれかを選んだ方のみお答えください。運動・スポーツはだれと行うことが多いですか。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. ほとんど1人 | 2. どちらかといえば1人 |
| 3. どちらかといえば家族・友人・知人 | 4. ほとんど家族・友人・知人 |

【問 19】 運動・スポーツの観戦やボランティア活動についておうかがいします。

1) あなたはこの1年間に平均してどのくらいの頻度で、**直接現地**でスポーツを観戦しましたか。プロのスポーツに限らず、地域のスポーツクラブ・団体や部活動などの観戦も含みます。

- | | | | |
|----------|----------|---------|------------|
| 1. 週1回以上 | 2. 月1～3回 | 3. 年に数回 | 4. 観戦していない |
|----------|----------|---------|------------|

2) あなたはこの1年間に平均してどのくらいの頻度で、**テレビやインターネット**でスポーツを観戦しましたか。プロスポーツに限らず、地域のスポーツクラブ・団体や部活動などの観戦も含みます。（ニュースで映像を少し見たなどは除きます）

- | | | | |
|----------|----------|---------|------------|
| 1. 週1回以上 | 2. 月1～3回 | 3. 年に数回 | 4. 観戦していない |
|----------|----------|---------|------------|

3-1) あなたはこの1年間に平均してどのくらいの頻度で、スポーツの指導やスポーツ大会の運営、自身や家族が所属するスポーツクラブの手伝い（練習や大会での参加者の送迎、参加者の飲料や弁当の準備など）など運動・スポーツに関するボランティア活動を行いましたか。

- | | | | |
|----------|----------|---------|-----------|
| 1. 週1回以上 | 2. 月1～3回 | 3. 年に数回 | 4. 行っていない |
|----------|----------|---------|-----------|

【問 20】へ

3-2) その活動は具体的にどのような内容ですか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

- | | | |
|---|------------------|------------------|
| 1. 運動・スポーツの指導 | 2. スポーツの審判 | 3. 大会・イベントの運営や世話 |
| 4. スポーツクラブ・団体の運営や世話 | 5. スポーツ施設の管理の手伝い | |
| 6. 自身や家族が所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動
(例：送迎、飲料や弁当の準備、施設の予約・手配、指導や審判の補助、役員や会計、チラシの作成など) | | |
| 7. その他 | | |

【問 20】 以下の質問を読んで、それぞれ最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1) ものごとがはっきりしないとき、私はたいてい最も良い結果を予想する。

1. 非常にあてはまる 2. どちらかというにあてはまる 3. どちらとも言えない
4. あまりあてはまらない 5. 全くあてはまらない

2) 何か悪いことが起こりそうな時、たいていの場合は起こってしまう。

1. 非常にあてはまる 2. どちらかというにあてはまる 3. どちらとも言えない
4. あまりあてはまらない 5. 全くあてはまらない

3) わたしはいつも、自分の未来について楽観的である。

1. 非常にあてはまる 2. どちらかというにあてはまる 3. どちらとも言えない
4. あまりあてはまらない 5. 全くあてはまらない

4) わたしはものごとが、自分の思いどおりになると期待することはめったにない。

1. 非常にあてはまる 2. どちらかというにあてはまる 3. どちらとも言えない
4. あまりあてはまらない 5. 全くあてはまらない

5) わたしは、自分によいことが起こることを、めったに当てにしない。

1. 非常にあてはまる 2. どちらかというにあてはまる 3. どちらとも言えない
4. あまりあてはまらない 5. 全くあてはまらない

6) 全体的にみて、わたしは自分には悪いことよりも、良いことの方がたくさん起こると思っている。

1. 非常にあてはまる 2. どちらかというにあてはまる 3. どちらとも言えない
4. あまりあてはまらない 5. 全くあてはまらない

【問 21】 あなたは下記のような場面で、声を出して笑う機会はどのくらいありますか。

1) 友人と話をしているとき

1. ほぼ毎日 2. 週に1～3回程度 3. 月に1～3回程度 4. ほとんどない

2) 夫婦やパートナーと話をしているとき

1. ほぼ毎日 2. 週に1～3回程度 3. 月に1～3回程度 4. ほとんどない

3) 子どもや孫と接しているとき

1. ほぼ毎日 2. 週に1～3回程度 3. 月に1～3回程度 4. ほとんどない

4) 職場の上司や部下、同僚と話をしているとき

1. ほぼ毎日 2. 週に1～3回程度 3. 月に1～3回程度 4. ほとんどない

【問 22】 生きがいについてお聞きします。

生きがいはありますか。

1. 生きがいあり 2. 思いつかない

【問 18】最近 1 年間で**の痛みの経験**についておうかがいします。

1) 過去 1 年間に 1 日以上続く腰痛（右下の図で塗りつぶした部位の痛み）がありましたか。
ただし、発熱を伴った疾患時の痛みは除きます。



1. ある (あった) 2. ない (なかった)

→ 1-1) 腰の痛みがある方は、どれくらいの期間痛みがありましたか。

1. 1か月未満 2. 1か月以上、3か月未満 3. 3か月以上

→ 1-2) その痛みの強さは 0 から 10 の尺度であらわすとどの程度でしたか(あてはまる 1 つに〇)。

痛みが全くない状態												想像できる最悪の痛み (これ以上我慢できない痛み)
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

→ 1-3) その痛みのために普段やっていることが出来なかったり、制限されたことはありますか。

1. はい 2. いいえ

2) 過去 1 年間に 1 日以上続く膝(ひざ)の痛み（右下の図で塗りつぶした部位の痛み）がありましたか。



1. ある (あった) 2. ない (なかった)

→ 2-1) 膝の痛みがある方は、どれくらいの期間痛みがありましたか。

1. 1か月未満 2. 1か月以上、3か月未満 3. 3か月以上

→ 2-2) その痛みの強さは 0 から 10 の尺度であらわすとどの程度でしたか(あてはまる 1 つに〇)。

痛みが全くない状態												想像できる最悪の痛み (これ以上我慢できない痛み)
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

→ 2-3) その痛みのために普段やっていることが出来なかったり、制限されたことはありますか。

1. はい 2. いいえ

3) 過去 1 年間に以下の部位に 3か月以上続く痛み がありましたか (あてはまる番号 全てに〇)。

1. ない 2. 首 3. 背中 4. 肩 5. 肘 6. 手首 7. 手の指 8. 股関節 9. 足首 10. 足の指

【問 19】現在のお体の**症状**についておうかがいします。

1) 太ももからふくらはぎやすねにかけて、しびれや痛みがある。

1. はい 2. いいえ

2) しびれや痛みはしばらく歩くと強くなり、休むと楽になる。

1. はい 2. いいえ

3) しばらく立っているだけで、太ももからふくらはぎやすねにかけて、しびれたり痛くなる。

1. はい 2. いいえ

4) 前かがみになると、しびれや痛みは楽になる。

1. はい 2. いいえ

【問 20】若い頃と比べると身長が何 cm 縮みましたか。下の選択肢から、1つ選んでください。

1. 変わらない 2. 1cm 3. 2cm 4. 3cm 5. 4cm 以上 6. わからない

【問 21】以下の中で、医師による診断を受け、現在も治療中の病気はありますか。（すべてに○）

1. 関節リウマチ 2. 骨粗しょう症（骨粗しょう症による骨折を含む）
3. 変形性膝関節症 4. 腰部脊柱管狭窄（ようぶせきちゅうかんきょうさく）症
5. 頸髄（けいずい）症 6. 1～5の病気はない

【問 22】あなたの今日の健康状態についておうかがいします。

1) 「移動の程度」はどれにあてはまりますか。

1. 歩き回るのに問題はない 2. 歩き回るのに少し問題がある 3. 歩き回るのに中程度の問題がある
4. 歩き回るのにかなり問題がある 5. 歩き回ることができない

2) 「身の回りの管理（自分で身体を洗ったり着替えをすること）」はどれにあてはまりますか。

1. 問題はない 2. 少し問題がある 3. 中程度の問題がある
4. かなり問題がある 5. 自分で身体を洗ったり着替えをすることができない

3) 「ふだんの活動（例：仕事、勉強、家事、家族・余暇活動）」はどれにあてはまりますか。

1. 問題はない 2. 少し問題がある 3. 中程度の問題がある
4. かなり問題がある 5. ふだんの活動を行うことができない

4) 「痛み／不快感」はどれにあてはまりますか。

1. 痛みや不快感はない 2. 少し痛みや不快感がある 3. 中程度の痛みや不快感がある
4. かなり痛みや不快感がある 5. 極度の痛みや不快感がある

5) 「不安／ふさぎ込み」はどれにあてはまりますか。

1. 不安でもふさぎ込んでいない 2. 少し不安あるいはふさぎ込んでいる
3. 中程度に不安あるいはふさぎ込んでいる 4. かなり不安あるいはふさぎ込んでいる
5. 極度に不安あるいはふさぎ込んでいる

【問 23】日常生活の活動についておうかがいします。

1) 1日3食きちんと食べていますか。	1. はい 2. いいえ
2) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。	1. はい 2. いいえ
3) ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか。	1. はい 2. いいえ
4) ふだんから家族や友人と付き合いがありますか。	1. はい 2. いいえ
5) 体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか。	1. はい 2. いいえ

【豊中-問1】あなたとご家族の生活状況について、お聞きします。

1) あなたは、家の中で、ひとりになる時間帯はありますか。

1. ほとんどない 2. 日中 3. 夜間 4. いつもひとりである

2) 1日のうちで誰とも話をしない日がありますか。

1. よくある 2. 時々ある 3. ない

1. 1日～2日 2. 3日～4日 3. 5日～6日

3) 緊急時に30分程度でかけつけてくれる人、連絡できる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親族 2. 近隣住民(自治会等も含む) 3. 友人・知人 4. 民生委員
5. ケアマネジャー 7. 誰もいない

【豊中-問2】日常生活について、お聞きします。

1) 今後、どのような仕事や活動に興味・関心がありますか。(あてはまるものすべてに○)

仕事

1. 農業 2. 清掃 3. 警備 4. 飲食店 5. 工場や倉庫等での軽作業
6. 拠点に集まったの内職 7. 品出し、レジ打ち等 8. 介護補助 9. 保育

活動

11. 子どもの見守り 12. 子どもの学習支援 13. 高齢者の見守り 14. 高齢者の生活支援
15. 趣味の活動 16. スポーツ活動 17. 地域活動(自治会・老人クラブ等) 18. 学習や教養を高める活動

2) 日常生活を送る上での情報をどこから得ていますか(あてはまるものすべてに○)

1. テレビ 2. 新聞 3. ラジオ
4. 雑誌・本等 5. スマートフォン
6. タブレット 7. パソコン

1. LINE(ライン) 2. Facebook(フェイスブック)
3. Twitter(ツイッター) 4. Instagram(インスタグラム)
5. YouTube(ユーチューブ) 6. ウェブサイト(ホームページなど)
7. 利用しているものはない

3) 次のサービスで、利用してみたいと思うサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 緊急通報装置 2. 定期的な安否確認 3. 介護予防支援 4. 認知症予防支援 5. 運動指導
6. 栄養指導 7. 口腔機能(咀嚼・嚥下等)向上指導
8. 電磁調理器、火災警報機・自動消火器の支給 9. 認知症の方及び家族への地域活動・相談支援
10. 認知症で徘徊(はいかい)した場合、早期に発見できるサービス 11. 特になし

【豊中-問3】今後の暮らし方について、お聞きします。

1) あなたが今後もし認知症や寝たきりの状態など、介護が必要になった場合、どこで暮らしたいですか。

1. 自宅(居宅介護サービスを利用) 2. 自宅(家族による介護のみ) 3. 施設などに入所 4. わからない

【豊中-問4】健康・医療とのかかわりについて、お聞きします。

1) かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師がいますか。(あてはまるもの1つに○)

(1) 医師

1. 総合病院の医師 2. 診療所(総合病院以外)の医師 3. その他の医師
4. かかりつけの医師はいない

(2) 歯科医師

1. いる 2. いない

(3) 薬剤師(薬局)

1. いる 2. いない

【豊中-問5】地域包括支援センターについて、お聞きします。

1) 地域包括支援センターをご存知ですか。

1. 知っており、センターの役割や内容について理解している 2. 知っているが、センターの役割や内容についてはわからない 3. 知らない

2) あなたが、地域包括支援センターに期待するもの、求めるものは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|--|---------------------------|
| 1. もっと身近な場所に設置してほしい | 2. 自宅など相談に今以上に出向いてほしい |
| 3. 地域に出向いての講座等をもっとしてほしい | 4. 専門職を増やし、適切なアドバイスをしてほしい |
| 5. 地域の課題に応じた取り組みを強化してほしい (例えば、ひとり暮らし高齢者の多い地域での見守り強化など) | |

【豊中-問6】介護保険について、お聞きします。

1) 介護保険料についてどう感じていますか。

- | | | | | |
|----------|---------|---------------|------------|----------|
| 1. 負担が重い | 2. やや重い | 3. あまり負担に感じない | 4. 負担は感じない | 5. わからない |
|----------|---------|---------------|------------|----------|

2) 介護保険制度における今後のサービスと保険料のあり方について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

- | |
|---|
| 1. 介護サービスの内容が充実し、量や回数も十分に確保されるのなら、保険料はもっと高くしてもよい |
| 2. 介護サービスの量や回数は現状の程度とし、保険料は利用者の増加に応じた最小限の増額にとどめるのがよい |
| 3. 介護保険以外の有料サービスの利用を勧めるなど、介護給付費の抑制を図り、保険料は現状程度にとどめるのがよい |
| 4. わからない |

【豊中-問7】認知症や高齢者虐待、権利擁護などについて、お聞きします。

1) もし、あなたご自身やご家族に認知症かもしれないと感じたら、誰に相談しようと思っていますか。

(あてはまるものすべてに〇)

- | | | | |
|---------------|--------|-------|------------|
| 1. かかりつけ医 | 2. 家族 | 3. 友人 | 4. ケアマネジャー |
| 5. 地域包括支援センター | 6. 市役所 | | |

2) 次の制度を知っていますか。(あてはまるもの1つに〇)

(1) 成年後見制度

- | | |
|--------------------------|-------------|
| 1. 相談窓口などを利用したことがある | 2. 内容を知っている |
| 3. 名前は聞いたことがあるが内容はよく知らない | 4. 知らない |

(2) 日常生活

自立支援事業

- | | |
|--------------------------|-------------|
| 1. 相談窓口などを利用したことがある | 2. 内容を知っている |
| 3. 名前は聞いたことがあるが内容はよく知らない | 4. 知らない |

【豊中市 - 問8】新型コロナウイルス感染症について、お聞きします。

1) 新型コロナウイルス感染症の流行前後での変化はありますか。

- | | | |
|---------------------------------------|------------------|-------------------|
| 1. 外出の機会が減った | 2. 人と会って話す機会が減った | 3. 運動不足で筋力や体力が落ちた |
| 4. 趣味活動や社会参加 (サロン参加やボランティア活動) の頻度が減った | | |
| 5. 不安やストレスを感じるようになった | 6. 病院の受診がしづらくなった | |
| 7. 介護サービスの利用がしづらくなった | 8. 買い物に行く機会が減った | 9. 人との交流が減った |
| 10. 特にない | | |

2) 新型コロナウイルス感染症の流行後、新たに行っていること、工夫していることはありますか。

- | | |
|--|---------------------------------|
| 1. 自宅で運動をしている | 2. 手紙や電話、メールでコミュニケーションをとるようになった |
| 3. スマートフォンやタブレットを使ったビデオ通話でコミュニケーションをとるようになった | |
| 4. 自宅でできる趣味活動 (ガーデニング等) を始めた | |
| 5. インターネットや電話で注文して宅配してもらっている | 6. 配食サービスを使うようになった |
| 7. 電話やオンラインで病院を受診している | 8. 特にない |

介護保険及び健康福祉に関するアンケート調査

～ 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けて ～

ご協力をお願い

平素は、本市の保健福祉行政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

現在、市では、高齢者の方々が住みなれた地域で健康で安心して暮らすことのできる長寿社会の実現に向けて、令和6年(2024年)4月から実施の「第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に取り組んでいます。

今回、この計画に皆さまのご意見を反映するために、今後の介護サービスの利用意向や介護保険制度、保健福祉施策に関するアンケート調査を実施することになりました。

つきましては、以下の個人情報の取り扱いについてご確認の上、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和4年(2022年)11月 豊中市

個人情報の取り扱いについて

調査にご回答いただいた場合は、調査票の回答内容とあなたの医療保険情報（健診結果、医療レセプト情報等）、介護保険情報（年齢、性別、要介護認定情報、所得情報、給付実績等）とを照らし合わせて分析しますので、これらの個人情報を以下の「調査の目的と使い方」に掲げる目的で利用することにご同意いただける方のみご回答ください。なお、お名前を調査票に記入いただく必要はありませんが、調査票右上にあらかじめ印字している調査票番号で回答者を特定いたします。調査票の郵送、回答内容の分析作業等は、豊中市が(株)関西計画技術研究所に委託して行いますが、氏名や住所等個人が特定できる情報のうち、委託先に提供されるのは郵送に使用する宛名シールのみであり、個人情報については豊中市との契約により保護されています。委託先において分析作業等を行う際は、個人が特定されないよう匿名化したデータを使用します。

■ 調査の目的と使い方 ■

- 豊中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画等の策定・推進のための資料とします。
- ご回答いただいた内容の一部は、あなたの要介護認定情報（認定調査、介護認定審査会のデータ）とともに、厚生労働省から配布された自動集計分析ソフトを用いて集計分析します。
- 分析結果を国に情報提供する場合、氏名や住所等の個人を特定できないように処理し、いかなる場合においても個人を特定するような情報が公表されることはありません。

令和4年(2022年)12月12日(月)までに、同封の返信用封筒で、無記名のまま、ご返送ください。(切手はいりません)

豊中市 福祉部 長寿社会政策課

電話 (06) 6858-2837 (直通) FAX (06) 6858-3146

ご記入に際してのお願い

◇調査の対象者

令和4年(2022年)■月■日現在、市内にお住まいの65歳以上の「要支援・要介護認定」を受けておられる方で、介護保険の施設に入所されていない方から無作為に3,500人抽出いたしました。(現時点で介護保険施設に入所されている方にこの調査票が届いた場合は、回答不要です。)

◇記入上の注意

この調査票は、調査対象者ご本人(宛名の方)にご記入いただきたい部分と、ご家族など介護を行っている介護者(介護事業者以外)にご記入いただきたい部分に分かれています。調査対象者ご本人(宛名の方)の記入が難しい場合は、ご家族などがご本人の意思を確認の上でご記入をお願いします。

個人情報の取り扱いについて

あなた(宛名のご本人)は、表紙に記載の個人情報の取り扱いについて同意しますか。
(○は1つ)

1. 同意する

2. 同意しない

→ここで調査終了です。
調査票の返送は不要です。

「1. 同意する」場合は引き続き以下の設問にお答えください。
両方に○がない場合は調査票の返送をもって同意とみなさせていただきます。
この同意は後日ご連絡いただいても撤回することができます。

あなた(宛名のご本人)のことにについて

問1 このアンケートを記入されている方は「宛名のご本人」から見て、どなたですか。
宛名のご本人の調査協力に対する同意があるものの、ご記入が困難なために代筆される場合は、ご本人との続柄を選択してください。(○は1つ)

1. 宛名のご本人

2. 主な介護者となっている家族・親族

3. 主な介護者以外の家族・親族

4. 調査対象者のケアマネジャー

5. その他()

問2 あなたの家族の状況についておたずねします。(○は1つ)

1. 単身(ひとり暮らし)

2. 配偶者と二人暮らしで、一人が65歳以上もう一人が65歳未満

3. 配偶者と二人暮らしで、ともに65歳以上75歳未満

4. 配偶者と二人暮らしで、一人が65歳以上75歳未満もう一人が75歳以上

5. 配偶者と二人暮らしで、ともに75歳以上

6. 配偶者があり、子どもやその家族などと同居

7. 配偶者はなく、子どもやその家族などと同居

8. その他()

問3 あなたは、昼間、家の中で、ひとりになることがありますか。(〇は1つ)

1. ほとんどない 2. 時々ある 3. よくある 4. いつもひとりである

付問 昼間のどの時間帯にひとりになりますか。(〇はいくつでも)

1. 6時～9時 2. 9時～12時 3. 12時～15時 4. 15時～18時

問4 あなたは、夜間、家の中で、ひとりになることがありますか。(〇は1つ)

1. ほとんどない 2. 時々ある 3. よくある 4. いつもひとりである

問5 1日のうちで誰とも話をしない日がありますか。(〇は1つ)

1. よくある 2. 時々ある 3. ない

付問 週に何日くらいそのような日がありますか。(〇は1つ)

- 週あたり平均 日くらい

問6 あなたご自身で移動・外出できる範囲はどのくらいの範囲ですか。(〇はいくつでも)

1. だれかの手助けがないとまったく移動できない
2. 家の中なら一人で移動できる
3. 自宅の周りなら一人で外出できる
4. 歩いていけるところなら、少し遠くまで一人で外出できる
5. バスや電車などを利用して一人で外出できる
6. その他 ()

問7 家族の方や隣近所の人、友人などとの関わりについてあてはまるものは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 1日に1回は家族から安否確認の電話連絡等がある
2. 不定期に家族から電話連絡等がある
3. とときどき友人から電話連絡等や訪問がある
4. 隣近所の人とあいさつ程度のつきあいがある
5. ほぼ毎日、声をかけあったり、家を行き来するような人がいる
6. 自治会に加入している
7. 地域で行われている行事や活動などに参加している
8. ほとんど関わりがない
9. その他 ()

問8 緊急時に30分程度でかけつけてくれる人はいますか。(〇はいくつでも)

1. 家族・親族 2. 近隣住民(自治会等も含む) 3. 友人・知人
4. 民生委員 5. ケアマネジャー 6. その他 ()
7. 誰もいない

付問2 施設への入所の緊急度は次のうちどれですか。(〇は1つ)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 在宅での生活は困難なため、今すぐにでも入所したい |
| 2. 在宅での生活は可能だが、できれば今すぐに入所したい |
| 3. 在宅での生活は可能だが、近い将来(1~3年の間)に入所したい |
| 4. 当面入所の必要はないが、いざというときに備え入所申し込みをしている |
| 5. その他() |

問13 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-------------|-----------|-------------------|
| 1. 苦しい | 2. やや苦しい | 3. 苦しくもないが、ゆとりもない |
| 4. ややゆとりがある | 5. ゆとりがある | |

問14 あなたの災害に対する備えなどについておたずねします。(①~⑤のそれぞれについて、あてはまるものに〇)

①あなたの家では水や食料を何日分備蓄していますか。	1. 備蓄していない	2. 1~3日分
	3. 4~7日分	4. 8日以上
②あなたの家では大きい家具や冷蔵庫を地震で倒れないように固定していますか。	1. していない	2. しているが半分以下
	3. 半分以上している	4. すべてしている
③あなたは地域の避難場所やそこまでの経路を把握していますか。	1. 避難場所・経路共に把握している	
	2. 避難場所のみ把握している	
	3. 把握していない	
④あなたは災害時や火災などの緊急時に一人で避難することができますか。	1. できる	2. できない
⑤災害により避難が必要になった時に頼れる人はいますか。	1. いる	2. いない

生きがいや悩みについて

問15 あなたは、日々、充実感をもって生活を送っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問16 あなたが、現在、生きがいを感じていることはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 仕事 | 2. 趣味の活動 |
| 3. ボランティア活動 | 4. 地域での活動(自治会や老人会など) |
| 5. スポーツ活動、健康づくり | 6. 学習や教養を高めるための活動 |
| 7. 孫や子ども、若者などとの交流 | 8. 友人・知人との交流 |
| 9. その他() | 10. 特にない |

問17 今後どのような仕事や活動に興味・関心がありますか。(あてはまるものに○)

仕事	1. 農業	2. 清掃	3. 警備	4. 飲食店
	5. 工場や倉庫等での軽作業	6. 拠点に集まっての内職	7. 品出し、レジ打ち等	8. 介護補助
	10. これまでの経験を活かした仕事 ()			
活動	11. 子どもの見守り	12. 子どもの学習支援	13. 高齢者の見守り	
	14. 高齢者の生活支援	15. 趣味の活動	16. スポーツ活動	
	17. 地域活動(自治会・老人クラブ等)	18. 学習や教養を高める活動		
	19. これまでの経験を活かした活動 ()			
その他	20. その他 ()			

問18 家族以外で、趣味や運動など一緒にする友人や仲間がいますか。(○は1つ)

1. いる	2. いない
-------	--------

問19 現在、日常生活でどのような不安や悩みを抱えていますか。(○はいくつでも)

1. 人間関係(家族、近隣の人、友人など)のこと	2. 話し相手がないこと
3. 自分の健康状態や病気のこと	4. 今後の生活に関すること
5. 家族の健康状態や病気のこと	6. 家族の介護のこと
7. 生活に必要な情報が得にくいこと	8. 生活費や財産のこと
9. 家事のこと(買物ができないなど)	10. その他 ()
11. 特になし	

問20 何か困りごとがあったときに相談できる人や窓口はありますか。(○はいくつでも)

1. 同居家族	2. 別居の子ども
3. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	4. 近隣・友人
5. 自治会・町内会・老人クラブ	6. 社会福祉協議会・民生委員
7. ケアマネジャー	8. 医師・歯科医師・看護師
9. 地域包括支援センター・市役所	10. その他 ()
11. そのような人はいない	

健康・医療とのかかわりについて

問21 あなたが、現在抱えている疾病は何ですか。(○はいくつでも)

1. 脳血管疾患(脳卒中)	2. 心疾患(心臓病)	3. 悪性新生物(がん)
4. 呼吸器疾患	5. 腎疾患(透析)	
6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)	7. 膠原病(関節リウマチ含む)	
8. 変形性関節疾患	9. 認知症	10. パーキンソン病
11. 難病(パーキンソン病を除く)	12. 糖尿病	
13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)	14. その他 ()	
15. なし	16. わからない	

問22 普段から治療を受けたり、日常の健康についての相談ができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師がいますか。(①～③のそれぞれについて、あてはまるものに○)

①医師	1. 総合病院の医師 2. 診療所（総合病院以外）の医師 3. その他の医師 4. かかりつけの医師はいない	
②歯科医師	1. いる	2. いない
③薬剤師	1. いる	2. いない

付問 かかりつけの医師に通院している期間はどれくらいですか。(○は1つ)

1. 1年未満	2. 1年以上5年未満	3. 5年以上10年未満
4. 10年以上20年未満	5. 20年以上	

問23 現在、病院・医院（診療所、クリニック）にどの程度通院したり、往診を受けていますか。(①②それぞれについて、あてはまるものに○)

①通院	1. 週1回以上	2. 月2～3回	3. 月1回
	4. 2か月に1回	5. 3か月に1回	6. 通院していない
②往診	1. 週1回以上	2. 月2～3回	3. 月1回
	4. 2か月に1回	5. 3か月に1回	6. 往診を受けていない

問24 現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問25 現在、歯科医院にどの程度通院したり、往診を受けていますか。(①②それぞれについて、あてはまるものに○)

①通院	1. 週1回以上	2. 月2～3回	3. 月1回
	4. 2か月に1回	5. 3か月に1回	6. 通院していない
②往診	1. 週1回以上	2. 月2～3回	3. 月1回
	4. 2か月に1回	5. 3か月に1回	6. 往診を受けていない

問26 現在、薬剤師の訪問を受けていますか。(○は1つ)

1. 週1回以上	2. 月2～3回	3. 月1回
4. 2か月に1回	5. 3か月に1回	6. 訪問を受けていない

問27 食べ物や飲み物、胃液などが誤って気管や気管支内に入ってしまう「誤嚥^{ごえん}」(むせたり、咳き込んだりする)の経験がありますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問28 「誤嚥^{ごえん}」により細菌が唾液や胃液とともに肺に流れ込んで肺炎の原因となることを知っていますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問29 健康に不安を感じたとき、誰に相談しますか。主な相談者に○をつけてください。
(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 家族・友人 | 2. かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師 |
| 3. 保健師・看護師・栄養士 | 4. ヘルパーやケアマネジャーなど |
| 5. 自分で調べる | 6. その他 () |
| 7. 相談する人はいない | |

問30 毎日飲んでいるお薬のうち、医師から処方されているものは何種類ありますか。
(○は1つ)

- | | | |
|-------|----------|----------|
| 1. なし | 2. 1～5種類 | 3. 6種類以上 |
|-------|----------|----------|

介護保険サービスについて

問31 最初に要介護認定を受けようと思ったきっかけは何ですか。(○は1つ)

- | |
|------------------------------|
| 1. 人から要介護認定を受けるように勧められた |
| 2. 前から介護が必要になったら認定を受けると決めていた |
| 3. 覚えていない、わからない |

付問 要介護認定を受けるよう勧めてくれた人(施設)は誰ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 家族・親族 | 2. 知人・友人や近所の人 |
| 3. 民生委員や校区福祉委員 | 4. 市役所 |
| 5. 地域包括支援センター | 6. ケアマネジャー |
| 7. 介護サービス事業所や福祉施設の職員 | 8. かかりつけの医師や看護師 |
| 9. かかりつけの歯科医師や薬剤師 | 10. 保健師や栄養士等の専門職 |
| 11. その他 () | |

問32 あなたは、現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)の介護保険サービスを利用していますか。(○は1つ)

- | |
|-----------------------------|
| 1. サービスを利用している →問33へお進みください |
| 2. サービスを利用していない |

付問 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない |
| 2. 本人にサービス利用の希望がない |
| 3. 家族が介護をするため必要ない |
| 4. 以前、利用していたサービスに不満があった |
| 5. 利用料を支払うのが難しい |
| 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない |
| 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため |
| 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない |
| 9. その他 () |

問33 担当しているケアマネジャーの対応に満足していますか。(○は1つ)

1. 満足 2. ほぼ満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満

付問 不満に思われる理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 定期的な連絡の回数が少ない 2. 困ったときにすぐに対応してくれない
 3. 親身になって話を聞いてくれない 4. 希望したケアプランになっていない
 5. わからないことなどを説明してくれない 6. サービス利用に関する情報が少ない
 7. 緊急時の連絡が取りにくい 8. その他 ()

問34 介護保険サービスを利用することにより、精神的・体力的にどのような変化がありましたか。(①～⑤のそれぞれについて、あてはまるものに○)

	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
①精神的に楽になった	1	2	3
②家族への気兼ねが減った	1	2	3
③体調がよくなった	1	2	3
④外出することが増えた	1	2	3
⑤自分でできることはしようとする意欲が出てきた	1	2	3

問35 地域密着型サービスの認知・利用状況と満足度、今後の利用意向についておたずねします。(①～④のそれぞれのサービスについて、あてはまるものに○)

地域密着型サービス	認知・利用状況	満足度	今後の利用意向
①夜間対応型訪問介護 (夜間のみ定期的な巡回訪問や通報による訪問介護を行います。)	1. 知っており、利用している 2. 知っているが利用していない 3. 知らない	1. 満足 2. ほぼ満足 3. やや不満 4. 不満	1. 利用したい 2. 利用したくない 3. わからない
②小規模多機能型居宅介護 (利用登録した小規模多機能型居宅介護事業所への「通い」を主として、その事業所の職員による「訪問」や事業所での「泊まり」などを組み合わせたサービスを行います。)	1. 知っており、利用している 2. 知っているが利用していない 3. 知らない	1. 満足 2. ほぼ満足 3. やや不満 4. 不満	1. 利用したい 2. 利用したくない 3. わからない
③看護小規模多機能型居宅介護 (小規模多機能型居宅介護と訪問看護を利用して「通い」「訪問」「泊まり」を組み合わせた介護や医療・看護のサービスを行います。)	1. 知っており、利用している 2. 知っているが利用していない 3. 知らない	1. 満足 2. ほぼ満足 3. やや不満 4. 不満	1. 利用したい 2. 利用したくない 3. わからない
④定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (日中・夜間を通じて1日複数回の定期巡回と随時の対応による訪問介護と訪問看護を24時間いつでも受けられるサービスを行います。)	1. 知っており、利用している 2. 知っているが利用していない 3. 知らない	1. 満足 2. ほぼ満足 3. やや不満 4. 不満	1. 利用したい 2. 利用したくない 3. わからない

問36 あなたは、介護保険サービスを利用しながらも、できるだけ『自分でできること』を増やして（維持して）いきたいと思いませんか。（○は1つ）

- | | | |
|----------|------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. そうは思わない | 3. そう思うができない |
| 4. わからない | 5. その他 | |

問37 豊中市には、リハビリ専門職等による運動や栄養改善に向けた支援を3か月間集中的に行い、生活機能の回復（改善）等をめざすサービスがあります。あなたが体力や生活機能が低下したときに利用したいですか。（○は1つ）

- | | | |
|----------|------------|----------|
| 1. 利用したい | 2. 利用したくない | 3. わからない |
|----------|------------|----------|

生活支援・サービスについて

問38 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスは何ですか。（○はいくつでも）

- | | | |
|-------------------|-----------------------|-------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. ゴミ出し | 5. 買い物（宅配は含まない） | |
| 6. 外出同行（通院、買い物など） | 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | |
| 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 | |
| 10. その他（ | ） | 11. 利用していない |

※総合事業に基づく支援・サービスは「介護保険サービス」に含めます。

問39 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）は何ですか。（○はいくつでも）

- | | | |
|-------------------|-----------------------|-------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. ゴミ出し | 5. 買い物（宅配は含まない） | |
| 6. 外出同行（通院、買い物など） | 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | |
| 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 | |
| 10. その他（ | ） | 11. 利用していない |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問40 豊中市の高齢者福祉サービスについて、現在の利用状況と今後の利用意向をおたずねします。(①～⑥のそれぞれのサービスについて、あてはまるものに○)

高齢者福祉サービス	現在の利用状況	今後の利用意向
①一定時間、人の動きがない場合、自動的に通報されるサービス※ ¹	1. 利用している 2. 利用していない	1. 利用したい 2. 利用したいとは思わない
②緊急通報システム事業※ ²	1. 利用している 2. 利用していない	1. 利用したい 2. 利用したいとは思わない
③電磁調理器や火災警報器等の給付	1. 利用している 2. 利用していない	1. 利用したい 2. 利用したいとは思わない
④一人暮らし高齢者等の生活援助サービス※ ³	1. 利用している 2. 利用していない	1. 利用したい 2. 利用したいとは思わない
⑤紙おむつの支給	1. 利用している 2. 利用していない	1. 利用したい 2. 利用したいとは思わない
⑥通院等の外出支援サービス	1. 利用している 2. 利用していない	1. 利用したい 2. 利用したいとは思わない

※1：一定時間、人の動きがない場合、自動的に通報されるサービス	トイレのドア、居室などにセンサーを設置し、一定時間、人の動きがない場合、自動的に通報する、安否確認を目的としたサービス
※2：緊急通報システム事業	緊急時にペンダントのボタンを押すと、自動的に通報し助けが求められるサービス
※3：一人暮らし高齢者等の生活援助サービス	『協力会員（援助できる人）』が『利用会員（援助を必要とする人）』の依頼により、調理・洗濯・掃除などの家事援助や外出時の付き添いなどを行うサービス（身体介護サービスは対象外）

問41 今まで、ボランティアなどによるサービスを利用されたことがありますか。

(○はいくつでも)

1. 買い物の援助	2. 掃除・洗濯・調理などの家事援助
3. 通院や散歩などの外出援助	4. 給食サービス
5. 見守りや声かけの安否確認	6. 地域の交流の場に参加
7. その他 ()	
8. 利用したことはないが、今後利用したい	
9. 利用したことはなく、今後も利用したくない	

付問 ボランティアなどによるサービスを利用された満足度についておたずねします。

(○は1つ)

1. 満足	2. ほぼ満足
3. やや不満 (理由)	4. 不満 (理由)

地域包括支援センターについて

地域包括支援センターとは、社会福祉士や保健師などの専門職を配置し、介護予防をはじめ、介護・福祉・権利擁護などの様々な相談を受けて総合的に支援する窓口です。市内には、本センターと分室合わせて14か所設置されています。

圏域	センター名称	担当小学校区
北西部	①柴原地域包括支援センター	刀根山・大池・桜井谷・桜井谷東
	②柴原地域包括支援センター（螢池分室）	螢池・箕輪
北中部	③少路地域包括支援センター	上野・東豊台・東豊中
	④少路地域包括支援センター（北緑丘分室）	北緑丘・野畑・少路
北東部	⑤千里地域包括支援センター	北丘・東丘・西丘
	⑥千里地域包括支援センター（南丘分室）	南丘・新田・新田南・東泉丘
中部	⑦中央地域包括支援センター	桜塚・克明・南桜塚
	⑧中央地域包括支援センター（熊野田分室）	熊野田・泉丘
中東部	⑨緑地地域包括支援センター	寺内・緑地・北条
	⑩緑地地域包括支援センター（高川分室）	小曾根・高川・豊南
中西部	⑪服部地域包括支援センター	豊島・豊島北・中豊島
	⑫服部地域包括支援センター（原田分室）	原田・豊島西
南部	⑬庄内地域包括支援センター	庄内西・庄内南・千成
	⑭庄内地域包括支援センター（幸町分室）	野田・島田・庄内

問42 地域包括支援センターをご存知ですか。（〇は1つ）

1. 知っており、センターの役割や内容について理解している
2. 知っているが、センターの役割や内容についてはわからない
3. 知らない

付問 地域包括支援センターのことをどのようにして知りましたか。（〇はいくつでも）

- | | | |
|---------------------------------|-------------|---------|
| 1. 市の広報誌 | 2. 市のホームページ | 3. 市役所 |
| 4. チラシ・ポスター | 5. ケアマネジャー | 6. 民生委員 |
| 7. 病院・診療所 | 8. 友人・知人 | 9. 薬局 |
| 10. その他（ ） | | |

問43 地域包括支援センターを利用（相談）したことはありますか。また、今後についてはどうお考えですか。（〇は1つ）

1. 利用したことがあり、今後も利用したい
2. 利用したことがあるが、今後は利用したくない
3. 利用したことはないが、今後は利用したい
4. 利用したことはなく、今後も利用したくない
5. わからない

問44 地域包括支援センターを利用（相談）した場合に、相談したい内容は何ですか。
（〇はいくつでも）

1. 要支援認定を受けた方の介護予防のケアプラン作成^(※)
2. 運動、お口の機能向上など介護予防についての相談
3. 認知症に関する相談
4. 虐待、金銭管理など高齢者の権利擁護の相談
5. 介護保険・福祉サービスなどの紹介や利用・申請方法の相談
6. 在宅での介護の方法や対応についての相談
7. 地域の自主的なボランティアや福祉活動などの地域情報
8. その他（)
9. 特にない

※ケアプラン：介護保険サービスの利用計画のことで、要介護・要支援の認定を受けた利用者の抱える課題の解決に向け、利用者の意向を踏まえ、いつ、どのようなサービスを、どの事業所から、どのくらい利用するかを決めたものです。

問45 あなたが、地域包括支援センターに期待するもの、求めるものは何ですか。
（〇はいくつでも）

1. もっと身近な場所に設置してほしい
2. 自宅など相談に今以上に出向いてほしい
3. 地域に出向いての講座等をもっとしてほしい
4. 専門職を増やし、適切なアドバイスをしてほしい
5. 地域の課題に応じた取り組みを強化してほしい
（例えば、ひとり暮らし高齢者の多い地域での見守り強化など）
6. その他（)

保険料・利用料について

問46 介護保険料についてどう感じていますか。（〇は1つ）

- | | | |
|------------|----------|---------------|
| 1. 負担が重い | 2. やや重い | 3. あまり負担に感じない |
| 4. 負担は感じない | 5. わからない | |

問47 介護保険制度における今後のサービスと保険料のあり方について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（〇は1つ）

1. 介護サービスの内容が充実し、量や回数も十分に確保されるのなら、保険料はもっと高くしてもよい
2. 介護サービスの量や回数は現状の程度とし、保険料は利用者の増加に応じた最小限の増額にとどめるのがよい
3. 介護保険以外の有料サービスの利用を勧めるなど、介護給付費の抑制を図り、保険料は現状程度にとどめるのがよい
4. その他（)
5. わからない

問48 介護保険サービスの利用料の負担感についてどう感じていますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 負担が重い | 2. やや重い |
| 3. あまり負担に感じない | 4. 負担は感じない |
| 5. わからない | 6. 介護保険サービスを利用していない |

今後の介護に対するご希望などについて

問49 あなたは、将来どこで介護を受けたいと思っていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-------|------------|----------|
| 1. 自宅 | 2. 施設などに入所 | 3. わからない |
|-------|------------|----------|

付問1 「自宅」以外のどこで介護を受けたいと思いますか。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 特別養護老人ホーム (常時介護が必要で居宅での生活が困難な人が、日常生活上の支援や介護を受ける施設) |
| 2. 介護医療院 (長期にわたり療養が必要な要介護者が、医学的管理下における介護や医療、日常生活上の支援を受ける施設) |
| 3. グループホーム (認知症の高齢者が日常生活上の支援を受けながら少人数で共同生活する施設) |
| 4. 有料老人ホーム (利用権や賃貸などの形態で入居し、食事の提供などの生活サービスを受ける施設) |
| 5. ケアハウス (自宅での生活に不安がある方が、入浴・食事などの援助を受けながら生活する施設) |
| 6. サービス付き高齢者向け住宅 (安否確認、生活相談などのサービス提供が義務づけられている登録住宅) |
| 7. 公的な高齢者向け住宅 (シルバーハウジング)
(段差の解消や緊急通報システムに加え、在宅生活を支援する生活援助員を配置した公営住宅) |
| 8. その他 () |

付問2 「自宅」以外で介護を受けたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. あなた自身(宛名のご本人)が望んでいるから |
| 2. 家族など介護を行っている人が望んでいるから |
| 3. 家族などの介護負担を減らしたいから |
| 4. 家族に気をつかいたくないから |
| 5. ヘルパーなどの専門職や施設にお願いするほうが安心だから |
| 6. 介護してくれる家族などがいないから |
| 7. 手厚い介護や専門的な介護が必要になると思うから |
| 8. 入浴しにくいなど介護のためには住宅の構造に問題があるから |
| 9. 在宅のまま介護を受けるのは経済的負担が大きいから |
| 10. 保険料を払っている以上、必要時にサービスを受けるのは当然と思うから |
| 11. 豊中市は介護サービスや施設が利用しやすいと感じているから |
| 12. その他 () |

介護保険制度全般について

問53 あなたは介護保険に関する情報をどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 市の広報誌 | 2. 市のパンフレット |
| 3. 市のホームページ | 4. チラシ・ポスター |
| 5. 市役所 | 6. テレビ・新聞・ラジオ |
| 7. インターネット | 8. 地域包括支援センター |
| 9. 友人・知人 | 10. ケアマネジャー |
| 11. 家族・友人 | 12. 病院・診療所 |
| 13. 薬局 | 14. その他 () |

問54 これまでサービスに不満があった場合、どこに相談していましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 事業者へ直接 | 2. ケアマネジャー |
| 3. 地域包括支援センター | 4. 市役所 |
| 5. 大阪府 | 6. 介護サービス相談員 |
| 7. 健康福祉サービス苦情調整委員会 | 8. 国民健康保険団体連合会 |
| 9. 友人・知人 | 10. その他 () |
| 11. どこにも相談していない | 12. 特に不満はない |

安心して介護サービスを利用していただくための相談窓口として、市役所、地域包括支援センターのほか、『健康福祉サービス苦情調整委員会』があります。

問55 あなたは、『健康福祉サービス苦情調整委員会』を知っていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|----------|--------------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことはあるがよく知らない | 3. 知らない |
|----------|--------------------|---------|

問56 介護保険や高齢者保健福祉施策について、今後どのような施策の充実を望まれますか。(〇は3つまで)

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 1. 在宅介護サービスの充実 | 2. 施設サービスの充実 |
| 3. 医療機関の充実 | 4. 病気の予防や健康づくり支援 |
| 5. 介護予防事業(運動教室など)の充実 | 6. 高齢者が働く場の確保や就職のあっせん |
| 7. 高齢者が社会参加しやすい働きかけ | 9. 高齢者と若い世代の交流の場づくり |
| 8. 高齢者の学習や文化・スポーツ活動への支援 | 10. 介護者への支援 |
| 11. 認知症や虐待など、専門的な相談窓口の充実 | |
| 12. 建設・道路など高齢者に配慮したまちづくり | |
| 13. 高齢者向け住宅の充実 | 14. 情報提供の充実 |
| 15. 気軽に利用できる相談窓口の充実 | 16. 緊急時の相談窓口の充実 |
| 17. ひとり暮らしの高齢者や障害者などに対する安否確認 | |
| 18. その他 () | |

ご家族・ご親族や主な介護者の方の状況について

問57 ご家族やご親族のなかで、あなた（宛名のご本人）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事をやめた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（○はいくつでも）

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

問58 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（○は1つ）

1. ない →問 84 へお進みください。
 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
 3. 週に1～2日ある
 4. 週に3～4日ある
 5. ほぼ毎日ある
- 問 59 へ進んでください。

※問59～問83は、現在、介護サービス事業者以外に、主に介護をしているご家族・ご親族におたずねします。

問59 介護を受けている方（宛名のご本人）から見て、介護を行っている人（介護者）の続柄は、次のどれですか。（○は1つ）

- | | | |
|--------|----------|--------------------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 子ども | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他（ ） |

問60 主な介護者の方の性別・年齢についておたずねします。（それぞれ○は1つ）

性 別	1. 男性	2. 女性		
年 齢	1. 20歳未満	2. 20歳代	3. 30歳代	
	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代	
	7. 70歳代	8. 80歳以上	9. わからない	

問61 主な介護者の方と介護を受けている方（宛名のご本人）との同居・別居について、おたずねします。（○は1つ）

- | | | |
|---------------------------|----------|----------|
| 1. 同居（「2世帯住宅」にお住まいの場合を含む） | 2. 市内に別居 | 3. 市外に別居 |
|---------------------------|----------|----------|

問62 主な介護者の方の現在の健康状態はどうか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. 健康（特に悪いところはない） | |
| 2. 医師にかかるほどではないが、体調はよくない | |
| 3. 病気を抱えており、医師にかかっている | |
| 4. 病気を抱えているが、医師にかかる時間がない | |
| 5. その他（ | ） |

問63 現在、主な介護者の方が行っている介護等は何ですか。(〇はいくつでも)

[身体介護]

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助（食べる時） | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） | |

[生活援助]

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 12. 食事の準備（調理等） | 13. その他の家事（掃除、洗濯、
買い物等） |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

[その他]

- | | |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問64 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等は何ですか。(〇はいくつでも)

[身体介護]

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助（食べる時） | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） | |

[生活援助]

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 12. 食事の準備（調理等） | 13. その他の家事（掃除、洗濯、
買い物等） |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

[その他]

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、
特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問65 介護を受けている方（宛名のご本人）の介護保険料についてどう感じていますか。
（○は1つ）

- | | | |
|------------|----------|---------------|
| 1. 負担が重い | 2. やや重い | 3. あまり負担に感じない |
| 4. 負担は感じない | 5. わからない | |

問66 介護保険制度における今後のサービスと保険料のあり方について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（○は1つ）

- | |
|---|
| 1. 介護サービスの内容が充実し、量や回数も十分に確保されるなら、保険料はもっと高くしてもよい |
| 2. 介護サービスの量や回数は現状の程度とし、保険料は利用者の増加に応じた最小限の増額にとどめるのがよい |
| 3. 介護保険以外の有料サービスの利用を勧めるなど、介護給付費の抑制を図り、保険料は現状程度にとどめるのがよい |
| 4. その他（ ） |
| 5. わからない |

問67 介護を受けている方（宛名のご本人）の介護保険サービスの利用料の負担感についてどう感じていますか。（○は1つ）

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 負担が重い | 2. やや重い |
| 3. あまり負担に感じない | 4. 負担は感じない |
| 5. わからない | 6. 介護保険サービスを利用していない |

問68 主な介護者の方は、介護保険制度を利用して、どのように変わりましたか。（○はいくつでも）

- | |
|--------------------------------|
| 1. 利用したことで、身体が楽になった |
| 2. 利用したことで、精神的に楽になった |
| 3. 利用したことで、時間にゆとりができた |
| 4. ヘルパーなどに気をつかい、かえって精神的に負担が増えた |
| 5. 事務手続きなどの負担が増えた |
| 6. 利用料が1割～3割負担で経済的負担が増えた |
| 7. 利用料が1割～3割負担で済み、経済的負担が軽くなった |
| 8. その他（ ） |
| 9. 特に変わっていない |
| 10. 介護保険サービスを利用していない |

問69 介護を行う上で困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------------|--------------------|
| 1. 家事に思うように手が回らない | 2. 仕事に出られない |
| 3. 子育てに思うように手が回らない | 4. 留守をみてくれる人がいない |
| 5. 家庭内がうまくいかない | 6. 外出できない |
| 7. 心身の負担が大きい | 8. 家族や近隣などの理解が足りない |
| 9. 経済的負担が大きい | |
| 10. 経管栄養や痰の吸引など医療的ケアが必要なため精神的な負担が大きい | |
| 11. 介護の方法がわからない | |
| 12. もっと訪問介護や通所介護などの介護サービスを利用させたい | |
| 13. 夜間に対応してくれるサービスがない | |
| 14. 緊急時に対応してくれるサービスがない | |
| 15. 認知症への対応などどこに相談していいかわからない | |
| 16. 本人の気持ちがわからない | |
| 17. ショートステイなど、緊急時に利用しにくい | |
| 18. 本人がサービスの利用をいやがる | |
| 19. その他 () | |

問70 介護に困ったとき、誰に相談していますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|------------------|
| 1. 家族・親族 | 2. 近隣の人 |
| 3. 友人 | 4. 民生委員、校区福祉委員など |
| 5. ケアマネジャー | 6. 社会福祉協議会 |
| 7. 介護者家族の会など | 8. 地域包括支援センター |
| 9. サービス提供事業者（ホームヘルパーや施設の職員など） | |
| 10. 診療所や病院の医師など | 11. 市町村の職員 |
| 12. インターネットなどで調べる | 13. 書籍で調べる |
| 14. その他 () | |
| 15. 相談する相手がいない | |

問71 主な介護者の方は、今後どのように介護していきたいと思っていますか。(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 本人の希望どおりにしていきたい |
| 2. 自宅でホームヘルプやデイサービスなどを利用しながら介護を続けていきたい |
| 3. 定期的に短期入所（ショートステイ）を利用し、自分の時間も大切にしたい |
| 4. 家族などを中心に、自宅で介護したい |
| 5. 自宅での介護に限界を感じているが、今後もできるだけ自宅で介護していきたい |
| 6. 特別養護老人ホームへの入所を考えている |
| 7. グループホーム、有料老人ホームなどへの入所を考えている |
| 8. その他 () |
| 9. わからない |

問72 主な介護者の方は、高齢期を健やかに過ごすために、市に対しどのような施策を望みますか。(〇は3つまで)

- | | |
|---|------------------|
| 1. 在宅介護サービスの充実 | 2. 施設サービスの充実 |
| 3. 医療機関の充実 | 4. 病気の予防や健康づくり支援 |
| 5. 介護予防事業（運動教室など）の充実 | |
| 6. 高齢者が働く場の確保や就職のあっせん | |
| 7. 高齢者が社会参加しやすい働きかけ | |
| 8. 高齢者の学習や文化・スポーツ活動への支援 | |
| 9. 高齢者と若い世代の交流の場づくり | |
| 10. 介護者への支援 | |
| 11. 認知症や虐待など、専門的な相談窓口の充実 | |
| 12. 建設・道路など高齢者に配慮したまちづくり | |
| 13. 高齢者向け住宅の充実 | |
| 14. 情報提供の充実 | |
| 15. 気軽に利用できる相談窓口の充実 | |
| 16. 緊急時の相談窓口の充実 | |
| 17. ひとり暮らしの高齢者や障害者などに対する安否確認 | |
| 18. 夜間も含めた24時間必要な時に随時利用できる訪問介護サービス | |
| 19. その他（ ） | |

問73 主な介護者の方の現在の勤務形態についておたずねします。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------|---------------------------------|
| 1. フルタイムで働いている | } → 問74 と次のページの間75～問76へ進んでください。 |
| 2. パートタイムで働いている | |
| 3. 働いていない | → 次のページの間77へお進みください。 |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

※問74～問76は、主な介護者の方のうち、現在、働いている方におたずねします。

問74 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか。(〇は1つ)

- | |
|--|
| 1. 特に行っていない |
| 2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている |
| 3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている |
| 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている |
| 5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている |
| 6. 主な介護者に確認しないと、わからない |

問75 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問76 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(〇は1つ)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

高齢者虐待や認知症、成年後見制度について

問77 あなたは認知症の症状について理解していますか。(〇は1つ)

1. よく理解している
2. 理解している
3. あまり理解していない
4. 知らない

問78 あなたご自身やご家族が認知症になったらと考えたことはありますか。(〇は1つ)

1. よくある
2. 時々ある
3. 深く考えたことはない
4. その他 ()

問79 もし、あなたご自身やご家族に認知症かもしれないと感じたら、誰に相談しようと思っ
ていますか。(〇はいくつでも)

1. かかりつけ医
2. 家族
3. 友人
4. ケアマネジャー
5. 地域包括支援センター
6. 市役所
7. 薬剤師
8. その他 ()

問80 認知症の人が地域で安心して暮らしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症の症状に関する正しい知識や理解を広めること 2. 認知症について学校教育の中で学ぶ機会があること 3. 認知症に関する相談窓口を充実させること 4. 認知症の人に対する介護や医療の質を向上させること 5. 認知症の人を介護している家族を支援すること 6. 認知症の診療を行っている医療機関を周知すること 7. 認知症の人を支える施設や組織を周知すること 8. 地域における見守りなど認知症の人を支えるまちづくりを進めること 9. 「認知症かなあ」と思った時に、医師などの専門家が家に来てくれ、相談に乗ってくれること 10. その他 () 11. わからない |
|---|

問81 高齢者に対する虐待問題の解決のためには、次のどれが重要な役割を果たすと思いますか。(〇は2つまで)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護を受ける高齢者自身の不安や不満を取り除く 2. 介護を受けている人が介護者に感想や気持ちを伝える 3. 家族の介護負担を軽減するような支援体制づくり 4. 家族の精神的な孤立を防ぐ支援(介護者家族の会など) 5. 身近な地域での相談窓口の紹介と充実 6. ショートステイ(短期入所)などの緊急避難のための福祉施設を確保する 7. 虐待防止のための人権意識の高揚を図る(啓発活動) 8. 地域における見守りなど、近隣とのネットワークづくり 9. 認知症の症状に関する正しい知識や理解 10. その他 () |
|--|

問82 市民の権利を守るための以下の仕組みについて知っていますか。(①～④のそれぞれについて、あてはまるものに〇)

①成年後見制度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 相談窓口などを利用したことがある 2. 内容を知っている 3. 名前は聞いたことがあるが内容はよく知らない 4. 知らない
②法定後見制度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 相談窓口などを利用したことがある 2. 内容を知っている 3. 名前は聞いたことがあるが内容はよく知らない 4. 知らない

③任意後見制度	1. 相談窓口などを利用したことがある 2. 内容を知っている 3. 名前は聞いたことがあるが内容はよく知らない 4. 知らない
④日常生活自立支援事業	1. 相談窓口などを利用したことがある 2. 内容を知っている 3. 名前は聞いたことがあるが内容はよく知らない 4. 知らない

問83 市民の権利を守るための成年後見制度などについて相談できる窓口をご存知ですか。
(○は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

新型コロナウイルス感染症による影響について

※ここからは、すべての方におたずねします。

問84 新型コロナウイルス感染症の流行前後で生活への変化はありますか。(○はいくつでも)

1. 外出の機会が減った	2. 人と会って話す機会が減った
3. 運動不足で筋力や体力が落ちた	
4. 趣味活動や社会参加(サロン参加やボランティア活動)の頻度が減った	
5. 不安やストレスを感じるようになった	6. 病院の受診がしづらくなった
7. 介護サービスの利用がしづらくなった	8. 買い物に行く機会が減った
9. 家族や友人等との交流が減った	10. 特にない

問85 新型コロナウイルス感染症の流行以降、今後このようなサービスがあればよいと思うものはありますか。(○はいくつでも)

1. 困ったときに相談できる場所や人	2. 自宅でできる運動や体操の紹介
3. スマートフォンやタブレットの使い方講座	4. 自宅でできる趣味活動などの紹介
5. 配食や買い物支援サービス	6. 電話やオンラインによる診療や薬の処方
7. 特にない	

問86 豊中市の介護保険制度や高齢者保健福祉施策について、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。